

始



佛語の發音

目黒三郎著

323
和
765

Notion de la Prononciation
Française

佛語の發音

大阪外國語學校教授 目 黒 三 郎 著



HAKUSUISHA

323-766

は し が き

本書は、先づ佛語の發音の基礎となる単一の音を詳しく説明し、其の充分なる理解を俟つて、語及び文の發音の練習に移るやうに編纂してある。

發音は正確を期する爲に、萬國音聲學會の寫音文字を以て示してある。尙、獨修者の便を思つて片假名を以て近似の發音を示すことにしたが、決して正確なものではないから之にのみ依頼してはならない。

著者が嘗て、巴里「ソルボンヌ」大學に於て、發音學の泰斗“Hubert Pernot”教授より受けた講義は、本書の編纂に當つて、多大の参考となつた。こゝに同教授に厚なる感謝の意を表する。

昭和二年三月

著者しるす

目次

I. 一般の音

	頁
1. 發音學の目的	1
2. 發音器官と其の作用	1
3. 喉頭的作用と音の二大別	1
4. さゝやき	2
5. 口腔音と其の二大別	3
6. 音の形成	4
7. 寫音文字	4

II. 佛語の音

佛語の父音

1. 佛語の父音の分類	5
(1) 形成の状態による分類	5
(2) 形成の場所による分類	5
2. 佛語の父音の表	6
3. 破裂音	6
4. 鼻音	7
5. 流音	7
(1) 側音	7
(2) 震動音	8
6. 摩擦音	8

佛語の母音

1. 佛語の母音の分類	11
-------------------	----

(1) 共鳴の場所による分類	11
(2) 唇の形状による分類	11
(3) 口蓋と舌の高まる位置による分類	12
(4) 舌の高低による分類	12
2. 母音圖	12
3. 佛語の母音の表	13
4. 口腔母音	13
5. 鼻母音	15
6. 二重母音	16

III. 音の結合

1. 音の結合	17
2. 随伴音	17
3. 破裂音の三要素	18
4. 同化	18
(1) 同化の種類	19
(a) 同化の方向による種類	19
(b) 同化の程度による種類	20
(2) *位置の同化	21
5. 鼻音化	21
6. 音節	22
(1) 音節の種類	24
(2) 音節の切り方	24

IV. 音の強さと高さ

1. アクセントに就て	25
2. 強さのアクセント	26
3. 第二次的アクセント	26

(ii)

4. アクセントの移動	26
(1) 文意による移動	27
(2) 口調による移動	27
(3) 感情による移動	27
5. 高さのアクセント	27
(1) 降下的語調	28
(2) 上昇的語調	28
(3) 昇降的語調	29
(4) 降昇的語調	29
6. 文全體にある音調	29
(1) 平坦音調	29
(2) 上昇音調	29
(3) 下降音調	30

V. 音の長さ、連節

1. 音の長さ	30
2. 音節の終りにある母音の長さ	31
3. 音節の中央にある母音の長さ	32
4. 連節	33
(1) 連節の切れ目	33
(2) 句讀點と連節の切れ目	33
(3) 單語と連節の切れ目	34
(4) 文法的關係の密接な語と連節の切れ目	34

VI. 連聲

1. 發音の調和	36
2. 連聲をする場合	36
3. 連聲の一般的注意	37
4. 語尾の父音に關する注意	40

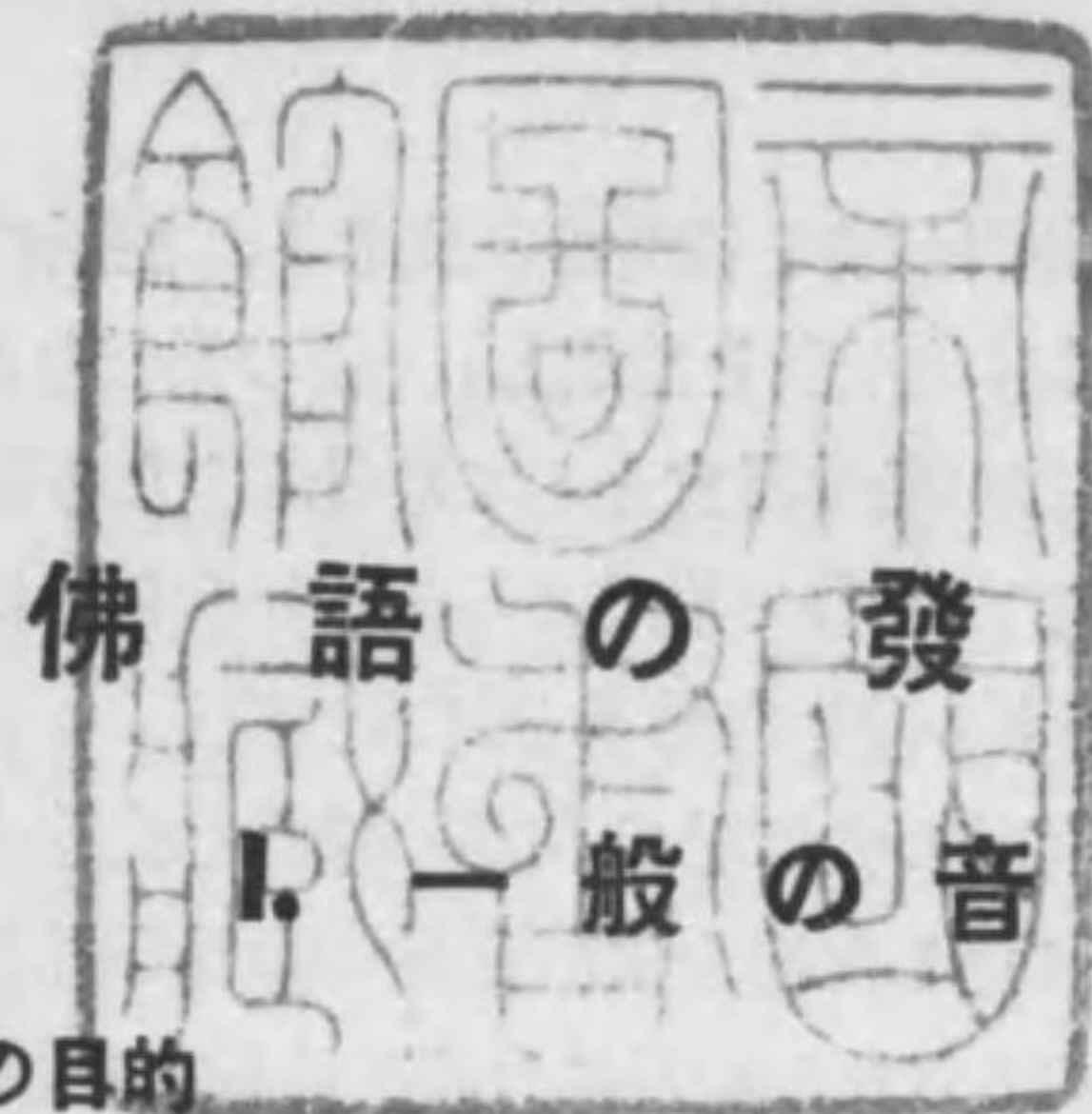
(iii)

VII. 佛語の字と音

1. 佛語の字母	50
2. 母字と父字	51
3. 佛語の綴字の記號	51
4. 發音の練習	52
(1) 母音	52
(2) 父音	77
5. 音調及び連聲の練習	129
6. 紛らばしい發音の固有名詞	131

本書に用ひた寫音文字

[a]	patte [pat]	[o]	poésie [poezi]
[a]	pas [pɑs]	[ɔ]	organe [ɔrgan]
[ɑ̃]	tante [tɑ̃:t]	[ɔ̃]	ombre [ɔ̃:br]
[b]	bout [bu]	[ø]	eux [ø]
[d]	dent [dɑ̃]	[œ]	œuf [œf]
[e]	été [ete]	[œ̃]	un [œ̃]
[ɛ]	tête [tɛ:t]	[p]	palme [palm]
[ɛ̃]	vin [vɛ̃]	[r]	réussir [reysi:r]
[ə]	de [də]	[s]	sabotage [sabota:ʒ]
[f]	fort [fɔ:r]	[ʃ]	cheval [ʃəval]
[g]	garçon [garsɔ̃]	[t]	tabac [taba]
[h]	hache [haf]	[u]	outil [uti]
[i]	tirer [ti're]	[w]	oiseau [wazo]
[j]	yeux [jø]	[v]	valet [vale]
[k]	car [ka'r]	[y]	union [ynjɔ̃]
[l]	large [larg]	[ɥ]	huit [ɥit]
[m]	madame [madam]	[z]	zèle [zɛ'l]
[n]	noble [nɔ̃bl]	[ʒ]	jamais [ʒame]
[p]	montagne [mɔ̃'tap]		



佛語の發音

I. 一般の音

1. 音聲學の目的

我々の言葉は音聲から成り立つてゐる。故に何處の國の言葉を學ぶにしても、其の素因である音聲に關する知識がなくては多大の効果を擧げることゝ出來ない。此の音聲に關する研究をする學問を音聲學と云ふ。本書は音聲學の精密な理論を叙述するものではない。唯、佛語を學ぶに當つて、是非とも心得ておかなければならない音聲學上の事柄について簡単な説明をしたに過ぎない。

2. 發音器官と其の作用

發音を説く順序として、發音に要する器官を一應知つておく必要がある。これを詳細に述べるのは困難なことでもあり、又本書の目的でもないから、極めて簡略にする。

發音器官を大別して喉頭と調聲部とする。喉頭は氣管の上部に位する膨張してゐる部分で、此處には最も重要な發音器官である聲帯があつて、肺から輸送せられる空氣に對して最初の變化を與へる場所である。調聲部は喉頭の上部にあつて、喉頭で形成せられた音に、或る變化を與へる部分の總稱で、之を大別すれば、咽頭、口腔、鼻腔となる。

3. 喉頭の作用と音の二大別 (有聲音と無聲音)

肺、氣管、喉頭、咽頭、鼻腔を空氣が何等の障礙を受けることなしに通過する場合は、吾人の所謂呼吸と稱する普通の状態である。

一度聲帯が緊張し聲門が或る程度まで狭まり、空気の流通を妨げると、此處に聲帯は律的振動を惹起し、一種の樂音を形成する。尙又換言すれば、聲帯が發音器官としての最も主なる役目は樂音を形成することである。聲帯で形成せられた樂音を單に「こゑ」と云ひ、「こゑ」を有する音を有聲音と云ふ。

此の樂音が、口腔其の他に於て何等の障碍を受けずに純粹の樂音の儘で吾人の耳に達した場合は、通常の母音が聽かれるのである。此の聲帯で形成せられた樂音は口腔或は鼻腔で調聲せられる。丁度口腔、鼻腔は或る種の樂器の胴の如き役目をなすもので、口腔、鼻腔が調聲部と稱せられる理由は此處にある。前述の如く口腔は種々な形状をとることが出来るから、形状の異なるに従つて共鳴を異にし、其の樂音に種々なる音色を生ずる。a, e, i, o, u等の母音の種類は、かくして生じたものである。若し此の場合、空気が鼻腔のみを通過し口腔を通過しない時は、樂音は單に鼻腔の共鳴を得るのみで、所謂鼻音が生ずる。

調聲部、就中口腔は以上の如く聲帯で生ずる樂音に共鳴を與へる役目をなす以外に、其の部自身に於て獨立の音を形成する。此の調聲部で形成される音は、即ち吾人の話音中の噪音である。此の噪音に、樂音を混するものと混じらないものがある。b, d, g, z, v等は聲帯の振動を伴ふから有聲音で、p, t, k, s, f等は聲帯の振動を伴はないで發せられる噪音である。後者の如き音を無聲音と云ふ。

4. 「さゝやき」(sons chuchotés)

聲門を非常に狭めるか、或は之を全く閉じること、軟骨聲門

聲帯の振動を外部から知る方法。

1. 喉頭部に指を當てる時振動を感じる。
2. 掌を頭の頂に當てる時振動を感じる。
3. 手で兩耳を抑へる時頭部に振動を感じる。

からのみ空気を通過せしむる時、聽かれる音を「さゝやき」と云ふ。「さゝやき」は絶対に聲帯の振動を伴はないから無聲音である。聲門の狭められる程度に従ひ、或は弱く或は強く聽かれる。聲門が固く全く閉された時は、空気が強い力を以て軟骨聲門を通過するから、極めて強い「さゝやき」となる。聲帯の律動的振動の結果生じた有聲音が、調聲部の形状に従つて種々なる變様を受け、a, e, i, o, u等の母音を形成すると同じく、「さゝやき」も調聲部の位置に従ひ、a, e, i, o, u等の無聲音として聽取することが出来る。故に「さゝやき」を以て談話をすることが出来、此の談話は無聲の談話である。例へば極めて低聲に耳語する時の音がそれである。

5. 口腔音と其の二大別(父音と母音)

口腔音を大別して父音と母音とにする。父音、母音と云ふ音の區別は、歐洲の文典に古から用ひられた語であるが、音聲學の發達する今日までは充分な定義はなかつた。元來、母音(voyelle)なる語は羅典語の vox(聲)から出た語で、有聲音を意味するものであるが、有聲音が常に母音であると云ふ譯でないから、此の語は不適當である。次に父音(consonne)は羅典語の consonaから出た語で、con(共に)sona(音)を意味する二語の組成語で、他の音即ち母音と結合して始めて明白に其の音を聽取することが出来るものであるとの意である。然し或る種の父音は單獨でも明白に聽取せられるから、此の語も亦適當でない。それにも拘らず、今日音聲學上に於て、矢張父音、母音の名稱を用ひてゐるのは從來の慣習によるものである。名稱はともあれ、之に對して一定の明瞭なる理解を與へなければならない。

父音とは氣流が喉頭、口腔、鼻腔等に於て或は摩擦せられ、或は密閉せられ、換言すれば、調聲部で噪音を混じて聽かれるものである。



母音とは聲帯の規則正しい振動（律動的振動）によつて生ずる樂音で、開いた口腔を以て發せられ、調聲部で噪音を混ざることなしに聽かれる。

通常之母音は鼻腔の共鳴を持たない。若し鼻腔の共鳴がある時は之を鼻母音と云ふ。

6. 音の形成 (articulation)

吾人が談話に用ふる音を形成音或は有節音と云ふ。音が有節であると云ふことは、其の音が生ずる爲に用ひられる氣流が、任意に發音器官の任意の場所で整へられることである。かくして生じた音を形成音或は有節音と稱し、其の場所を其の音の形成された場所と云ふ。例へば父音 p, b の文字で示されてゐる音は、兩唇を密閉した場合に生ずる音であるから之を兩唇間で形成せられると云ふ。母音の場合も之と同じく、例へば i が生ずる爲に舌面は硬口蓋に向つて高まらなければならない。其の接近の程度は其間に噪音が生じない程度に接近するのである。此の舌面が硬口蓋に近寄ることは、母音 i が生ずる爲に必要な口腔の形を定めることになる。故に母音は舌面と硬口蓋との間で形成せられると云ふ。

7. 寫音文字 (signes phonétiques)

或る文字を音の符調として用ひる時は、其各字は、嚴密に一字一音を示し、又、各字は一定の音を示す様に定めねばならない。此の様に字を基礎として、之を音聲の符調として用ひ得る如く整理したものを、寫音文字と云ふ。現今最も廣く用ひられてゐる寫音文字は佛國の Paul Passy 教授の萬國音聲學協會 (Association phonétique internationale) で協定され、其の機關雜誌 le Maître phonétique に用ひられてゐる文字である。佛語ばかりでなく、如何なる語でも正確に表はすことが出来る。本書でも、此の寫音文字を以て發音を示すこととする。

〔注意〕 次節からの〔 〕内は、皆、音 (son) を示す。

欠

欠

せられる。gant [gɑ̃] [ガン] 手袋, dogue [dɔ̃g] [ド-グ] 犬の一種, car [kaʀ] [カール] 何となれば, coq [kɔk] [コク] 牡鶏。

4. 鼻音 (nasales)

懸壅垂を垂れて、口腔への通路を塞ぎ、氣流を鼻腔から出して形成せられる音で、破裂音と類似してゐる。唯異なる點は、破裂音は密閉を破ると同時に生ずる瞬間的斷音であるが、鼻音は密閉せられたまゝ氣流が鼻腔に流出する連続音である。

[m] [ム], [n] [ヌ] 此等の音の形成せられる場所は、[b], [d] の形成せられる場所と同一である。無聲音として發音せられる時は [m̥], [n̥] の音字を用ひる。[̥] は聲門の開いた形に象つたもので、無聲化の記號である。mot [mo] [モ] 語, dame [dam] [ダム] 婦人, nickel [nikɛl] [ニケル] ニツケル, âne [a:n] [アーヌ] 驢馬。

[p̃] [ニユ] régner [repe] [レニユエ] 統治する, montagne [mɔ̃tap] [モンタニユ] 山, に於ける gn の音で、耳に聽える所は [nj] に似てゐる。

5. 流音 (roulées)

發音器官の一部が狭窄せられ、然し摩擦を惹き起すに至らずして、恰も流れるが如き状態をなすものを流音と云ふ。流音を發音状態によつて分けると、側音と震動音となる。

(1) 側音 (latérales)

側音は舌尖を齒槽突起につけ、氣流は舌の兩側から漏れ出る音で、[l] 字を以て表はされる音が即ち之である。氣流が舌の片側のみを流れ出る場合もある。

[l] は有聲音であることを本體とするが、無聲音になつ

て發音せられることもある。無聲音になつた時は側面における摩擦は多少明かに聽かれる。有聲の〔l〕音は調聲部で噪音を混することなく聽かれるから、鼻音と同様に母音の役目を務めることがある。〔l〕を發音するに當つて、舌尖を前上齒につけることが肝要である。日本語の〔ラ〕〔リ〕〔ル〕〔レ〕〔ロ〕は軽い密閉音であつて、側音ではない。

〔l〕〔ル〕 long [lɔ̃] [ロン] 長い, seul [sœl] [スル] 単一の。

〔l〕〔ル〕 table [taˈbl] [ターブル] 机。

(2) 震動音 (fricatives)

震動の起る場所によつて、之を二種類に分つことが出来る。〔r〕は舌尖を烈しく震動させるもので、佛語の標準語の r は之に屬する。日本語の〔ラ〕〔リ〕〔ル〕〔レ〕〔ロ〕でも東京地方の方言で〔ペランマー〕と巻舌で發せられる様なのは正に之である。

〔r〕〔ル〕 rare [ra:r] [ラール] 稀の, rouge [ru:ʒ] [ルージュ] 赤い。

〔r〕〔ル〕 sucre [sykr] [シュクル] 砂糖。

〔R〕〔ル〕 懸壺垂を震動させる音で、巴里の人士が使用する r 音は之に屬する。

〔R〕〔ル〕 同上の音の無聲音の音字である。

6. 摩擦音 (fricatives)

氣流の通路が狭められ、但し全然遮断されるまでには至らない時に氣流が摩擦を起すことがある。此の如くにして生じた音を摩擦音と云ひ、有聲、無聲の別がある。又形成の場所により各種の音が生ずる。

〔w〕〔ヴ〕 兩唇を丸くすぼめて力を込めて發音する。後舌面は〔u〕の時の如く軟口蓋の方に高まる。兩唇摩擦音である。

oui [wi] [ヴィ] 然り, poêle [pwa:l] [プヴァール] 暖爐。
〔ɥ〕〔ユ〕 舌端と硬口蓋の前部とを相接近させ、其の狭まりから、氣流を通じ、唇の圓みを加へて生ずる摩擦音である。此の音は母音〔i〕に似てゐる音であるが、〔i〕よりも尙一層舌端と硬口蓋と接近してゐる。且又唇の圓みを伴つてゐる點に於て、〔i〕と其の性質を異にしてゐる。huile [qi'l] [ユイル] 油, nuage [nɥa:ʒ] [ニュアージュ] 雲。

〔v〕〔ヴ〕 下唇を上齒につけて形成せられる唇齒摩擦音である。vent [vɑ̃] [ヴァン] 風, rive [ri:v] [リーヴ] 岸。

〔f〕〔フ〕 〔v〕の無聲音である。faute [fo:t] [フォート] 誤, naufrage [noˈfra:ʒ] [ノーフラージュ] 難船。

〔z〕〔ズ〕 舌尖を齒槽突起につけて形成せられる齒的摩擦音である。zèle [zɛ:l] [ゼール] 熱心, roseau [rozɔ] [ロゾ] 蘆。

〔s〕〔ス〕 〔z〕の無聲音である。sabotage [sabota:ʒ] [サボタージュ] 怠業, tasse [tas] [タス] 杯。

〔ʒ〕〔ジュ〕 舌面と前口蓋とで形成せられる摩擦音で、〔z〕よりも舌を上げ且又唇を突き出す。jardin [ʒardɛ̃] [ジュアルデン] 庭, rouge [ru:ʒ] [ルージュ] 赤い。

〔ʃ〕〔シュ〕 〔ʒ〕の無聲音である。chausse [ʃo:s] [シュオース] 毛織物製の水漉。chèvre [ʃe:vʁ] [シェーヴル] 牝山羊。

〔j〕〔イユ〕 前舌面を硬口蓋に接着する程高く上げて形成せられる。母音〔i〕の場合より尙一層舌の地位が高くなる。yeux [jœ] [イユー] 兩眼, yacht [jak] [イユアク] ヨット。

〔h〕 聲帯が律的震動を起すに至らざる程度に聲門が開いてゐる場合、其の間を強い氣流が通ると、無聲の摩擦音が生ずる。此の音を喉頭摩擦音と云ふ。日本語の〔ハ〕行音は之に屬する。但し日本語の〔フ〕の音は〔F〕の音字で表はされる。〔F〕は兩唇摩擦音で、佛語にはない音である。

又聲門が開かれてゐるが爲に、上述の如き摩擦を起さずして、専ら次に來るべき母音を發する爲に必要な口腔の形を整へた後、始めて發生することが出来る一種の h 音がある。此の h 音は其の後へ來る母音が無聲音に發せられたものとみることが出来る。佛語に多い無音の h (h muette) は之に屬する。habit [abi] [アビ] 衣服, horloge [ɔrlɔ:ʒ] [オルロージュ] 柱時計。

佛語の h なる文字は決して音を出すものではない。佛人は h なる音を h muette (無音の h) と h aspirée (有音の h) の二種に區別してゐるが、標準音では後者の場合も發音されないでたゞ無聲の父音であるとの觀念が與へられてゐるに過ぎない。此の父音を表はすに寫音文字でも [h] を用ひてゐる。

佛語の特徴に連聲 (liaison) なる現象がある。それは或る語の終りにある父音と次の語の頭の母音とを連續して發音することである。例へば les enfants は [leɑ̃fɑ̃] [レアンファン] と云はずに [lezɑ̃fɑ̃] [レザンファン] と云ふ。h muette が語の始に來た時は、其の語は母音で始まると同様に取り扱はれる。例へば les habits は [lezabi] [レザビ] と發音される。h aspirée が語の始にある時は、假令其の h は發音されなくとも、父音があるものと見做されるから、liaison をしない。les héros は [leɛro] [レエロ] で [lezɛro] [レゼロ] でない。但し此の場合 [ɛ] と [o] との間には隨伴音 [III の 2 参照] として軽い摩擦音が生ずるのであるから、それを示す爲に [lebe'ro] と書いてもよい。

[注意] h 文字の何れが muette で、何れが aspirée かを判別する方則はない。普通の辭書には [*] を附して aspirée な

欠

欠

本圖は口腔を鼻筋に沿うて縦断した形で圖の左方が口腔の前方に當つてゐる。

[a] は [i] [u] の中央よりも稍右に偏してゐる。即ち三角形は不等邊三角形である。

[i] の音は、齒槽突起に接觸して生ずるもので、舌の位置は最も高く、唇の開き方は最小で横に引かれ、口腔の面積は最も小で、音響は最高なることを示す。

[u] の音は舌根と軟口蓋との接觸によつて生ずるもので、舌の位置は最高、唇の開き方は小で圓みを帯びてゐることが、[i] の場合と異なつてゐる。口腔の面積は最大、音響は低いことを示す。

[a] の音は舌の位置最も低く、唇の開き方が最も大である。他の種々なる音は總て其の中間音であることを示す。

3. 辨語の母音の表

形成の場所		上顎母音		軟口蓋母音	
唇の位置		常態	圓口	常態	圓口
閉 (高)	口腔母音	[i]	[y]		[u]
半閉 (中)	口腔母音	[e]	[ø] [ɘ]		[ɔ]
開 (低)	口腔母音	[ɛ]	[œ]		[ɔ]
	鼻母音	[ɛ̃]	[œ̃]		[ɔ̃]
	口腔母音 鼻母音		[a]		[ã]

4. 口腔母音

[i] [イ] 舌の前部を摩擦音を惹き起さない程度に著しく硬口蓋

に接近せしめ、且又、口角を左右に引いて發音せられる。日本語の〔イ〕は次に述べる〔e〕に近く、〔i〕と〔e〕との中間音である。nid [ni] [ニ] 巢, ministre [ministr] [ミニストル] 大臣。

〔e〕〔エ〕唇の開き方が〔a〕と〔i〕との中間に位するもので、日本語の〔エ〕と略同じである。été [ete] [エテ] 夏, déjà [de'ʒa] [デジャ] 既に。

〔ɛ〕〔エ〕上の〔e〕の場合よりも舌の位置が一層低くなる、即ち開口の e である。était [ets] [エテ] であつた。tête [te:t] [テート] 頭。

〔a〕〔ア〕舌面の内部を稍高め、口腔の前部の空間は他の總ての母音よりも廣くなる。即ち口を最も大きく開き〔ア〕の音を口の奥の方で發音する。pas [pa] [パ] 歩, pâte [pat] [パート] 捏粉。

〔ɑ〕〔ア〕〔a〕の場合よりも口を稍狭め、且又舌の前部を上方に擧げて發音せられる。日本語の〔ア〕は〔ɑ〕と〔a〕との中間音である。patte [pat] [パト] 動物の脚, part [par] [パール] 部分。

〔ɔ〕〔オ〕口を大きく開き、口の奥の方で〔オ〕を發音する。note [not] [ノート] 覺書, tort [tor] [トール] 不正。

〔o〕〔オ〕〔ɔ〕の場合よりも、口を稍閉じて發音する。日本語の〔オ〕は〔ɔ〕と〔o〕との中間音である。peau [po] [ポ] 皮, côte [ko:t] [コート] 海岸。

〔u〕〔ウ〕舌根は非常に隆起して殆んど軟口蓋に附着する。舌の前部は後下方に牽引せられ、口腔の前には大なる空間が生ずる。充分に唇を圓くして突き出し、喉の奥から發音する。tout [tu] [トフ] 總て, touffe [tuf] [トッフ] 房。

〔ə〕〔ウ〕舌は中央部に上り、唇は〔e〕の場合と同一である。日

本語の〔ウ〕に似た不明瞭な音である。佛語の e 文字には上に (ʷ) (ʷ) (ʷ) の符號を附けるものと、何にも符號のないものとがある。é は〔e〕, è, ê は〔ɛ〕と發音され、符號のない e は概ね〔ə〕と發音せられる。但し語尾の e は全く無音である。語の中央にある時でも、矢張り無音の場合があるが、佛語では父音が三つ連続することを避ける、其の爲に父音の間にある e を發音する。その音を〔ə〕で表はす。crever [krəve] [クルヴェ] 裂く, Bretagne [brətap] [ブルタニ] 地名。

〔y〕〔ユ〕唇を〔u〕の如くにして、〔i〕を發音すればよい、dessus [dəsy] [ドゥッシュ] 上に, pureté [pyrte] [ピュルテ] 純粹。

〔ø〕〔ウ〕唇を〔o〕〔オ〕の如くにして、〔e〕〔エ〕を發音する。creuse [krøz] [クルウズ] 凹んだ, peu [pø] [プウ] 僅少。

〔œ〕〔ウ〕唇を〔ɔ〕〔オ〕の如くにして、〔ɛ〕〔エ〕を發音する。peuple [pœpl] [プーブル] 人民, feuille [føj] [フワイニ] 葉。

i. 鼻母音

母音は本來は有聲音で、口腔音でなければならない筈であるが、或る種の母音は鼻腔の共鳴を伴ふことがある。之を鼻母音と云ふ。

〔ã〕〔ɔ̃〕〔ẽ〕〔œ̃〕, [~] は鼻音化の記號である。

鼻にかけて
〔ã〕〔アン〕 tante [tã:t] [タント] 伯母, menton [mã'tõ] [マントン] 顎。

〔ẽ〕〔エン〕 vin [vẽ] [ヴェン] 葡萄酒, teinte [tẽ:t] [テント] 色合。

〔ɔ〕〔オン〕 blond [blɔ̃]〔ブロン〕金髪の, pompe [pɔ̃:p]〔ポンプ〕唧筒。

〔œ〕〔アウン〕 humble [œ:bl]〔アウンブル〕謙讓な, un [œ̃] -〔アウン〕一つ。

6. 二重母音 (Diphthongue)

二重母音とは二個の單母音が結合して一音節をなし、其の一方が音節的母音 (voyelle syllabique) をなし、他の一方が非音節的母音 (voyelle non-syllabique) をなすものである。例へば、〔i〕〔イ〕なる母音は單獨では明に聽かれるが、〔a〕〔ア〕と結合して〔ai〕となり、一音節を構成すると、〔i〕は〔a〕よりも弱く聽かれる。此の場合〔a〕が音節構成上の主なる役目をなし、〔i〕は其の従となる。

其の結合の状態から、之を下降的、上昇的とに分けることが出来る。音節の主音が前に来た場合〔ai〕が下降的で、後に来た場合〔ia〕は上昇的である。

佛語では二重母音は殆んどない。iode, hiatus 等の語に於て、一見二重母音の如くであるが、實際上の發音は [jɔ̃:d]〔ヨード〕 [jatj's]〔ヤチュース〕で、最初の母音は摩擦音であるから二重母音ではない。

次の場合に辛うじて二重母音を認めることが出来る。

ai [ai]〔アイ〕樹懶 (なまけもの), paysage [peiza:ʒ]〔ペイザジュ〕景色。

pays [pei]〔ペイ〕國, paysan [peizɑ̃]〔ペイザン〕百姓。

chaos [kao]〔カオ〕渾沌, cahot [kao]〔カオ〕動搖。

caoutchouc (kautʃu) (カウチュウ) 護謨。

〔注意〕 二重母音と二重母字とを混同せぬ様注意せねばならぬ

い。二個の字が一つの音を表はす時、之を二重母字 (digraphe) と云ふ。saule [so:l] の au は二重母字 (digraphe vocalique), beau [bo] の eau は三重母字 (trigraph vocalique) と云ひ、phosphore [fosfɔ:r] の ph は二重父字 (digraphe consonne) と云ふ。

III. 音の結合

1. 今迄、父音及び母音を各個の單音として説明したのであるが、実際には音が單獨に表れることは極めて稀である。大抵は種々の音聲が結合して音節を形成し、又其音節が結合して語詞を形成する。其の場合には、最後の音との關係上、單獨に表はれた時とは、多少趣を異にした現象が生ずる。本章では此の點に就て、簡単に述べることにする。

2. 隨伴音 (sons transitoires)

此處に [pa] と云ふ音の結合をとつて説明することにする。〔p〕は兩唇を密閉して發音され、〔a〕は兩唇を大きく開いて、發音される。發音器管は初めの〔p〕を出すに必要な位置から次の〔a〕を出すに必要な位置に移らなければならない。其の間にも音は絶えず出るから [pa] を極めて緩く發音する時は [pha] の如く〔h〕が幽に耳に聽かれる。此の〔h〕音を〔p〕,〔a〕に對して隨伴音と云ふ。隨伴音は通常我々の耳に注意されない。然し或る時は此の隨伴音が發達して獨立の音を形成することもある。例へば、chambre (室) なる語は、もと羅典語の camera から發達して、c と a との間に h 音を、m と r との間に b 音を隨伴したものである。

3. 破裂音の三要素

破裂音は完全に發音される時は、次の三つの作用から成り立つてゐる。

- (1) 氣流の通路を密閉する作用 (arrivée)
- (2) 音の休止 (tenue)
- (3) 氣流の通路を破る作用 (détente)

例へば、破裂音 [p] に就いて云へば、(1) の作用は兩唇を閉じた時に起り、(2) の作用は兩唇が閉じられてゐる間で、(3) の作用は兩唇が開いた時である。(1) と (3) の作用は (2) の音を形成する爲の隨伴音に過ぎないから、語の初めに來た時、又は前に同類音が來た時は (1) は聽えない。

例 *pie* [pi] [ピ] (かさゝぎ) の [p]
culte [kylt] [キュルト] (禮拜) の [t]

又次に同類音が來た時は (3) は聽えない。

例 *bonneter* [bonte] [ボヌテ] (御世辭を云ふ) の [n]
cul-de-lampe [kydlã:p] [キュドランプ] (天井の中心飾) の [d]

耳には (1) か (3) か何れか聽えれば充分である。

密閉音とは (1) の密閉作用をとつて名づけたので、破裂音とは (3) の密閉を破る作用をとつて名づけたものである。

或る場合には密閉音の (2) の作用が耳に全く聽えなくなることもある。

例 *compte* [kõ:t] [コント] (計算) の [p]
prompte [prõ:t] [プロント] (迅速な) の [p]

4. 同化 (Assimilation)

或る音が結合されて音節を構成する時、その隣接してゐる音の影響を受けて、多少又は全部固有の音の性質を失ふことがある。此

の現象を音の同化と云ふ。

日本語の新聞 [Simbun] の [m] は元來 [n] であるが、次に來る音 [b] が兩唇音なるが爲、[m] (兩唇音) に變じたのである。

(1) 同化の種類

同化の現象を同化の方向により、又同化の程度により、之を數種に分類することが出来る。

(a) 同化の方面による種類

(イ) 前進的同化 (assimilation progressive)

前にある音が次に來る音に影響を及ぼす場合を云ふ。

例へば *le cheval* [ləʃval] [ルシヴァル] (馬) の *v* が無聲音 [v] となるのは之に屬する。

流音及び半母音 [y] [w] [j] も亦前進的同化をする。*pied* (足) は古くは [pie] と發音したが、今は [pje] と發音される。

(ロ) 逆進的同化 (assimilation regressive)

後にある音が前にある音に対して影響を及ぼす場合である。佛語及び其の他の「ローマンヌ」語系の言語は一般に逆進同化の傾向がある。

médecin [metsẽ] [メトセン] (醫者) [d] は次に來る [s] の爲に [t] となる。

monsieur [møsjø] [ムシュウ] (君) [n] は次に來る [s] の影響で全く鼻音の性質を失ふ。

observer [opɛsrve] [オブセルヴェ] (遵守する)

anecdote [anɛgdɔt] [アネグドト] (逸話)

second [sɛgõ] [スゴン] 又は [zgõ] [ズゴン] (第二の)

[ハ] 相互的同化 (assimilation progressive)

隣接してゐる二個の音が相互に影響しあつた場合で、最も著しいのは二重母字の場合である。

saule [so:l] [ソール] (柳) は二個の別種の音を含んでゐるが、相互の間に同化が行はれて [ɔ:] [オー] なる一母音となる。

(b) 同化の程度による種類

(イ) 全部的同化 (assimilation complète)

前述の如き同化現象が、完全に行はれた場合で、例へば組成語なるにも拘らず、少しも別個の語の集合と思はれない様な時は同化が完全に行はれたものである。

garde-chasse [gartʃas] [ガルトシヤス] 密獵監視人
chemin de fer [ʃəmɛ̃tʃɛr] [シュメントフェール] 鐵道

chauve-souris [ʃofsuri] [シュオフスリ] 蝙蝠

或は又羅典語の in-luminere と云ふ語の n が、次に来る l に影響せられて l に變じ、illuminer [illymine] [イルリュミネ] (照らす) なる佛語を生じた如きは此の例である。

日本語の (あつた) [atta] は [ar-ta] の全部的同化である。

(ロ) 部分的同化 (assimilation partielle)

同化が不完全で一部分に亘つて行はれたものである。

Il vient de partir [il vjɛ̃ d partɪr] [イル ヴィエント パルティール] に於て [d] は [p] の影響を受けて無聲音 [d̥] になつたが、さりとて全然 [t] と同

一にならないのである。同様に une tasse de thé [yn ta:s də te] [ユヌ ターズ ド テ] (お茶一杯) に於ても [s] は [z] に成りきらずに單なる [s] の有聲音化したものとなる。

日本語の新聞 [simbun] に於ても sin の [n] は兩唇音 [b] の影響によつて、兩唇音 [m] にだけはなつたが [b] とならないのは不完全同化である。

(2) 位置の同化

qui [ki] [キ] の [k] は côte [kot] [コト] の [k] よりも口腔の前方で發音され、quoi [kwa] [クヴァ] の [k] は [w] の影響を受けて圓唇を伴ひ、Saint Paul [sɛ̃ (m) pɔ:l] センムポール の [n] が舌音であるに拘らず次に來る唇音 [p] の影響により [m] の唇音に發せられる如きは位置の同化である。位置の同化は殆んど必然的に起る。

5. 鼻音化

口腔音の次に鼻音を發する場合に、口音がまだ終らないうちに懸壺垂がおろされる爲め起る現象である。佛語の標準音では認められてゐないから避けるべきである。鼻音の前にある母音は容易に鼻音化される。

moi-même [mwamɛ:m] [ムワメーム] をば方言では [mwamɛ̃:m] [ムワメンーム]

maman [mamɑ̃] [ママン] をば方言では [māmɑ̃] [マンマン] と云ふ [~] は [母音化された] 意を示す。

r音も同じく鼻音化されることがある。

revenir [rəvnɪr] [ルヴニール] [rəmnɪr] [ルムニール]

avenue [avny] [アヴニユ] [amny] [アムニユ]

en venant [ã vnã] [アンヴナン] [ã mnã] [アンムナン]
 pendant [pãdã] [パンダン] [pãnã] [パンナン]
 une longue main [yn lõg mẽ] [ユヌ ロング メン] [yn lõp
 mẽ] [ユヌ ロング₉ メン]

〔注意〕 同化と反対の現象に音の離反 (dissimilation) の現象がある。即ち同じ音がある點に於て異なる音となるもので、極めて稀に行はれる。

日本語の [淋しい] [samifii] [サミシイ] が [samufii] [サムシイ] となるのは、[i] 音の反復が嫌はれた結果、初めの [i] が [u] となつたのである。

羅典語の peregrinum は佛語で pèlerin [pẽlrẽ] [ペルレン] となつてゐるのも此の一例である。

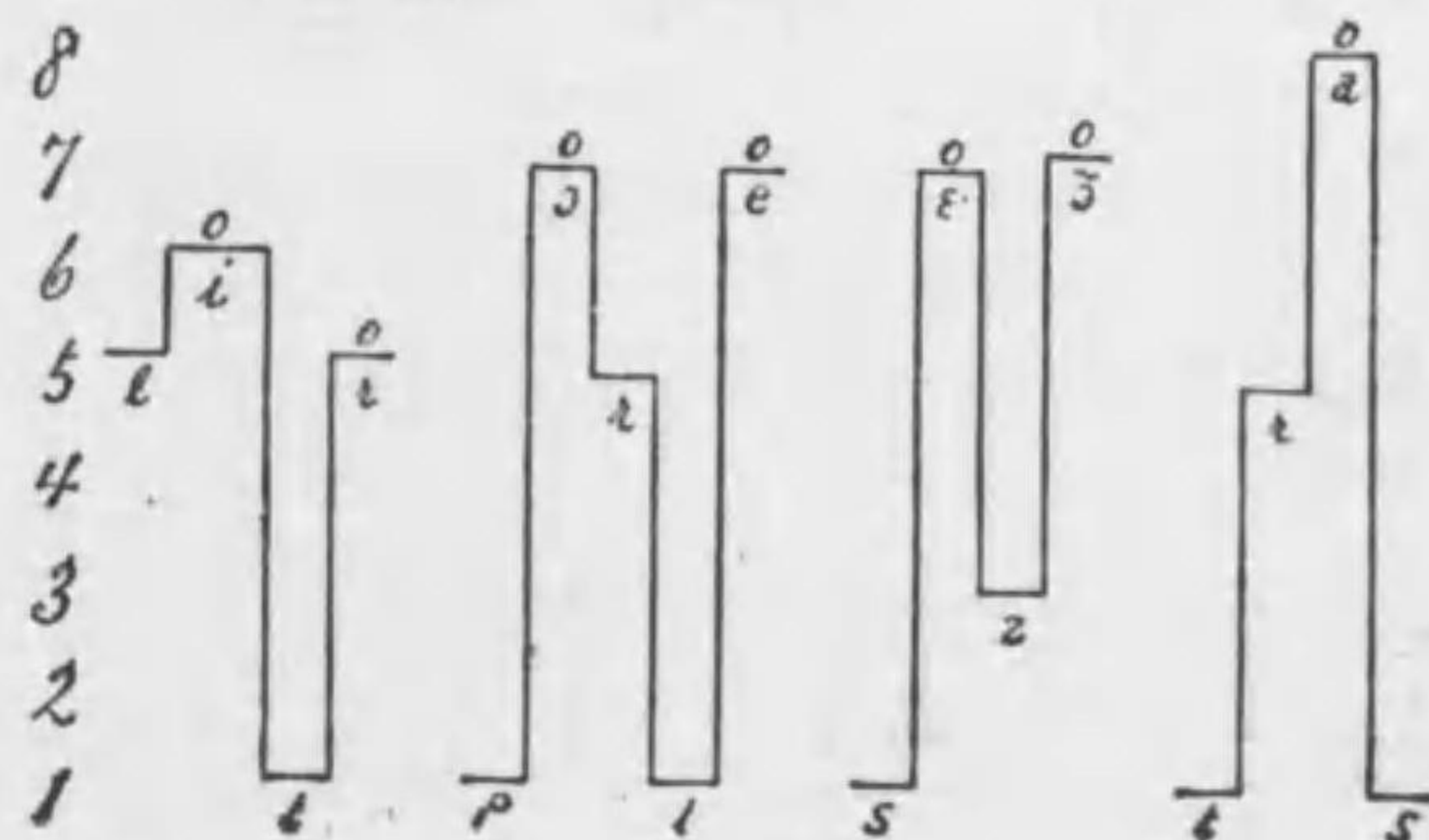
6. 音節 (Syllabe)

聲音學上から見た音節とは音の「きこえ」(sonorité) に根據がある。音の「きこえ」とは、其音が聞き分けられる距離の大小を云ふ。例へば [a] とか [o] とか云ふ母音は遠方でも明瞭に聞き分けることが出来る。之に反して [k] [t] [p] 等の音は極めて近距離でなければ聞き分けることが出来ない。つまり [a] [o] は「きこえ」が大で、[k] [t] [p] は「きこえ」が小である。音の「きこえ」の大小は、主として次の二つの理由に起因してゐる。第一には其の音が「こゑ」の分子を有するか否かによつて大小が區別される。勿論有聲音が大で無聲音が小である。第二に其の音に対する共鳴室の大小による。此の故に母音が父音よりも「きこえ」が大で、母音の中でも [a] は最も大なる共鳴室を有するから最も大なる「きこえ」を有する。此の如く一つの音には「きこえ」の區別がある。「きこえ」の小なる音でも、其の音が「きこえ」の大なる音によつて伴はれた時は良く聽える様になる。例へば [s] [t]

[n] [r] 等の音は單獨にては遠方へ聽えないが、其の後へ [a] が来て [sa] [ta] となれば、比較的よく遠方へも聽える。此の様に「きこえ」の大なる音を中心として其の周圍にくる「きこえ」の小なる音との結合を音聲學上からみて音節と云ふ。音節の中心となる音は「きこえ」の大なる音で、通常は母音である。然し母音以外の音でも母音と類似の性質を有する流音と鼻音とは音節の中心となることが出来る。即ち流音は有聲音である上に相當の廣さの共鳴室を有し口腔から流れ出し、鼻音は同じく有聲音で唇は閉じられるが鼻腔と云ふ。大共鳴室を有し氣流は自由にそこを流れることが出来るからである。

「きこえ」の大小を次の様に分類する。1は最小、8は最大

無 聲 音	a. 密 閉 音 [p] [t] [k]	} 1	
	b. 摩 擦 音 [f] [s] [ʃ]		
有 聲 音	a. 密 閉 音 [b] [d] [g]	} 2	
	b. 摩 擦 音 [v] [z] [ʒ]		} 3
	c. 鼻 音 [m] [n] [ɲ]		
	d. 流 音 [l] [r]		
母 音	a. 高 [u] [i]	} 6	
	b. 中 [o] [e]		} 7
	c. 底 [a]		



litre [litr], porter [porte], saison [sɛ'zɔ̃], trace [tras]
音聲學上からみると一つの単語は其の中に「きこえ」の頂點のある数だけの音節を有してゐるとみることが出来る。即ち litre は二音節からなり、trace は一音節からなる。而して頂點になる音が其の音節の中心となる音である。

(1) 音節の種類

母音で終つてゐる音節を開口音節 (syllabe ouverte)
子音で終つてゐる音節を閉口音節 (syllabe fermée)
發音しない e [ə] で終る音節を女性音節 (syllabe féminine)
其の他の音で終る音節を男性音節 (syllabe masculine) と云ふ。

(2) 音節の切り方

「きこえ」の頂點が音節の切れ目となる。

li-tr (litre)
po'rte (porter)
sɛ-zɔ̃ (saison)
kɔ̃-gra-ty-la-sjɔ̃ (congratulation)

〔注意〕*普通の辭典の語の切り方は語の綴字、語源、歴史等の點を顧慮した結果、純粹に發音上から見れば實際の状態を示さないことがある。次に其の規則を述べることにする。

1. 原則として父音に始まり、母音に終る

romain ro-main
remède re-mè-de

2. 母音重複する時

louer lou-er
plier pli-er

* 行の末端で或る語を書き終へることが出来ない時は、音節の切れ目で兩分し、書ききれない部分を次の行に譲る。前の行にある音節の移には連結符號 [-] をつける。

3. 子音重複する時

aller al-ler
rapport rap-port
action ac-tion
espoir es-poir

4. 下記の文字は如何なる場合も離すことは出来ない

bl, br.
cl, cr, ch.
dr.
fl, fr.
g, gr, gn.
pl, pr, ph.
tr, th.
sabre sa-bre
vache va-che
mordre mor-dre

IV. 音の強さと音の高さ

1. 「アクセント」(accent) に就て

通常我々が「アクセント」と稱するものの中には音の強さによるものと、音の高さによるものがある。前者を「強さのアクセント」(accent de force; accent d'intensité) と云ひ、後者を「高さのアクセント」(accent musical) と云ふ。「アクセント」なる語はもと羅典語の accentus 即ち ad (a) + canere (chanter) (話に付け加へて調子を與へる) の意で、最初は主として、音の高低を示すに用ひられたものである。「アクセント」は強弱と高低と相伴ふ場合多く、爲に一つの「アクセント」が強弱によるか、高低によ

るかは其の主たる性質によるものである。歐洲語の「アクセント」は主として、強さの「アクセント」に屬し、日本語支那語等の「アクセント」は高さの「アクセント」に屬する。

2. 強さの「アクセント」(accent de force)

佛語の單語が單獨に發音せられた時は、「強さのアクセント」は常に音聲學上の最後の音節に落ちる。* 強さの記號は、寫音文字では〔 ˊ 〕でよはし、強く發音されるべき音節の前方に書く。然し佛語では殊更に於て強く發音する必要はない。

conversation [kɔ̃vɛrsa'sjɔ̃] [コンヴェルサシヨン] 會話

photographie [fotograf'i] [フォトグラフィ] 寫眞

école [e'kol] [エコル] [學校]

écorce [e'kɔrs] [エコルス] 皮

3. 第二次的「アクセント」

上記の主なる「アクセント」(accent tonique)の外に第二次的「アクセント」がある。此の第二次的「アクセント」を持つ音節の母音は多少長音に發せられる。

maison [me'zɔ̃] [メーゾン] 家

baron [ba'rɔ̃] [バロン] 男爵

pleurer [plø're] [プルーレ] 泣く

tirant [ti'rɑ̃] [ティラン] 引き紐

4. 「アクセント」の移動

一語一語のみ取り離して見れば、常に最後の音節に、「アクセント」が存してゐるけれども、それが結合して熟語をなし、更に進んで文を構成すると、其の熟語なり、文の中で、最も意味の強い場所に「アクセント」が投じられ、各單語の固有の「アクセント」に

* 但し最後の音節が〔ə〕で終る時は其の前の音節に落ちる。

變更を生ずることがある。

lieutenant, colonel; lieutenant-colonel.

bonjour, Monsieur; bonjour Monsieur.

comment, vous vous portez; Comment vous portez-vous?

il, aime; Aime-t-il?

(1) 上の場合の例では「アクセント」は熟語又は文の最後の單語に投じられてゐる。然し常に最後の語にあるものとは限らない。其の場合の文意に従つて、文意の強い所に落ちる。Veux-tu bien, mon petit? では「アクセント」は bien にある。御前どうしても望むか、或が兒よ。

(2) 「アクセント」は又文章の口調を重んずる場合とか、誇張して云ふ場合には、他の部分に移ることがある。

Nous ne pouvons nous affranchir de la misère. (我々は困窮から脱することは出来ない)。

Ce que vous appelez arranger, je l'appelle déranger. (貴方が整頓すると云はれることは、私にとつては混ぜかへすことです)。

(3) 感情を表はす言葉では、「アクセント」は前の方に移る場合が多い。

impossible [i'pɔ̃si'bl] 不可能な

excessivement [ekscesi:vmɑ̃] 激しく

parfaitement [parfɛtmɑ̃] 完全に

Oh, je suis heureux [o'ssqi'zœrø] おゝ私は幸福だ

C'est désolant! [sɛ'dezɔlɑ̃] それは悲しいことだ

5. 高さの「アクセント」(accent musical)

佛語では、「高さのアクセント」(抑揚 intonation) は文章の意味に従つて生ずるもので、決して各單語の中に本質的に存在する

ものでない。故に書物の上から許りでは學び難いもので、發音の正しい人について、自然に覺える外に、良法はない。蓄音器によるのも一法であらう。高さの「アクセント」は聲帯の振動数によるもので、個人によつて差異がある。婦女、小兒の音は、調子が高く、男子、老人の音は低い。高さの「アクセント」を分けて降下的〔∨〕上昇的〔/〕降昇的〔V〕昇降的〔^〕とする。

- (1) 降下的音調は命令、決心、獨斷を表はし、決定的、肯定的意味を含むもので、次の如き場合に用ひる。
 - (a) 完全な叙事文 Je suis prêt. \ (用意は出来てゐる)
 - (b) 完全な命令文 Faites ceci. \ (それを爲せ)
 - (c) oui, non で答へられない疑問文 Qui êtes-vous? \
D'où venez-vous? \ (どなたですか、何處から來ましたか)
 - (d) 擇擇疑問文の最後の疑問
Est-il un Français / ou un Anglais? \ (彼は佛人かそれとも英人か) Anglais / とあげると (佛英以外の人かとの意となる)
Dois-je aller / on rentrer? \ (行くべきか戻るべきか)
他に方法がないから rentrer / とすることは出来ない
 - (e) oui, non で答へられる疑問文に降下的調子を用ひると、命令、催促等を表はす。
Votre résolution est-elle prise? \ (決心はついたか)
Etes-vous prêt? \ (用意はできたか)
- 2) 上昇的音調は〔/〕快活、驚愕、疑問、期待、躊躇の意を表はし、次の如き場合に用ひられる。
 - (a) 驚きを表はす感嘆文 Quoi! Il est en France! / (ええあの人は佛蘭西にゐるのですか)
 - (b) 疑を表はす感嘆文 Pas possible! / (駄目でせう)

- (c) oui, non で答へられる疑問文 Est-ce vrai? / (ほんとですか)
 - (d) 文意が中絶してゐる場合
Si vous savez / (若し御存知なら)
Je devrais / (そうしなければならないいでせうが)
 - (e) 反對、抗議を表はす文
Mais c'est embêtant. / (馬鹿らしい)
Il n'est pas tard du tout. / (決して遅くはない)
- (3) 昇降的音調〔^〕は輕蔑、皮肉の意を表はす。
^ C'est bien clair. (そんなこと分り切つてゐる)
 - (4) 降昇的音調〔V〕は疑ひ、警戒の意を表はす。
V C'est possible, mais j'en doute. (其れは出来ることだが私は疑ふ)

6. 文全體にある音調

上に述べた音調なるものは、單に一音節の上にあるばかりでなく、單語、句、文體の上にもある。此の場合にも矢張り次の三種類に分ける。

平坦音調 (ton moyen)

上昇音調 (ton élevé) [「 」]

下降音調 (ton bas) [「 」]

- (1) 平坦音調は高低なく平坦に發せられるもので、普通の肯定文に用ひられる。
Nous avons pris le bateau. (吾々は船に乗つた)
C'est mon frère aîné. (あれは私の兄です)
Il est chez lui maintenant. (彼は今彼の宅に居る)
- (2) 上昇音調は驚愕、質問を示すに用ひられる。

「Comment, vous sortez par ce temps-là !」 (まあ、此の
天気に出掛けるのか)

「Quelle idée !」 (何んと云ふ考へでしょう) ③

「Viendrez-vous ?」 (あなたは来ますか)

「Etes-vous content ?」 (あなたは満足ですか)

- (3) 下降音調は皮肉、叱責、輕蔑、疑義、無頓着を示すに用ひられる。

「Vous n'avez pas oublié ma commission, j'espère.」 (私の用事を忘れはしまいね)

「Qu'est-ce que vous voulez ? Il faut faire comme ça.」 (お前どうしたいのだ、こうしなければならないのだ)

「Quel idiot.」 (間抜けめ)

「Je doute qu'il accepte.」 (あの人が承知するかどうかわらん)

「Allons donc !」 (ふいん左様かね)

V. 音の長さ、連節

1. 音の長さ (durée)

音の長さとは、音の長い、短いを云ふので、普通之を長音、中音、短音の三つに分ける。長音を表すには文字の右方に二點〔:〕、中音には一線〔˘〕を附ける。

tir [tir:] [ティール] 射撃

tirant [tirɑ̃] [ティラン] 締紐

tyran [tirɑ̃] [ティラン] 暴君

音の長短に関しては、摩擦音は、其の長短を自由になし得るの

は當然のことである。密閉音の時は發音器管が密閉してから破れるまでの時間を密閉音の長短と云ふ。

2. 音節の終りにある母音の長さ

- (1) 母音で終つてゐる音節では短母音である。

alpha [alfa] [アルファ] 最初

almée [alme] [アルメ] 埃及の舞妓

fini [fini] [フィニ] 完成

ordo [ɔrdo] [オールド] 教會曆書

revue [rəvy] [ルヴュ] 雑誌

- (2) 父音で終つてゐる音節では長母音である。

- (a) 最後が有聲摩擦音 [v] [z] [ʒ] 及び震動音 [r] の時
其の前にある母音は長音である。

cave [ka:v] [カーヴ] 穴倉

seize [sɛ:z] [セーズ] 十六

tige [ti:ʒ] [ティージュ] 莖

four [fu:r] [フル] 竈

- (b) 中母音 [o] [ɔ] + } 父音の時
鼻母音 [ɑ̃] [ɛ̃] [œ̃] [ɔ̃]

dome [do:m] [ドーム] 圓天井

meule [mø:l] [ムール] 臼

langue [lɑ̃:g] [ラング] 舌

limbe [lɛ̃:b] [レンブ] 外縁

monde [mɔ̃:d] [モンド] 世界

humble [œ̃.bl] [アウンブル] 謙遜

- (3) 父音で終つてゐる音節で [i] [y] [u] [œ] [ɔ] [a] + 父音
〔但し [v] [z] [ʒ] [j] [r] を除く〕 の時は多くの場合短音である。

pif [pif] [ピフ] 獅子鼻
duc [dyk] [デュク] 公爵
bouc [buk] [ブーク] 山羊
veuf [vœf] [ヴフ] 鰥夫
foc [fɔk] [フォク] 三角帆
fat [fat] [ファト] やくざ者

[注意] a+父音は常に長音である。

las! [la:s] [ラース] あゝ
âme [a:m] [アーム] 靈魂
pâte [pa:t] [パート] 捏粉

3 音節の中央にある母音の長さ

(1) 最後の音節の中央にあるものは長母音である。

banque [bɑ:k] [バンク] 銀行
caisse [kɛ:s] [ケース] 箱
paque [pa:k] [パーク] 復活祭
longue [lɔ:g] [ロング] 長い

(2) 其の他の音節の中央にあるものは中母音である。

banquier [bɑ̃'kje] [バンキエ] 銀行家
caissier [kɛ'sje] [ケーシエ] 會計係
insupportable [ɛ̃'syporta'bl] [エンシュポルタブル]
堪へがたい
longueur [lɔ̃'gœ:r] [ロングール] 長さ

(1) [注意] 最後の音節の中央にあつた場合長母音でも、他の音節になつた場合には短母音となるものもある。

tir [tir] [ティール] 射撃
tiroir [tirwa:r] [ティールワール] [抽斗]
lave [la:v] [ラーヴ] 熔岩

laver [lave] [ラヴェ] 洗ふ

[注意] (2) 最後の音節にあつて短母音であるものが、他の音節になつた場合には中母音となる。

ban [bɑ̃] [バン] 布告
banlieue [bɑ̃'ljø] [バンリュエ] 市附近の町村
beau [bo] [ボ] [美しい]
beauté [bo'te] [ボーテ] 美しさ

4. 連節 (groupes de souffle)

我々は長い談話をなすに當つて、一口に續けて云ふものではない。その間に必ず音の休止をおいて幾節かに切る。其理由は、

第一、息を吸ひ込まねばならない自然の必要からと、

第二、文意を明瞭にする必要からとである。

此の一口に云はれる音節の一連を連節と云ふ。

Il faisait très beau hier. は文意が簡単であるから途中で切る必要はない。Dois-je visiter mon ami malade à l'hôpital, ou dois-je finir mon travail. (病氣してゐる友を病院に見舞ひに行かうか、それとも仕事を終へて仕舞ふか) は兩語句の間に密接な關係はあるものゝ意味は全く別であるから、たとへ一息で發音することが出来ても、相手方に文意を明瞭に傳へるには、二つに切つて發音した方がよい。

(1) 連節の切れ目は單に息を繼ぐ爲ばかりの時は、常に略々同じであるが、文意に従ふ時は、或は長く、或は短くなるのは當然のことである。聴衆に對して演説をする時、又は複雑な話をする時は、其の他の場合より連節が短くなる。又話の速度の緩急によつても長短が生ずる。

(2) 普通の朗讀の場合は何處で連節を切るべきかは、重要な問題で、此の切り方が不當であると、極めて聞き苦しいもの

である。句讀點は我々にとつて多少の助けとなる。

(,) は最も短い、(;) (:) は少し長い。(.) (!) (?) は尙一層長い休止を示す。大體としては正しいが、句讀點の用法には一定不變の規則はない。(,) があつても全然休止をしないで唯音調の變化を示す様なこともある。(!) (?) は音調を示すのが本來の職分である。正しい連節の切り方を知るには發音の正しい人に就いて之を學ぶのにこしたことはない。

- (3) 文 (phrase) とは、一つの思想を意味の方面から見て、與へた名稱で、之を構成してゐる單語 (mots) とは論理上の區別で、音聲學上の區別ではない。音聲學上の區別である連節と、單語と一致する場合もあるが、常に一致するものではない。或る人が知らない外國語を話すのを聞いた時、語の終りと、始めとを識別することの、到底不可能であることを考へても分ることである。(,) があつても次の如き場合には音の休止はない。

oui, monsieur [wiməsjø] [ヴィムシュー]

non, madame [nɔmadam] [ノンマダム]

mais, oui [mewi] [メヴィ]

次の如き場合には oui の次に休止があつても極めて短く、il の次に相當長い休止がある。

“Mais, oui, dit-il, tu as raison.” (そうだとも、君の云ふことは尤だと、彼は云つた)

- (4) 如何に遅く發音する時でも連節は或る程度以上に短くすることは出来ない。文法的關係の密接な語の連りは切らない様に心掛くべきである。

例へば冠詞と名詞、形容詞と名詞、主語代名詞と動詞、助動詞と動詞、動詞と其の補語、前置詞と其の補

語、副詞と其の限定する語、接續詞とその次に來る文句。

Je répète que vous m'avez insulté. (私は繰り返して申します、貴方は私を罵りました) que は後に附して發音すべきもので、前に附けて切るのは誤りである。

次の連聲の項を参照せよ。

VI. 連聲 (Liaison)

1. 發音の調和

文章を読むに當り、若し各語を單獨に切り離して發音する時は、假令一語一語の發音が完全であつても、そこに一種の不調和を感じる。例へば Comment allez-vous? を切り離して [kɔmālevu] [コマンアレヴ] と發音する時は、[kɔmā] の [ā] と [ale] の [a], 即ち母音と母音とが重複して耳に極めて不快に響くものである。此の母音と母音との重複を佛語で *hiatus* [jatys] [イヤテュス] と呼び、佛語の生命とする發音の優美を害するものであるから、極力之を避ける様に心掛けねばならない。その方法は *Liaison* 即ち連聲によつてである。

Liaison とは前の語の最後の父音と次の語の頭にある母音 (h muette がある時は次の母音) とを連絡して發音することである。即ち母音と母音との間に父音を發音して發音の調和を計るもので、前述の場合ならば、之を [kɔmātalevu] [コマンタレヴ] と發音する。かくすることによつて、佛語の發音の優美と云ふ特徴を完全に發揮することが出来る。

2. Liaison をする場合

Liaison に最も意を用ひる場合は、詩を誦する時、劇を演ずる時である。次には演説並びに氣品ある文章を読む場合で、日常會話の際は最も等閑に附せられる。又 Liaison は人によつても大いに相違がある。Liaison をなすには綴を完全に知らねばならない。故に教育ある者でなければ、完全な Liaison をすることは出来ない。

Ce n'est pas à moi. を Ce n'est pa(s) t à moi. と云ふ様に間違つた Liaison をすることを佛語で *Pataquès* 或は *Pat-à-qu'est-ce* [patakɛ:s] [パタケス] と云ふ。注意して、*Pataquès* をしない様になさなければならない。*Pataquès* は自分の無學を示す様なものである。

3. Liaison の一般的注意

- (1) ゆつくり發音する場合には Liaison をしない。例へば *Il est arrivé* を初め [ilɛ] [イレ] と読み暫くしてから [tarive] [タリヴェ] と読むことは却つて耳障りとなる。
- (2) Liaison は軽くすべきものである。Liaison の本來の目的は發音を優美にすることであるのに、之を重くする"r" は、本來の目的に反する。
- (3) 始めの語が無音の e で終り、次の語が母音或は無音の h で始まる時は、e は全くないものと見做し、其の前の父音が liaison する。
petite enfant [pɛtitãfã] [プティタンファン] 小さな女の子
cinquième avenue [sɛ̃kjɛmavny] [センキエマヴニ] 五番目の通
- (4) 組成名詞及び熟語では liaison する。
pot-au-feu [potofø] [ポトフ] ソップ鍋

mot-à-mot [motamo] [モタモ] 一字一字

piéd-à-terre [pjɛtatɛ:r] [ピエタテール] 假の宿

de temps en temps [dɛtãzãtã] [ドゥタンゼンタン] 時々

- (5) 冠詞は次に來る名詞或は形容詞と liaison する。

les hommes [lezòm] [レゾム] 人々

les autres personnes [lezotrperson] [レゾトルベルソン] 他の人々

- (6) 形容詞と名詞は liaison する。

le grand ours [lãgrãturs] [ルグラントゥルス] 大熊

deux petits enfants [døptizãfã] [ドゥプティザンファン] 二人の小さい子供

mon ami [mõnami] [モンナミ] 私の友

- (7) 數字は次に來る形容詞或は名詞と liaison する。

deux animaux [dø:zanimø] [ドゥザニモ] 二匹の動物

deux autres animaux [dø:zotrzanimo] [ドゥゾートルザニモ] 他の二匹の動物

- (8) 人稱代名詞は、其の次に來る動詞と或は en と或は y と liaison する。

il entend [ilã:tã] [イランタン] 彼は聞く

nous arrivons [nuzarivõ] [ヌザリヴァン] 我々は到着する

on écoute [õnekut] [オンネクトゥ] 人は聴く

j'en ai [zãne] [ジャンネ] 私はそれを持つ

vous en avez [vuzãnave] [ヴザンナヴェ] 貴方はそれを持つ

nous y venons [nuzivnõ] [ヌジヴノン] 我々はその處に來る

en y pensant [ãnipã:sã] [アンニパンサン] そのことを考へながら

- (9) 前置詞と其の次に来る語とは liaison する。
 sans abri [sãzabri] [サンザブリ] 身を寄せる處もなく
 en écoutant [ãnekutã] [アンネクタン] 聴きながら
- (10) 副詞は其の次に来る形容詞或は副詞と liaison する。
 très utile [trɛzytil] [トゥレズティル] 非常に有用な
 trop idiot [trɔpidjɔ] [トゥロピディオ] 餘り馬鹿な
- (11) 動詞と其の次に来る語とは liaison する。
 Il est intelligent. [iletɛ̃teligã] [イレテンテリジャン] 彼
 は利口だ
 Vous viendrez avec moi. [vuvjɛ̃drezavɛkmwa] [ヴヴィ
 エンドゥレザヴェクムヴァ] 私と一緒に御出でなさい
- (12) 疑問文に於て動詞と主語たる代名詞とは liaison する。
 Court-il? [ku:rtil] [クールティル] 彼は走るか
 Veut-on? [vøtɔ̃] [ヴウトン] 望むか
- (13) 接続詞 quand と次に来る語とは liaison する。
 quand il viendra [kãtilvjɛ̃dra] [カンティルヴィエンドゥ
 ラ] 彼が来るだらう時に
- (14) 主語が s で終つてゐる名詞の時は、次に来る動詞と liaison
 を避ける方がよい。
 Les souris / aiment la farine. [lesuriemlafarin] [レスリ
 エム ラ ファリヌ] 小鼠は粉が好きだ
 Ce tamis / est troué. [stamiɛ̃trɛ̃] [スタミエトルエ] 此
 の篩には孔があいてゐる
 Ces enfants / ont réussi à l'examen. [sezãfã̃rɛysialeg-
 zamɛ̃] [セザンファンオンレユシアレグザメン] 此等の子
 供達は試験に合格した
- 注意] 然し多くの者は次の場合に liaison をする。蓋し liaison
 した方が優美に聽かれるからである。

- Paris est agréable au printemps. [parizɛtagrea'blo-
 prɛ̃tã] [パリゼタグレアーブロブレンタン] 春巴里は
 心地好い
- (15) 固有名詞は其の前に来る語と liaison しないのを原則とす
 る。然し必要な場合には之をする。次に示す例に於て若し
 liaison せぬ時は hiatus を形成するから是非とも liaison
 せねばならない。
 Va trouver Hermione. [vatruverɛrmjɔ̃] [ヴァトルヴェ
 レルミオン] エルミオンに會ひに行け
- (16) 動詞 être, avoir が助動詞として用ひられた時は、次に來
 る語と必ず liaison する。
 Il était arrivé. [iletɛ̃tari:ve]. [イレテタリヴェ] 彼は到着
 してゐた
 Ils ont appris. [ilzɔ̃tapri] [イルゾンタプリ] 彼は學んだ
- (17) onze, onzième, ouate, oui, ouïr は其等の前に来る語と
 liaison も élision もしない。
 le onze septembre [ləɔ̃:zɛptã:br] [ルオンズセプタンブ
 ル] 九月十一日
 le onzième anniversaire [ləɔ̃:zjɛmaniverse:r] [ルオンズ
 イエマニヴェルセール] 第十一周年祭
 la ouate [lawat] [ラヴァト] 中綿
 le oui ou non [ləwiunɔ̃] [ルウィウノン] 諾否
 tu dois ouïr [tydwawir] [テドゥヴァヴィール] 君は聞く
 筈だ
- (18) [j] [w] [ɥ] 等の半母音は、時としては母音として、時と
 しては、父音として取り扱はれる。
 (母) les yeux [lezjø] [レズィウ] 眼
 (父) les yacht [lejak] [レヤク] ヨット

- (母) deux oies [døzwa] [ドウズヴァ] 二羽の鶉鳥
 (父) les Wallons [lewals] [レヴァン] 白耳義南東部の住民
 (父) en huit [ɑ̃qit] [アンヌイトゥ] 來週の
 (母) l'huitre [lɥitr] [リュイトゥル] 牡蠣

1. 語尾の父音に関する注意

B. (1) 發音する語尾の b は liaison する。

Job était pauvre. [ʒobetepo:vʁ]. [ジョベテポーヴル]
 ヨブは貧乏であつた

Le nabab est arrivé. [lənabaːbetari:ve] [ルナバベ
 タリヴェ] 大守は到着した

(2) 發音しない語尾の b は liaison しない。

un aplomb / inébranlable [œnɑplɔ̃inebrɑ̃laːbl] [ア
 ッンナブロンイネブランラールブル] 不屈の勇氣

C. (1) 發音する語尾の c は [k] の音を以て liaison する。

roc élevé [rɔkɛlvɛ] [ロケルヴェ] 高い岩石
 parc immense [parkimmɑ̃:s] [パルクムマンヌス] 廣
 大な公園

(2) 發音しない語尾の c は liaison しない。

accroc / à la réputation [akroalarepytaːsjɔ̃] [アク
 ロアラレピュタシオン] 名聲に対する汚點
 almanach / assez bon [almanaasebɔ̃] [アルマナア
 セボン] かなり良い年鑑

[注意] 熟語の場合には liaison する。

tabac à mâcher [tabakamaːʃe] [タバカマーシェ] 嚼
 煙草

à franc étrier [ɑfrɑ̃kɛtrje] [アフランケトゥリエ] 馬
 の全速力で

(3) 發音しない語尾の ct は c が liaison する。

aspec(t) imprévu [aspɛkɛ̃prevy] [アスペケンプレ
 ヴェ] 豫想しない光景

respec(t) imposant [rɛspɛkɛ̃poːsɑ̃] [レスペケンボ
 ザン] 威厳のある尊敬

[注意] 發音する語尾の ct は T の部参照。

D. (1) 發音する語尾の d は liaison する。

sud-est [sydɛst] [スュデストゥ] 南東

cid austère [sidoːstɛ:r] [スイドーステール] 厳格な大
 將

(2) 發音しない語尾の d は liaison しない。

Le nid / est le berceau des petits oiseaux. [ləniclə-
 bersodeptizwazo] [ルニエルベルソデプティズヴァ
 ゴ] 巢は小鳥の搖籃である

nord-est [nɔr / ɛst] [ノルエストゥ] 北東

[注意] (a) 前の語が次の語を形容する時は liaison する。

Il a reçu un froid accueil. [œfrwatakœj] [ノ
 ンフルヴァタクイユ] 彼は冷淡な取り扱ひを受
 けた

(b) 熟語では [t] の音を以て liaison する。

pied-à-terre [pjɛtatɛ:r] [ピエタテール] 假の宿

(3) 語尾が nd の時は t の音を以て liaison する。

Il prend un livre. [ilprɑ̃tœli:vʁ] [イルブランタ
 ムンリーヴル] 彼は一冊の書物を取る

un grand homme [œgrɑ̃tm] [アングラントム]
 偉人

(4) 語尾の rd は liaison しない。

Il perd / un livre. [ilpɛ:rœli:vɾ] [イルペールアッ
リーヴル] 彼は書物を失ふ

〔注意〕 疑問體の動詞の語尾が d の時は其の主格代名詞と t の
音を以て liaison する。

Perd-il? [pɛ:rtil] [ペールティル] 彼は失ふか

Mord-elle? [mɔ:rtɛl] [モールテル] 彼の女は噛むか

Coud-elle? [kutɛl] [クテル] 彼の女は縫ふか

F. f は常に [f] 音を以て liaison する。

Le canif est coupant. [ləkanifɛkupɑ̃] [ルカニフエク
パン] 小刀は切れる

Il est vif et léger. [ilvifɛleʒɛ] [イレヴィフェレジェ]
彼は活潑で軽快である

〔注意〕 數形容詞の neuf (九) は [v] の音を以て liaison する。
neuf enfants [nœvɑ̃fɑ̃] [ヌヴァンファン] 九人の子供
neuf habits [nœvabi] [ヌヴァビ] 九つの着物

G. (1) 發音する語尾の g は [g] の音を以て liaison する。

un joug atroce [œʒugɑtrɔs] [アージュガトプロス]
恐ろしい束縛

(2) 發音しない語尾の g は liaison するも可、せざるも可、
語尾が ng の時は普通 liaison する。其の場合は [k]
の音を以てする。

sang impur [sɑ̃kɛpy:r] [サンケンピュール] 不純の血
un rang illustre [œrɑ̃kilystr] [アランキリュス
トル] 顯れた地位

(3) 語尾の ing は決して liaison しない。

le meeting / amusant [ləmi:tij amyzɑ̃] [ルミーティ
ング アミュザン] 愉快的集り

H. h は liaison しない。

J. 佛語には j の語尾をもつ語がない。

K. k は liaison する。

Mon kodak est excellent. [mɔ̃kɔdakɛksɛlɑ̃] [モ
ンコダケテクセラシ] 私の「コダック」は非常に良い
Le kopeck est une monnaie russe. [ləkɔpɛkɛtyn-
mɔnɛrys] [ルコペケテュヌモノリユス] 「ゴベック」は
露西亞の貨幣である

L. (1) 發音する語尾の l は liaison する。

un bel homme [œbɛlɔm] [アッペロム] 美男子

le nouvel an [lənuvɛlɑ̃] [ルスヴェラン] 新年

ce bal animé [sbalanime] [スバラニメ] 此の盛な舞
踏會

(2) 發音しない l は liaison しない。

fusil inutile [fyziinytil] [フズイニユティル] 不必
要な銃

persil excellent [pɛrsiɛksɛlɑ̃] [ベルシエクセラシ] 結
構な人参

outil utile [utiytɪl] [ウティユティル] 必要な道具

(3) 語尾の l が所謂 l mouillé の時は [j] の音を以て
liaison する。

gril en fer [gri:jɑ̃fɛ:r] [グリーヤンフェール] 鐵網

soleil ardent [solɛ:jardɑ̃] [ソレーヤルダン] 照りつ
ける太陽

travail énorme [trava:jɛnɔrm] [トラヴァアエヌノル
ム] 大仕事

pareil événement [parɛ:jɛvɛnmɑ̃] [パレユヴェヌマ

ン] 此の様な仕事

M. 発音する語尾の m は liaison する。此の発音される m は極めて少数であるから、一般に m は liaison しないと見て差し支へない。

opium assez fort [ɔpiomasefo:r] [オピオマセフォー
ル] かなり強い阿片

album élégant [albomelegã] [アルボメレガン] 優美
な畫帳

rhum excellent [romekselã] [ロメクセラン] 上等の
ラム酒

N. (1) 形容詞の語尾の n は次に来る形容する名詞と liaison する。

mon enfant [mõnãfã] [モンナンファン] 私の子供
l'ancien avocat [lãsjeãnavõka] [ランシエンナヴァカ]
元の辯護士

aucun être vivant [o'kõẽne:trvivã] [オーカヴンネー
トルヴィヴァン] 少しも生物とてはない

【注意】以上の規則は名詞と形容詞の位置を變へた時は適用することは出来ない。例へば un musicien/habile は [õmyzisjeãabil] [アウンミュージシエンアビル] (巧な音楽家) と発音する。

(2) 代名詞 on, en は動詞の前に来た時は、動詞と liaison する。

On est heureux. [õnctõerø] [オンネトルウ] 人は
幸福だ

J'en ai un. [jãneõ] [ジャンネアウン] 私はそれを一
つ持つてゐる

(3) un は常に liaison する。

l'un et l'autre [lõnelõ'tr] [ラウンネロートル] 双
方 un homme [õnõm] [アウンノム] 人

(4) 名詞の語尾の n は次に来る語と liaison しない。

un bain / agréable [õbõẽãgrea'bl] [アウンペンアグレ
アール] 心地よい入浴

un bien / important [õbjõẽẽportã] [アウンビエンエ
ンポルタン] 大切な寶

un rien / inutile [õerjõẽinytil] [アウンリエンイニュティ
ル] 無益な徒事

une maison / à louer [ynme'zõalwe] [ユヌメーゾン
アルヴェ] 貸家

【注意】 bien, rien は副詞として用ひられた時は liaison する。

bien étudié [bjõẽnetydje] [ビエンネテュディエ] 良く
學んだ

rien avoir [rjõẽnavwar] [リエンナヴァヴァール] 何物
をも持たない

(5) bon 及び plein は liaison するに當り、鼻音の性質を失ふ。

un bon élève [õbonelc:v] [アウンボネレーヴ] 善良
な生徒

le plein air [lõplẽne:r] [ルブレネール] 外氣

P. (1) trop 及び beaucoup は常に liaison する。

beaucoup étudié [bo'kupetydje] [ボークベテュディ
エ] 多く學んだ

trop audacieux [trõpo.dasjø] [トロポダスイウ] あ
まり圖々しい

- (2) 一般に p の音は調子のよいものでないから、liaison を避ける方がよい、但し次の場合に限り、liaison する。
 un cap avancé [œkapavã:se] [アッソカバヴァンセ] 突き出てゐる岬
 le cep et son échelas [ləsepesɔnefala] [ルセベソソネシアラ] 葡萄の株と其の添木

Q. q は [k] の音を以て liaison する。

- cinq ans [sɛ̃kã] [センカン] 五年
 coq-à-l'âne [kɔkala'n] [コカラーヌ] 筋路の立たない話

R. (1) er, ier で終る名詞では liaison しない。

- Je prends mon dîner / en ville. [ʒəprãmɔdi'neãvil] [ジュブランモンディネアンヴィル] 私は町で晝飯を食べる
 un châtaignier / élevé [œʃatʃpeelve] [アッソシァテニエエルヴェ] 高い栗の木

(2) er, ier で終る形容詞は liaison する。

- léger étonnement [leʒeretɔnmã] [レジェレトヌマン] 一寸した驚
 dernier avis [dɛrnjeravi] [デルニエラヴィ] 最後の意見

(3) 動詞の不定法の語尾の r は韻文では liaison するが、普通の會話では、一般に liaison を避けるやうにする。

S. (1) 複数の s は常に [z] の音を以て liaison する。

- petits enfants [pɛtizãfã] [プティザンファン] 小さい子供達

- discours ardents [disku:rzardã] [ディスクールザルダン] 熱烈な演説

[注意] 組成名詞にあつては s は liaison しない。其の前の字が liaison する。

- vers à soie [vɛ:raswa] [ヴェーラスヴァ] 蠶
 arcs-en-ciel [arkã'sjel] [アルカンシエル] 虹

(2) 單數名詞で、語尾に s をもつものは、其の名詞が、單數に用ひられた時は、liaison しない。

- un discours / ardent [ãdisku:r / ardã] [アッソディスクールアルダン]
 un mets / exquis [œmɛɛkski] [アッソメエクスキ] うまい馳走

(3) 名詞 heures に次に來る接續詞 et 及び數字 un と liaison しない。

- six heures / et demie [sizœ:r edãmi] [シズールエドゥミ] 六時半
 six heures / un quart [sizœ:r œkar] [シズールアンカール] 六時十五分

(4) vers, envers, recours, toujours の s は常に liaison する。

- vers eux [vɛ:rœ] [ヴェールズウ] 彼等の方に
 envers elle [ãvɛ:rzel] [アンヴェールゼル] 彼の女に對して
 recours en grâce [rku:rzãgras] [ルクールザングラス] 特典の請願
 toujours été [tuʒu:rzete] [トゥジュールゼテ] いつも……であつた

(5) 次の熟語は常に liaison する。

corps et âme [kɔ:rzeɑ:m] [コールゼアーム] 肉體と
靈魂

corps et bien [kɔ:rzebjɛ̃] [コールゼビエン] 身體と
財産

〔注意〕 次の熟語では ps は發音なく、r が liaison する。

corps à corps [kɔ:rakɔ:r] [コーラコール] 相接して

T. (1) t は一般に liaison する。

Il était en France pendant huit ans. [iletɛtɑ̃frɑ̃:s
pɑ̃dɑ̃kitɑ̃] [イレテタンフ랑스パンダンヴィタン]
彼は佛蘭西に八年間ゐた

(2) 語尾が rt の時、殊に短音節の時は、liaison を避ける。

Il part / en courant. [ilpar / ɑ̃kurɑ̃] [イルバルアン
クラン] 彼は走りながら出發する

Elle dort / encore. [eldɔr / ɑ̃kɔ:r] [エルドルアンコ
ール] 彼の女はまだ眠つてゐる

un désert / immense [ɑ̃dezɛ:r / immɑ̃:s] [アウンデ
ゼールイムマンヌ] 廣大な砂漠

de son sort / envieux [dəsɔ̃sɔ:r / ɑ̃vjø] [ドゥソンソー
ルアンヴィウ] 彼の美ましい運命に就いて

(3) 副詞の fort は常に liaison する。

fort érudit [fɔrterydi] [ノオルテリュディ] 非常にす
くれた

fort aimable [fɔrtema'bl] [フォルテマーブル] 非常
に親切的な

(4) 形容詞の fort は liaison しない。

Il est fort / et grand. [ilefɔ:r / egrɑ̃] [イレフオー
ルエグラン] 彼は丈夫で大きい

〔注意〕 熟語の fort et ferme [fɔ:teferm] [フォルテフェルム]
(強固) は liaison する。

○ (5) 接續詞の et は決して liaison しない。

un cheval et / un âne [œ̃ʃəvaleœ̃nɑ:n] [アウンシュ
ヴァレアウンナーヌ] 馬と驢馬

(6) 發音する語尾の ct の t は liaison する。

direct et indirect [direkte ẽdirekt] [ディレクテエン
ディレクトフ] 直接と間接

tact incroyable [taktẽkrwaja'bl] [タクテンクルヴァ
ヤール] 信じられない程の手腕

○ (7) cent / et un [sɑ̃eœ̃] [サンエアウン] (百一) } liaison
cent / un [sɑ̃œ̃] [サンアウン] (百一) } しない。
cent ans [sɑ̃tɑ̃] [サントン] (百年) は liaison する。

X. x は [z] の音を以て liaison する。

six enfants [sizɑ̃fɑ̃] [スイザンファン] 六人の子供
dix hommes [dizɔm] [デイゾム] 十人

Z. (1) は一般に liaison する。

chez eux [ʃezø] [シェズウ] 彼の家に

Venez-y voir. [vənezivwa:r] [ヴェネズィヴヴァール] 其
處に見にお出で

(2) 次の語では liaison しない。

un nez / aquilin [œ̃neakilẽ] [アウンネアキレン] 鷲
鼻 se trouver nez / à nez [struveane] [ストゥルッ
ヴェネアネ] 互に向ひ合つてゐる

du riz / au lait [dyriole] [デュリオレ] 牛乳入り飯

以上で liaison に関する大體の基準を示した積りである。實際
上佛人の liaison は區々なるもので、到底嚴格な規則で律するこ

とは不可能である。時と場合とに應じ、耳に快く響く時は之を爲し、然らざる時は之を避ける様にせば、大なる誤もないと思ふ。要は各人の耳の問題である。

VII. 佛語の字と音

1. 佛語の字母 (alphabet français)

現在佛語では次の二十六字を用ひてゐる。

文字	名稱	字文	名稱
A a	[a] [ア]	N n	[ɛn] [エヌ]
B b	[be] [ベ]	O o	[o] [オ]
C c	[se] [セ]	P p	[pe] [ペ]
D d	[de] [デ]	Q q	[ky] [キュ]
E e	[e] [エ]	R r	[ɛ:r] [エール]
F f	[ef] [エフ]	S s	[es] [エス]
G g	[ge] [ジェ]	T t	[te] [テ]
H h	[af] [アシュ]	U u	[y] [ユ]
I i	[i] [イ]	V v	[ve] [ヴェ]
J j	[ʒi] [ジイ]	W w	[du'bløve] [ドッブルヴエ]
K k	[ka] [カ]	X x	[iks] [イクス]
L l	[el] [エル]	Y y	[igrɛk] [イグレック]
M m	[ɛm] [エム]	Z z	[zed] [ゼッド]

[注意] 1. W, w は元來佛語の字でなく外國語の中に用ひられる。

2. E, e は [e] [エ] と讀まずに [ə] [ウ] と讀む。

佛語で字母を ABC と云ふ様に、昔希臘語でも其の字母を α β (alpha, bêta) と云ふた。alphabet と云ふ語はそれから轉化したものである。

2. 母字と父字

此の内 a, e, i, o, u は普通母音を表はす。母音を表はす字を母字又は母音字 (lettre voyelle) と云ふ。その他の字は大抵父音を表はし、父字又は父音字 (lettre consonne) と云ふ。

但し y は音節の初めにあつては普通父字で、その他の場合では大抵母字である。

父音 yard [jar] [ヤール] 碼

母音 jury [ʒy:ri] [ジューリ] 陪審官

3. 佛語の綴方の記號 (signes orthographiques)

['] accent aigu [aksâtegy] [アクサンテギュ]

[`] accent grave [aksâgra:v] [アクサングラヴ]

[^] accent circonflexe [aksâsirkôfleks] [アクサンシルコンフレックス]

['] は e, [`] は a, e, u, [^] は a, e, i, o, u の上に置かれる。

[¨] tréma [trema] [トゥレマ] e, i, u, y の上に置かれ、此の記號を持つ母音は隣接してゐる他の母音と獨立して個々に發音される。例へば au は [o] [オ] であるが aü は [ay] [アユ] と發音する。

[ç] cédille [sedi:j] [セディーユ] 此の記號は c に [s] の音

[^] の記號がある字は長音に發音される場合が多い。然しさうとばかりは限つてゐない。單に語原を示すに止まることもある。例へば hôtel [otel] [オテル] hôpital [ɔpital] [オピタル] の ô は羅典語 hospitale の s が省略され、その代りに [^] をつけたもので、却つて短音に發音する。dévouement を dévoûment [devumã] [デヴマン] などと書くこともある。發音に變化はない。

['] [^] は又若干の語の混同を避ける爲にも用ひられてゐる。例へば動詞の a と前置詞の à, 過去分詞の dû と冠詞の du, 接續詞の ou と副詞の où, 前置詞の sur と形容詞の sûr, 名詞の mur と形容詞の mûr 等に於けるが如し。

を興へる爲に用ひられる。例へば ca は [ka] [カ], co は [ko] [コ], cu は [ky] [キュ] であるが, ça, ço, çu とすれば [sa] [サ], [so] [ソ], [sy] [シュ] と發音される。

(') apostrophe [apostrɔf] [アポストロフ] 此の記號は, a, e 又は i が省略されてゐることを示す。

l'enfant は le enfant の e
l'armoire は la armoire の a
s'il y a は si il y a の i

(-) trait d'union [trɛdynjɔ̃] [トッレデュニオン] 語と語とを結合する爲に用ひられる。例へば sur-le-champ (直ちに) の如し。

4. 發音の練習

(1) 母音

A. a に二種ある。1 開口の a [a], 2 閉口の a [ɑ]

1 の a=[a] [ア] pas [pa] [パ] 歩
cas [ka] [カ] 場合
phrase [fraz] [フレーズ] 文章
amen [amɛn] [アーメン] かくあれかし
2 の a=[ɑ] [ア] animal [animal] [アニマル] 動物
arbitre [arbitr] [アルビートル] 仲裁人
asile [azil] [アジル] 避難所
place [plas] [プラス] 場所

â=[ɑ] [ア] ça [sa] [サ] 此處
là [la] [ラ] 彼處

â. accent circonflexe を持つ a は多くの場合 [ɑ] と發音される。
âme [am] [アーム] 靈魂
grâce [gras] [グラーズ] 恵

château [ʃa'to] [シャート] 城

tâche [ta.ʃ] [ターシュ] 努力

ai に三つの場合がある。1 [ɛ] [エ] 開口の e。2 [ɛ̃] [エ] 閉口の e。3 [ə] [ウ] 無音の e。

1 の ai=[ɛ] [エ] aigle [ɛ'gl] [エーグル] 鷲

balai [balɛ] [バレ] 箒

lait [lɛ] [レ] 乳

air [ɛ:r] [エール] 空氣

半過去の語尾の ais, ait 等

je donnais [ʒədɔnɛ] [ジュドネ] 私は興へてゐた

2 の ai=[ɛ̃] [エ] geai [ʒɛ] [ジェ] 椋鳥

tu sais [tyse] [テュセ] 君は知つてゐる

總ての未來の語尾 je parlerai [ʒəparlə:ɛ] [ジュパルルレ] 私は話ませう

第一群定過去の語尾 j'aimai [ʒɛ'mɛ] [ジエメ] 私は愛した

3 の ai=[ə] [ウ] faisable [fəza'bl] [フザーブル] 爲し得る

faiseur [fəzœ:r] [フズール] 製作者(男)

faiseuse [fəzø:z] [フズーズ] 同上(女)

faisons [fəzɔ̃] [フゾン] しませう(動詞 faire の命令法)

âi=[ɛ:] [エー] 多くの場合長音に發音する。

connaître [kɔnɛ:tr] [コネートル] 識る

traîne [trɛ:n] [トッレーヌ] 曳くこと

ai=[ai] [アイ] a と i と別々に發音する。

mosaïque [mɔzaik] [モザイク] 寄木細工

hébraïque [ebraik] [エブライク] ヘブライの

mais [mais] [マイス] 玉蜀黍
laïque [laik] [ライク] 俗人

ail = aill [a:j] [a:j] [アーイユ]

travail [trava:j] [トッラヴァーイユ] 仕事
rail [ra:j] [ラーイユ] レール
bail [ba:j] [バーイユ] 賃貸借
bétail [beta:j] [ベターイユ] 家畜
railler [ra:je] [ラーイユエ] 嘲る
tailleur [ta'jø:r] [ターイユウール] 仕立屋
paille [pa:j] [パーイユ] 藁
taille [ta:j] [ターイユ] 身の丈

【注意】 l が次に来る音節に属する時は ai は [e] と発音する。

railure [rely:r] [レリュール] 針の孔の両側にある溝

aim = ain = [ɛ̃] [エン]

demain [dəmɛ̃] [ドゥメン] 明日
faim [fɛ̃] [フェン] 飢
daim [dɛ̃] [デン] 鹿の一種
ainsi [ɛ̃si] [エンスィ] 此の如く
contraindre [kɔ̃trɛ̃:dr] [コントゥレンドゥル] 強ふる
je vaincs [ʒəvɛ̃] [ジュヴエン] 私は勝つ
gain [gɛ̃] [ゲン] 利益

am = [ɑ̃] [am] [a]

(1) am = [ɑ̃] [アン]

ambition [ɑ̃'bisjɔ̃] [アンビスィオン] 野心
lampe [lɑ̃:p] [ランプ] ランプ
champ [ʃɑ̃] [シュアン] 畑
Adam [adɑ̃] [アダナン] 人類の祖先

(2) am = [am] [アム]

(イ) tramway [tramwe] [トッラムヴェ] 電車

(ロ) n の前に於て

amnistie [amnisti] [アムニスティ] 大赦

amnistier [amnistje] [アムニスティエ] 大赦する

(ハ) 大部分の外国語の語尾

Abraham [abraam] [アブラアム] 人名

Amsterdam [amsterdam] [アムステルダム] 都

の名

Potsdam [potsdam] [ポツダム] 都の名

(3) am = [a] 一般に m の前に於て

ammoniac [amɔ̃jak] [アモニアク] アンモニア

épigramme [epi'gram] [エビグラム] 碑文

flamme [fla:m] [フラーム] 焰

an = [ɑ̃] [a]

(1) an = [ɑ̃] [アン]

chant [ʃɑ̃] [シュアン] 歌

banc [bɑ̃] [バン] 腰掛

enfant [ɑ̃'fɑ̃] [アンファン] 子供

ancien [ɑ̃'sjɛ̃] [アンシエン] 古の

(2) an = [a] [ア] n で始まる音節の前に於て

anneau [ano] [アノ] 指輪

année [ane] [アネ] 年

ao = [ao] [ao] [o]

(1) ao = [ao] [アオ] 或は [aɔ] [アオ]

cacao [kakao] [カカオ] ココア

aorte [aɔrt] [アオルト] 大動脈

(2) ao = [o] [オ]

curaçao [kyraso] [キュラソ] キュラソ酒

Saône [so:n] [ソーヌ] 河の名

Aoste [o:st] [オースト] 都會の名

acn=[*ɑ̃*] [*aõ*] [*a*]

(1) aon=[*ɑ̃*] [アン]

faon [*fɑ̃*] [ファン] 小鹿

paon [*pɑ̃*] [パン] 孔雀

taon [*tɑ̃*] [タン] 蛇

Laon [*lɑ̃*] [ラン] 都會の名

(2) aon=[*aõ*] [アオン]

lycaon [*likaõ*] [リカオン] 狼の一種

pharaon [*faraõ*] [ファラオン] 古代埃及王の稱

(3) aon=[*a*] [ア] n の前に於て

faonne [*fan*] [ファス] 牝小鹿

paonne [*pan*] [パス] 牝孔雀

Craonne [*kran*] [クラヌ] 都會の名

aou=**aou**=[*au*] [*u*]

(1) aou=[*au*] [アウ]

aoûtage [*auta:ʒ*] [アウトージュ] 刈入れ

caoutchouc [*kautʃu*] [カウチュウ] 護謨

raout [*raut*] [ラウト] 大宴会

(2) aou=[*u*] [ウ]

août [*u*] [ウ] 八月

saoul [*su*] [ス] 醉奴

au=[*o*] [*ɔ*]

(1) au=[*o*] [オ]

autel [*otel*] [オテル] 祭壇

aube [*o:b*] [オーブ] 曙

(2) [*ɔ*] [*ɔ*]

laurier [*lɔ:rje*] [ローリエ] 月桂樹

austère [*ɔstɛ:r*] [オステール] 厳格な

au=[*ay*] [アユ] a と u と別個に發音する。

Saül [*sayl*] [サユル] 人名

ay=[*ɛ*] [*ɛj*] [*ei*] [*aj*]

(1) ay=[*ɛ*] [エ]

Fontenay [*fɔ̃tənɛ*] [フォントネ] 人名

Epernay [*epɛrne*] [エペルネ] 地名

Launay [*lɔ:nɛ*] [ローネ] 人名

(2) ay=[*ɛj*] [エイユ]

balayer [*baleje*] [バレイユエ] 掃く

payer [*peje*] [ペイユエ] 支拂ふ

rayon [*rejɔ̃*] [レイユオン] 光線

frayeur [*frejœ:r*] [フレイユール] 恐怖

(3) ay=[*ei*] [エイ]

pays [*pei*] [ペイ] 國

paysan [*peisɑ̃*] [ペイザン] 農夫

abbaye [*abei*] [アベイ] 修道院

(4) ay=[*aj*] [アイユ]

Bayard [*bajɑ:r*] [バイユアール] 人名

Bayonne [*bajɔn*] [バイユオヌ] 地名

La Fayette [*lafajɛt*] [ラファイユエト] 人名

mayonnaise [*majɔnɛ:z*] [マイユオネーズ] ソースの一種

E. accent のある場合と、ない場合とに分ける。

é. (e accent aigu と讀む) [*e*] [*ɛ*] と發音する。

préférer [*prefere*] [プレフェレ] 選ぶ

°décéder [desede] [デセデ] 死ぬ
école [ekol] [エコル] 学校
économie [ekonomi] [エコノミ] 経済

è. (e accent grave と読む) [ɛ] [エ] と発音する。

père [pɛ:r] [ペール] 父
règle [regl] [レグル] 規則
lèvre [lɛ:vr] [レーヴル] 唇
poème [poem] [ポエム] 詩

ê. (e accent circonflexe と読む) [ɛ̃] [エ] と発音する。

chêne [ʃɛ:n] [シュエーン] 樅
pêcher [pɛ:ʃe] [ペーシュエ] 漁る
°frêle [frɛ:l] [フレール] 脆い
tête [tɛ:t] [テート] 頭
(例外) poêle=poële [pwa:l] [プワール] 暖爐

ë. (e tréma と読む)

(1) 元來 tréma は隣接の母音と別々に発音することを示す。

(2) ê と同様に [ɛ̃] と発音する。

(1) ë. aiguë [egy] [エギュ] 鋭い、tréma がなければ [eg]
[エグ] と発音される。

Saint-Saëns [sɛ̃'sɑ̃:s] [センサンス] 人名

(2) ë=ê [ɛ̃]

Noël [nœl] [ノエル] 基督降誕祭

Israël [israɛl] [イスラエル] 國名

[注意] 文豪 Madame de Staël は [staal] [スタアル] と発音する。

e. accent のない場合

(1) e=[ə] [ウ] 音節の終りに来る時

brebis [brəbi] [ブルビ] 牝羊

semaine [səme'n] [スメーン] 週
chevelure [ʃəvly:r] [シュヴリュール] 髪
reconnaissance [rəkɔnəsɑ̃:s] [ルコネサンス] 感謝

(2) e=[e]

(イ) 発音しない d, ds, r, rs, z 等のある時

pied [pje] [ピエ] 足

chanter [ʃɑ̃'te] [シュアンテ] 歌ふ

chez [ʃe] [シュエ] の許に

vous avez [vuzave] [ヴザヴェ] 貴方は持つ

(ロ) 外國語から轉じた語

°in pace [inpase] [インパセ] 牢獄

vademecum [vademekom] [ヴァデメコム] 携帶品

brasero [brazero] [ブラゼロ] 火鉢

revolver [revolvɛ:r] [レヴォルヴェール] ピストル

cicerone [sisero:n] [シセローン] 案内人

(3) e=[ɛ]

(イ) 發音せられる子音の前にある時。

bec [bek] [ベク] 嘴

bel [bel] [ベル] 美しい

bref [bref] [ブレフ] 短い

mer [mɛ:r] [メール] 海

net [net] [ネト] 正味の

pelle [pel] [ベル] スコップ

index [ɛ̃dɛks] [エンデクス] 索引

°paresse [pares] [パレス] 怠惰

°verte [vert] [ヴェルト] 緑色の

°leste [lest] [レスト] 軽快な

perplexe [pɛrpleks] [ベルプレクス] 當惑した

verre [vɛ:r] [ヴェール] 硝子

(ロ) 語尾が et, ect の場合、其の前にある e は [ɛ] と発音する。

projet [prɔʒɛ] [プロジュエ] 計画

regret [rɛgrɛ] [ルグレ] 残念

aspect [aspɛ] [アスペ] 光景

respect [rɛspɛ] [レスペ] 尊敬

(4) e. (イ) a, o, u の前にある **ç**, g, に [s] [ʒ] の音を與へる爲に挿入される e は無音である。

douceâtre [dusa:tr] [ドゥサートル] 甘味がかつた

mangeable [mɑ̃ʒabl] [マンジュアブル] 食べられる。

(ロ) 次の e も無音である。

madame [madam] [マダム] 夫人

asseoir [aswa:r] [アスワール] 座に著かせる

注意 moell で始まる語は [a] と発音する。

moelle [mwal] [ムワル] 髓

moelleusement [mwɑlɔ:zma] [ムワルウーズマン] 柔かに

moellon [mwɑlɔ̃] [ムワロン] 素石

ea [a]

il mangea [ilmɑ̃ʒa] [イルマンジュア] 彼は食つた

il plongea [ilplɔ̃ʒa] [イルボンジュア] 彼は潜つた

ean [ɑ̃] [a]

(1) ean=[ɑ̃] Jean [ʒɑ̃] [ジュアン] 人名

mangeant [mɑ̃ʒɑ̃] [マンジュアン] 食べながら

vengeance [vɑ̃ʒɑ̃:s] [ヴァンジュアンス] 復讐

obligeance [ɔbligɑ̃:s] [オブリジャンス] 親切

(2) ean=[a] [ɑ] Jeanne [ʒɑ:n] [ʒɑn] [ジャヌ] 人名

Jeannot [ʒano] [ジャノ] 人名

eau=[o] beau [bo] [ボ] 美しい

chapeau [ʃapo] [シャポ] 帽子

nouveau [nuvo] [ヌウヴ] 新しい

taureau [toro] [トロ] 牡牛

ei=[ɛ] neige [nɛ:ʒ] [ネージュ] 雪

seigle [segl] [セグル] 裸麥

baleine [balɛ:n] [バレーヌ] 鯨

peigne [pɛp] [ペニユ] 櫛

eil, eill=[ɛ:j] [エーイユ]

conseil [kɔ̃sɛ:j] [コンセーイユ] 會議

soleil [solɛ:j] [ソレーイユ] 太陽

abeille [abɛ:j] [アベーイユ] 蜜蜂

Marseille [marsɛ:j] [マルセーイユ] 都會の名

eim, ein=[ɛ̃]

Reims [rɛ̃:s] [レンス] 都會の名

peindre [pɛ̃dr] [ペンドール] 畫く

plein [plɛ̃] [プレん] 満ちてゐる

sein [sɛ̃] [セン] 胸部

em=[ɑ̃] [a] [ɛm] [ɛ]

(1) em=[ɑ̃]

(イ) temps [tɑ̃] [タン] 時

embonpoint [ɑ̃bɔ̃pwɑ̃] [アンボンプリン] 肥満

temple [tɑ̃:pl] [タンブル] 寺

Luxembourg [lyksɑ̃bur] [リュクサンブール] 國名

(ロ) m の前にある em も [ã] と発音することがある。
emmener [ãmne] [アンムネ] 連れて行く
emménager [ãmenage] [アンメナジェ] 新宅に運ぶ

(2) em=[a]

(イ) femme [fam] [ファミ] 女
femmelette [famlet] [ファミレット] 弱々しい女

(ロ) mment で終る副詞

ardemment [ardamã] [アルダマン] 勇敢に
prudemment [prydãmã] [プリュダマン] 用心深く

(3) em=[em] 外国語から轉じた次の語では [em] と発音される。

harem [arem] [アレム] 回教徒の婦人の部屋
idem [idem] [イデム] 同上
ibidem [ibidem] [イビデム] 同じ場所に
item [item] [イテム] 且つ又
indemniser [ẽdcmnize] [エンデムニゼ] 賠償する
indemne [ẽdcmn] [エンデムヌ] 無難の
Jérusalem [geryzalm] [ジェリュザレム] 都會の名

(4) em=[e] 次の諸語では [e] と発音する。

dilemme [dilcm] [ディレム] 板狭み
gemme [gẽm] [ジェム] 新芽
lemme [lẽm] [レム] 補題

en=[ã] [ẽ] [a] [en] [e]

(1) en=[ã]

(イ) gens [gã] [ジャン] 人々
client [kliã] [クリアン] 顧客
Henri [ãri] [アンリ] 人名

Rouen [ruã] [ルウアン] 地名

(ロ) n 或は又母音の前にある en も [ã] と発音する。
ennobler [ãnobli:r] [アンノブリエール] 高尙にする
ennui [ãnqi] [アンニエイ] 退屈
enivrer [ãnivre] [アンニヴレ] 酔はず
enorgueillir [ãnorgœji:r] [アンノルグワイール] 傲慢にする

(2) en=[ẽ]

(イ) éen, ien, yen の語尾では [ẽ] と発音する。
Européen [œrɔpẽ] [ウロペエン] 歐洲人
chien [ʃjẽ] [シエン] 犬
bien [bjẽ] [ビエン] 良き
citoyen [sitwajẽ] [シトワイエ] 市民

(ロ) 動詞 venir 及び tenir の變化中に現はれる en は [ẽ] と発音する。

je viens [zãviẽ] [ジュヴィエン] 私は来る
il tient [iltiẽ] [イルティエン] 彼は保つ

(ハ) 外国語から轉じた次の如き語では [ẽ] と発音する。

agenda [agẽda] [アジェンダ] 忘備録
appendice [apẽdis] [アベンディス] 附録
bengali [bẽgali] [ベンガリ] ベンガル語
benjoin [bẽzwin] [ベンジュヴェン] 安息香
benzine [bẽzin] [ベンズィヌ] 石油精
compendium [kõpẽdjõm] [コンベンディオム] 大要
examen [egzamẽ] [エグザメン] 試験
memento [memẽto] [メメント] 忘備録
mentor [mẽto:r] [メントール] 指導者

pensum [pẽ'sɔm] [ペンソム] 罰課
spencer [spẽ'se:r] [スペンセール] 短外套
Benjamin [bẽ'ʒamẽ] [ベンジャメン] 人名
Bengale [bẽ'gal] [ベンガル] 地名
Marengo [marẽ'go] [マレンゴ] 都會の名
Mendès [mẽ'des] [メンデス] 人名

(3) en=[a]

solennel [solanel] [ソラネル] 壯嚴な
solennité [solanite] [ソラニテ] 壯嚴
couenne [kwan] [クワン] 豚の皮

(4) en=[ɛn] 外國語から轉じた次の如き語では [ɛn] と發音する。

amen [a'men] [アメヌ] しかあれかし
spécimen [spesimen] [スペシメヌ] 見本
pollen [pollen] [ポッレヌ] 花粉
lichen [liken] [リケヌ] 地衣類
Eden [edɛn] [エデヌ] 樂園

(5) en=[ɛ] 次の如く n の前は、en は [ɛ] と發音される。

ennemi [ɛnmi] [エヌミ] 敵
étrenne [etɛn] [エトッヌヌ] 新年の贈物
Vienne [vɛn] [ヴィエヌ] 維納市
Alsacienne [alzasjɛn] [アルザスィエヌ] アルザス州の女

eu=[ø] [œ] [y]

(1) eu=[ø]

(イ) 音聲學上の所謂、開口音節では [ø] と發音する。

bleu [blø] [ブルø] 青
jeudi [ʒødi] [ジュøディ] 木曜日
deux [dø] [ドø] 二つ

pluvieux [plyvjø] [プリュヴィø] 雨の

(ロ) d, t, s の前にあつては [ø] と發音する。

leudes [lø:d] [ルøドø] 古代の武士

meute [mø:t] [ムøトø] 獵犬の群

heureusement [œrøzmø] [ウルøズマン] 幸に

(2) eu=[œ]

通例、閉口音節では [œ] と發音する。

meuble [mœ:bl] [ムøーブル] 家具

veuf [vœ:f] [ヴøーフ] 鰥夫

aveugle [avœ:gl] [アヴøーグル] 盲者

jeune [ʒœ:n] [ジューヌ] 若い

(3) eu=[y]

(イ) 動詞 avoir の變化の一部。

il a eu [ilay] [イラユ] 彼は持った

elle eut [ely] [エリュ] 彼女は持った

nous eûmes [nuzym] [ヌウズユム] 我々は持った

(ロ) 次の諸語は同じく [y] と發音する。

Eugène [yʒe:n] [ユジューヌ] 人名

Eugénie [yʒeni] [ユジュニ] 人名

Eustache [ystaf] [ユスタシュ] 人名

eun=[œ]

à jeun [aʒœ] [アジュン] 斷食して

Meung [mœ] [ムøン] 地名

ey=[ɛ] [ɛj]

(1) ey=[ɛ] jockey [ʒøkɛ] [ジュøケ] 馭者

bey [be] [ベ] 土耳其軍隊の上長官

Jersey [ʒerzɛ] [ジェルゼ] 島の名

Ney [ne] [ネ] 人名

(2) ey=[ɛ:j] [ej]

grasseyer [grɑsɛje] [グラセイエ] 喉音を出す

asseyez-vous [asɛjevu] [アセイエヴウ] 御座りなさい

(3) ey 全然無音の場合がある。

Talleyrand [talrɑ̃] [タルラン] 人名

ent (動詞の詞尾)

動詞の詞尾の ent は決して発音しない。

ils donnent [ildɔ̃] [イルドヌ] 彼等は與へる

ils venaient [ilvɑ̃ɛ] [イルヴァネ] 彼等は来てゐた

euil = eulle = [ø:j] 或は [œ:j]

feuille [fø:j] [フヰユ] 葉

feuillage [føja:ʒ] [フヰイヤージュ] 葉み

fauteuil [fotœ:j] [フォトヰイユ] 安樂椅子

seuil [sœ:j] [スヰイユ] 閾

l = [i]

(1) **i = [i]**

(イ) critique [kritik] [クリティク] 批評

dictée [dikte] [ディクテ] 書取

hibou [ibu] [イブウ] みぶく

illogique [illozik] [イロジク] 非論理的

(ロ) i を全く発音しない場合もある。

oignon [ɔpɔ̃] [オニオン] 玉葱

empoigner [ɑ̃pɔ̃] [アンポニエ] 掴む

Cavaignac [kavɑ̃] [カヴァニエ] 人名

Castries [kastʁ] [カストル] 人名

Enghien [ɑ̃gɛ̃] [アンゲン] 人名

i. 隣接せる母音と獨立して發音する。

mosaïque [mɔzaik] [モザイク] 寄木細工

coïncidence [kɔ̃sɛ̃sidɑ̃:s] [コエンスィダンス] 偶合

Cain [kã] [カエン] 人名

i. 或は長音に、或は短音に發音する。

gîte [gɛ̃t] [ジート] 宿

île [iːl] [イール] 島

huitre [qitr] [ユイトル] 牡蠣

i+voyelle = [j]

pied [pje] [ピエ] 足

fier [fjɛ:r] [フィエール] 得意然たる

encrier [ɑ̃krije] [アングリエ] イゾキ壺

ancien [ɑ̃sjɛ̃] [アンシエン] 古の

im = [ɛ̃]

imbécile [ɛ̃besil] [エンベシル] 愚者

chemin [ʃəmɛ̃] [シュメン] 道

simple [sɛ̃pl] [センプル] 簡単な

timbre [tɛ̃br] [テンブル] 切手

imm = [im+m]

immaculé [immakyle] [イムマキュレ] 汚點のない

immeuble [immœbl] [イムムブル] 不動産

immense [immɑ̃:s] [イムマンス] 巨大な

immunité [immynite] [イムミュニテ] 免除

[注意] *im+voyelle* の時は、m は其の *voyelle* と共に一つの音節を形成するから、[ɛ̃] と發音されない。

imitation [imitasjɔ̃] [イミタシオン] 真似

imaginer [imɑ̃ʒɛ̃] [イマジネ] 想像する

in=[ɛ̃]

pin [pɛ̃] [ペン] 松
vin [vɛ̃] [ヴェン] 葡萄酒
enfin [ɑ̃fɛ̃] [アンフェン] 遂に
sphinx [sfɛ̃:ks] [スフェンクス] 謎の様な人

inn=[in+n]

inné [inne] [イヌネ] 先天的
innombrable [innɔ̃'bra'bl] [イヌノンブラブル] 無数の
innovation [innovɑ'sjɔ̃] [イヌノヴァシオン] 革新
innavigable [innaviga'bl] [イヌナヴィガブル] 航海不
能の

[注意] (1) 次の諸語は [i] と発音する。

innocent [inɔsɑ̃] [イノサン] 無邪気な
innocence [inɔsɑ̃:s] [イノサンス] 無邪気

(2) 羅典語及び伊太利語から轉じた諸語は [in] と發音する。

in pace [inpase] [イヌパセ] 牢獄
in partibus [inpartibys] [イヌパルティビュス] 仕事
のない
in petto [inpeto] [イヌペト] 内密に
in octavo [inoktavo] [イノクタヴ] 八折形
但し in-folio [ɛ̃foljo] [エンフォリ] 二つ折形
in-quarto [ɛ̃kwarto] [エンクワルト] 四つ折形と
は [ɛ̃] [エン] と發音する。

O. o に二種類ある。即ち [o] と [ɔ] である。

(1) o=[o]

(イ) 開口音節に於て
écho [eko] [エコ] 反響

zéro [zero] [ゼロ] 零

dos [do] [ド] 背

mot [mo] [モ] 單語

(ロ) [z] の前にある o

chose [ʃo:z] [ショーズ] 事

rose [ro:z] [ローズ] 薔薇

oser [oze] [オゼ] 敢てする

poser [poze] [ポゼ] 置く

(ハ) 語尾 otion の o

notion [no'sjɔ̃] [ノースイオン] 概念

émotion [emo'sjɔ̃] [エモシオン] 感動

(2) o=[ɔ]

發音される子音の前にある o

dot [dɔt] [ドト] 持參金

étouffe [etɔf] [エトフ] 布

horizon [ɔrizɔ̃] [オリゾン] 水平線

mobile [mɔbil] [モビル] 動く所の

ô=[o] [ɔ]

(1) ô=[o] côte [ko:t] [コート] 海岸

dôme [do:m] [ドーム] 圓屋根

dépôt [depo] [デポ] 寄託

apôtre [apo:tr] [アポートル] 使徒

(2) ô=[ɔ] hôpital [ɔpital] [オピタル] 病院

hôtel [ɔtel] [オテル] 旅館

rôtir [rɔtir] [ロティール] 炙く

oa=[oa] [ɔa] [ɔ]

(1) coaliser [koali'ze] [コアリーゼ] 同盟する

cohabiter [koabite] [コアビテ] 一處に住む
coasser [koase] [コアセ] 蛙が鳴く
coaguler [koagyle] [コアギユレ] 凝結させる

(2) oa=[ɔ] [o]

toast [tɔst] [トストɔ] 祝杯
toaster [tɔste] [トステ] 祝杯をあげる

œ=œu=[œ]

œil [œ:j] [ウイユ] 眼
bœuf [bœf] [ブッフ] 牛
œuvre [œ:vr] [ウーヴル] 事業
cœur [kœ:r] [クァール] 心

[注意] œ+consonne の時は [e] と發音する。

œdipe [edip] [エディプ] 謎を解く人
œnanthique [enãtik] [エナンティック] エーテルの
œsophage [ezɔfa:ɔ] [エゾファージュ] 食道
œcumétique [ekymetik] [エキュメティック] 萬國の

但し Œland [œlãd] [ウランドɔ] バルチツク海中の瑞典
領の島名 } は
Œsel [œzel] [ウゼル] バルチツク海中の露領の島名
[œ] と發音する。

oi=[wa] [wa]

(1) oi=[wa] moi [mwa] [ムワ] 私
choix [ʃwa] [シュワ] 選擇
moisson [mwasɔ] [ムワソン] 收穫
rasoir [razwa:r] [ラズワール] 剃刀

(2) oi=[wa] 殊に r の後に於て
croix [krwa] [クルワ] 十字架
croire [krwa:r] [クルワール] 信ずる

roi [rwa] [ルワ] 王
froid [frwa] [フルワ] 寒い

[注意] 次の諸語は單に [ɔ] と發音する。

oignon [ɔpɔ] [オニオン] 玉葱
oignonnet [ɔpɔne] [オニオネ] 夏梨子的一種
encoignure [ãkɔny:r] [アンコニール] 隅

oi=[wa] oi と同發音である。

croître [krwa:tr] [クルワートゥル] 成長する

oin=[wẽ] [wɛ] の鼻音である。

joindre [ɔwẽ:dr] [ジュヴェンドゥル] 結びつける
poing [pwẽ] [プヴェン] 拳
moindre [mwẽ:dr] [ムヴェンドゥル] より小さい
loin [lwẽ] [ルヴェン] 遠い

oin=[ɔ-ẽ] o と in とは全く別々に發音する。

oin [wẽ] [ヴェン] は一音節、oin [ɔẽ] [オエン] は二音節である。

coincidence [kɔẽsidã:s] [コエンスィダンス] 偶合
coïntéressé [kɔẽtercɛsɛ] [コエンテレセ] 共同關係の

om=[ɔ] [ɔm] [ɔ]

(1) om=[ɔ]

nom [nɔ] [ノン] 名
compte [kɔ:t] [コントɔ] 勘定
ombre [ɔ:br] [オンブル] 陰
concombre [kɔkɔbr] [コンコンブル] 胡瓜

(2) om=[ɔm]

(イ) n の前に於て
automnal [ɔtɔmnal] [オトムナル] 秋の

calomnie [kalɔ̃ni] [カロムニ] 誹謗
omnibus [ɔ̃niby:s] [オムニブス] 乗合馬車
somnolent [sɔ̃nɔlɑ̃] [ソムノラン] 半睡の

(ロ) 二三の外國語

Cromwell [krɔ̃mwɛl] [クロムヴェル] 人名
Tom Pouce [tɔ̃pus] [トムブウス] 一寸法師の名

[注意] automne [ɔ̃tɔ̃n] [オートヌ] は例外である。

(3) om=[ɔ̃] m の前に於て

comme [kɔ̃m] [コム] の如く
homme [ɔ̃m] [オム] 人
pommier [pɔ̃mje] [ポミエ] 林檎の木

on=[ɔ̃] [ɔ̃]

(1) on=[ɔ̃]

bon [bɔ̃] [ボン] 善い
rond [rɔ̃] [ロン] 圓い
conte [kɔ̃t] [コント] 物語
fondre [fɔ̃dr] [フォンドル] 溶ける

(2) on=[ɔ̃] n の前に於て

donner [dɔ̃ne] [ドネ] 與へる
sonner [sɔ̃ne] [ソネ] 鳴る
bonne [bɔ̃n] [ボヌ] 下女
bonnet [bɔ̃nɛ] [ボネ] ボンネット

[注意] monsieur は mon と sieur との組成語である。[mɔ̃] と發音しないで、次の様に種々な發音を持つ。

[mɔ̃sjø] [モスイユ]
[mɛsjø] [メスイユ]
[msjø] [ムスイユ]

oo.

(1) oo (イ) [oo]

Booz [booz] [ボオズ] 聖書中の人物

(ロ) [oo]

coopérer [koopere] [コオペレ] 協調する

(ハ) [oo]

zoologie [zoologi] [ゾオロジ] 動物學

(2) oo=[ɔ̃]

alcool [alkɔl] [アルコール] 酒精

(3) oo=[o]

Waterloo [vaterlo] [ヴァテルロ] 地名

(4) oo=[u] 英語から轉じた次の諸語

groom [grum] [グルウム] 馬丁、侍童
kangaroo [kɑ̃guru] [カングウルウ] カンガルー
schooner [ʃunɛ:r] [シュウネール] 縦帆式船スクーター
sloop [slu:p] [スループ] 單檣帆船
Cooper [ku:pe:r] [クーパー] 米國の著述家
Liverpool [livɛrpu:r] [リヴェルプウール] 都會の名

ou.

(1) ou=[u]

coucou [kuku] [クウクウ] [杜鵑]
loup [lu] [ルウ] 狼
tousse[r] [tuse] [トゥッセ] 咳する
source [surs] [スウルス] 泉

(2) ou=[w]

louer [lwe] [ルヴェ] 賃める
oui [wi] [ヴィ] 然り
échouer [efwe] [エシュヴェ] 失敗する

ow=[u]

clown [clun] [クルウヌ] 道化師

U=[y] [q] [w]

(1) u=[y]

futur [fyty:r] [フュテュール] 未来

luxure [lyksy:r] [リュクスユール] 淫亂

surhumain [syrymɛn] [スュリュメヌ] 超人間的

juge [ʒy:ʒ] [ジュージュ] 判事

(2) u=[q]

buisson [bqisɔ̃] [ビュイソン] 叢林

fuie [fqi] [フエイ] 小さい鳩小屋

quiétude [kɥiety'd] [キユイエテュド] 安心

puis [pqi] [プエイ] 次に

(3) u=[w]

aquarelle [akwarel] [アクワレル] 水彩画

aquarium [akwarjɔm] [アクワリオム] 水族館

à quoi [akwa] [アクワ] 何に

lingual [lɛ'gwal] [レングワル] 舌の

(4) u 全然無音なる場合殊に que, qui に於て

quai [ke] [ケ] 波止場

qualité [kalite] [カリテ] 性質

Pâque [pa:k] [パーク] 基督復活祭

liquide [likid] [リキド] 液体

ueil=[œ:j] [œj]

accueil [akœ:j] [アクヰユ] 待遇

cercueil [serkœ:j] [セルクヰユ] 棺

orgueilleuse [ɔrgœ:jpɔz] [オルグヰユウーズ] 傲慢な

(74)

um=[œ] [ɔ̃] [ɔm]

(1) um=[œ]

humble [œ:bl] [アンプル] 賤しい

parfum [parfœ] [パルファン] 香気

commun [kɔmœ] [コマン] 普通な

Humbert [œ'ber] [アムペール] 人名

(2) um=[ɔ̃] 外国語より轉じたる語

lumbago [lɔ̃bago] [ロンバゴ] 腰痛

(3) um=[ɔm] 羅典語より轉じたる語

album [albɔm] [アルバム] 畫帳

decorum [dekɔrɔm] [デコロム] 禮節

factotum [faktɔtɔm] [ファクトトム] 何にでも手を出す人

maximum [maksimɔm] [マクシモム] 満點

pensum [pɛsɔm] [ペンソム] 罰課

Te Deum [tedeɔm] [テデオム] 謝恩讚美歌

postscriptum [pɔstskriptɔm] [ポストスクリプトム] 二申

triumvir [triɔmvi:r] [トリオムヴィール] 三頭政官

circumpolaire [sirkɔmpɔle:r] [シルコムポレール] 極に近い

rhum [rɔm] [ロム] ラム酒

opium [ɔpjɔm] [オピオム] [阿片]

un=[œ] [ɔ̃]

(1) un=[œ]

un [œ] [アン] 一つ

défunt [defœ] [デファン] 死亡した

chacun [ʃakœ] [シャカアン] 各自

(75)



lundi [lœ̃di] [ラウ̃ンディ] 月曜日

(2) un=[ɔ̃] 外国語より轉じた語

punch [pɔ̃:ʃ] [ボンシュ] ポンス(一種の飲料)

secundo [sɛ̃gɔ̃do] [スゴンド] 第二

jungle [ʒɔ̃:gl] [ジョ̃ングル] 草原

le Sund [læsɔ̃:d] [ルソ̃ンド] 北海とバルチック海間の海峡

Y=[i] [j] [ij]

(1) y=[i]

style [stil] [スティル] 形態

hymne [imn] [イムヌ] 讚美歌

cypres [siprɛ] [スイブレ] 糸杉

mystère [mistɛ:r] [ミステール] 神秘

(2) y=[j]

yatagan [jatagɑ̃] [ヤタガン] 土耳古の刀

yole [jɔl] [ヨル] 快走船

hyacinthe [jasɛ̃:t] [ヤセント] ヒヤシンス

yucca [jyka] [ユカ] 糸蘭

(3) y=[ij] 母音と母音との間に y が来る時

tuyau [tɥijo] [テュイヨ] 管

moyen [mwajɛ̃] [ムワイエン] [平均]

bruyère [bryjɛ:r] [ブリュイエール] ヒース

appuyer [apɥije] [アプュイエ] 支へる

[注意] 次の諸語にあつては y は單に [j] と發音す。

Bayard, Bayeux, Bayonne 等 (57 頁 ay の部第 4 参照)

ym=[ɛ̃] [im]

(1) ym=[ɛ̃]

nymphé [nɛ̃:f] [ネンフ] ニンフ(水の精)

tympan [tɛ̃pɑ̃] [テンパン] 鼓膜

symphonie [sɛ̃fɔ̃ni] [センフɔ̃ニ] 交響樂

Olympe [ɔlɛ̃:p] [オレンプ] 人名

(2) ym=[im] n の前に於て

gymnase [ʒimna:z] [ジムナーズ] 體操場

gymnastique [ʒimnastik] [ジムナスティク] 體操

hymne [imn] [イムヌ] 讚美歌

Polymnie [pɔlimni] [ポリムニ] 詩の神の一人

yn=[ɛ̃]

larynx [larɛ̃:ks] [ラレンクス] [喉頭]

lynx [lɛ̃:ks] [レンクス] 山猫

syntaxe [sɛ̃taks] [センタクス] 文章論

synthèse [sɛ̃tɛ:z] [センテーズ] 組成

(2) 父音

B=[b] [p]

(1) b=[b]

bac [bak] [バク] 小舟

tabac [taba] [タバ] 煙草

branche [brɑ̃:ʃ] [ブランシュ] 枝

objet [ɔbʒɛ] [オブジェ] 目的

(2) b=[p] 無聲音の子音の前にある b は [p] と發音する。

absent [apsɑ̃] [アブサン] 缺席者

absolu [apsɔly] [アブソリュ] 絶對的

obtenir [ɔptənir] [オプトニール] 獲得する

substituer [syptstitɥe] [スュブスティテュエ] 代用する

[注意] 以上の場合に [p] と發音しないで [b] と發音する者もある。

(3) 語尾の b は発音しない。

plomb [plɔ̃] [ブロン] 鉛
aplomb [aplɔ̃] [アブロン] 垂直
surplomb [syʁplɔ̃] [スールブロン] 傾斜
radoub [radu] [ラドゥウ] 修繕(船體の)

次の諸語の b は発音せず。

le Doubs [lədu] [ルデュウ] 川の名
Fabvier [favje] [ファヴィエ] 人の名
Lefebvre [ləfɛ:vʁ] [ルフェーヴル] 人の名

[注意] (イ) 次の語の語尾の b は発音する。

rob [rɔb] [ロブ] 煮詰めた菓餅
nabab [nabab] [ナバブ] 太守

(ロ) 固有名詞の語尾が [母音+b] にて終る時、此の b は発音する。

Jacob [ʒakɔ̃b] [ジャコブ] 人名
Job [ʒɔ̃b] [ジョブ] 人名

bb=[b] [bb]

(1) 一般に一個の [b] に発音する。

abbaye [abeji] [アベイ] 修道院
abbé [abe] [アベ] 修道院長
Abbeville [abvil] [アブヴィル] 都會の名

(2) 次の語は二個の [b] に発音する。

gibbosité [ʒibbozite] [ジッボズィテ] 凸面

C=[k] [s] [g]

(1) c=[k]

(イ) 子音の前にある c は [k] と発音する。

clef [kle] [クレ] 鍵

accident [aksidɑ̃] [アクシダ̃ン] 出来事

décret [dekre] [デクレ] 布告

concours [kɔ̃ku:r] [コンクウール] 寄合ひ

(ロ) 母音 a, o, u の前にある c は、[k] と発音する。

car [ka:r] [カール] 何故ならば

corps [kɔ:r] [コール] 躰

curé [kyre] [キュレ] 司祭

[注意] a, o, u の前にある c に [s] の音を與へるには、c に cédille [ç] を附ける。

ça [sa] [サ] それ

leçon [ləsɔ̃] [ルソン] 課業

reçu [ʁəsy] [ルスュ] 受取證

(ハ) 語尾が [母音+c] の時、此の c は [k] と発音する。

bec [bek] [ベク] 嘴

bloc [blɔk] [ブロク] 塊

sac [sak] [サク] 袋

duc [dyk] [デュク] 公爵

(2) c=[s] 母音 e, i, y の前では、[s] と発音する。

ceci [səsi] [スシ] 是れ

bicyclette [bisiklet] [ビスィクレト] 自転車

cire [si:r] [スィール] 蠟

céder [sede] [セデ] 譲る

(3) c=[g]

second [səgɔ̃] [スゴン] 第二の

seconde [səgɔ̃d] [スゴンド] 二等、秒

secondier [səgɔ̃de] [スゴンデ] 手助けする

secondaire [səgɔ̃de:r] [スゴンデール] 第二の

(4) 次の諸語では c は無音である。

tabac [taba] [タバ] 煙草
estomac [estoma] [エストマ] 胃
accroc [akro] [アクロ] 妨害
croc [kro] [クロ] ホツク
broc [bro] [プロ] 或は [brɔk] 水入れ
caoutchouc [kautju] [カウチュウ] ごむ
escroc [eskro] [エスクロ] 詐偽
lacs [la] [ラ] 紐
raccroc [rakro] [ラクロ] 僥倖
clerc [klɛ:r] [クレール] 聖職者、書記
porc [pɔ:r] [ポール] 豚
Leclerc [ləklɛ:r] [ルクレール] 人名
Mauclerc [moklɛ:r] [モクレール] 人名
banc [bɑ̃] [バン] 腰掛
blanc [blɑ̃] [ブラン] 白い
jonc [ʒɔ̃] [ジョン] 燈心草
tronc [trɔ̃] [トロン] 幹
il vaine [ilvɛ̃] [イルヴェン] 彼は勝つ

(5) 次の諸語では語尾の c は、或る場合には発音し或る場合には無音である。

(イ) donc [dɔ̃] [ドン] [dɔ̃:k] [ドンク] 故に

(a) 母音の前

文章の始と終に来る時は c は発音する。

(b) 其他の場合には無音である。

(a) C'est donc enfin [dɔ̃kɑ̃fɛ̃] [ドンカンフエン]

terminé! では遂々終りまして

Qu'as-tu donc aujourd' hui? [dɔ̃kɑ̃ʒurdʒi]

[ドンコジュウルデュイ] まあ今日はどうしたの

Il est votre père. Donc, [dɔ̃:k] [ドンク] vous devez le respecter. 貴方の御父さんです、だから尊敬しなければならない

Que voudrait-ce dire donc? [dɔ̃:k] [ドンク] 之はどう云ふ意味でせうかね

[注意] 二語とか三語とかから成り立つてゐる文章では、c は発音しないのが普通である。勿論発音する者もある。

Dites donc! [dɔ̃] [ドン] もしもし

Allons donc! [dɔ̃] [ドン] Pas possible! まあ 真らしくありません

(b) Il est donc [dɔ̃] [ドン] malade? 彼は病氣ですつて

(ロ) échec [ɛʃɛk] [エシュク]

(a) 通例は c を発音する。

donner échec 王手をかける

être en échec 詰む

échec et mat 王手詰

tenir en échec 妨害する

(b) échecs [ɛʃɛ] [エシュ]

複数形になり将棋を意味する時は、c を発音しない。

jouer aux échecs 将棋をます

(ハ) porc [pɔ:r] [ポール]

(a) 多くの場合 c を発音しない。

Il y a deux porcs [pɔ:r] [ポール] dans cette étable. 此の家畜小屋の中には二匹の豚がゐる

- (b) 組成名詞の場合には c を發音する。
 porc-épic [porkepik] [ポルクピク] やまあらし
 (c) 不潔な人、粗野な人を意味する場合にも c を發音する。

Cet homme est un porc. [pɔrk] [ポルク]
 此の人は粗野な人だ

cc=[k] [ks] [kk]

- (1) cc+a, o, u, r, l=[k] a, o, u, r, l の前に cc が来た時は [k] と發音する。

accabler [akable] [アカブレ] 壓倒する
 occasion [ɔkazjɔ̃] [オカズィオン] 機會
 occuper [ɔkype] [オキュベ] 占める
 accord [akɔ:r] [アコール] 一致、協商
 acclimater [aklimate] [アタリマテ] 風土に馴らす
 accroire [akrwa:r] [アクルワール] 信じさせる

- (2) cc+e, i=ks e, i の前に cc が来た時は [ks] と發音する。

accident [aksidɑ̃] [アクスィダン] 事變
 accepter [akseptɛ] [アクセプテ] 引き受ける
 occident [ɔksidɑ̃] [オクスィダン] 西洋
 accélérer [akselere] [アクセレレ] 急がす

- (3) cc は時としては [kk] と發音されることがある。

impeccable [ɛ̃pɛkkabl] [エンペッカブル] 罪を犯すことない
 peccadille [pɛkkadi:j] [ペッカディーユ] 微罪
 peccavi [pɛkkavi] [ペッカヴィ] 我れ過まてり

cch=[k]

Bacchus [bakys] [バキユス] 酒の神

bacchanal [bakanal] [バカナル] 大騒ぎの

ch=[ʃ] [k]

- (1) ch=[ʃ]

chanter [ʃɑ̃:te] [シャンテ] 歌ふ
 bouche [buʃ] [ブウシュ] 口
 Michel [mifɛl] [ミシュル] 人名
 don Quichotte [dɔ̃kiʃɔt] [ドンキショト] 人名

[注意] Michel-Ange は例外で [mikɛlɑ̃:ʒ] [ミケランジュ] と發音される。

- (2) ch=[k]

(イ) 子音の前にある ch は常に [k] と發音する。

chrétien [kʁe'tjɛ̃] [クレティエン] 基督信者
 chlorure [klɔry:r] [クロリユール] 鹽化物
 polytechnique [pɔlitɛknik] [ポリテクニク] 理工
 科學の

(ロ) 語尾の ch は [k] と發音する場合が多い。

varech [varek] [ヴァレク] 海草
 cromlech [krɔmlɛk] [クロムレク] 英國古代建造物の名
 loch [lɔk] [ロク] 澁

[注意] punch [pɔ̃:ʃ] [ボンシュ] ボンス(飲料水の名) 例外である。 Auch [o:ʃ] [オーシュ] 地名

(ハ) 外國語から轉じた語に於ては [k] と發音する場合が多い。

anachorète [anakɔrɛt] [アナコレト] 隱者
 archaïque [arkaik] [アルカイク] 古風の
 archange [arkɑ̃:ʒ] [アルカンジュ] 大天使

archéologue [arkeɔlɔg] [アルケオログ] 考古學者
 archonte [arkɔ̃t] [アルコントɔ̃] 古代ギリシア
 Athènes の九長官の一
 bacchante [bakã:t] [バカントɔ̃] 酒神の巫女
 catéchumène [katekymɛ̃n] [カテキュメヌ] 洗禮志
 願者
 chaos [kao] [カオ] 混沌状態
 chœur [kœ:r] [クォール] 合唱
 choléra [kɔlera] [コレラ] コレラ病
 chorège [kɔrɛ:g] [コレージュ] 合唱指揮者(古代希
 臘の)
 écho [eko] [エコ] 反響
 eucharistie [økaristi] [ウカリストィ] 聖餐
 lichen [likɛn] [リケンヌ] 地衣類
 orchestre [ɔrkɛstr] [オルケストゥル] オルケストラ
 psychologie [psikɔlɔgi] [プサイコロジ] 心理學
 chiromancie [kiromãsi] [キロマンシィ] 手相術
 trochäische [trɔkaik] [トロカイク] 長短格詩
 orchidée [ɔrkide] [オルキデ] 蘭

(3) ch 次の語は特殊な發音を有する。

almanach [almana] [アルマナ] 曆 ch は全く無音。
 drachme [dragm] [ドゥラグム] ギリシア銀貨 ch は g
 と發音する。

ck=cq=cqu=[k]

blockhaus [blɔko:s] [ブロコース] 框舎(軍)
 bifteck [biftɛk] [ビフテク] ビフテーキ
 bock [bɔk] [ボク] コツブの麥酒
 brick [brik] [ブリク] 二本檣の小帆船

jockey [ʒɔke] [ジョケ] 競馬乗手
 acquérir [akeri:r] [アケリール] 獲得する
 becqueter [bɛkte] [ベクテ] 嘴でつく
 grecque [grɛk] [グレク] 希臘の

ct. (1) 語の中央にある時は [kt] と發音する。

acteur [aktœ:r] [アクトゥール] 役者
 facteur [faktœ:r] [ファクトゥール] 郵便配達人
 directeur [dirɛktœ:r] [ディレクトゥール] 校長、支配人

(2) ct の次に i が来る時は發音は [ks] となる。

action [aksjɔ̃] [アクシオン] 行動
 direction [dirɛksjɔ̃] [ディレクシオン] 支配
 nation [nasjɔ̃] [ナシオン] 國民

(3) ct が語尾となつた場合には [kt] と發音する場合と、無音の時とがある。

(イ) 次の諸語は [kt] となる。

abject [abʒɛkt] [アブジェクトゥ] 厭惡すべき
 compact [kɔ̃pakt] [コンパクトゥ] 緻密な
 correct [kɔrɛkt] [コレクトゥ] 正しき
 incorrect [ɛ̃kɔrɛkt] [エンコレクトゥ] 正しくない
 direct [dirɛkt] [ディレクトゥ] 直接の
 indirect [ɛ̃dirɛkt] [エンディレクトゥ] 間接の
 infect [ɛ̃fɛkt] [エンフェクトゥ] 臭い
 strict [strikt] [ストゥリクトゥ] 厳格な
 tact [takt] [タクトゥ] 機才
 contact [kɔ̃takt] [コンタクトゥ] 接觸

(ロ) 次の語の語尾の ct は無音である。

aspect [aspe] [アスペ] 光景
 respect [respɛ] [レスペ] 尊敬

suspect [syspɛ] [スュスベ] 嫌疑

instinct [ɛ̃'stɛ̃] [エンステン] 本能

[注意] 同上の四語も ct が語尾以外にある時は発音する。

instinctivité [ɛ̃'stɛ̃ktivite] [エンステンクティヴィテ] 本能作用

suspecter [syspɛkte] [スュスペクテ] 嫌疑をかける

respectueux [respɛkyø] [レスベクテュウ] 恭順な

aspect odieux { [aspɛko'djø] [アスペコーディウ] } 憎
 { [aspɛkto'djø] [アスペクトーディウ] }

らしい有様

(ハ) 次の諸語は力を込めるときは [kt] と発音し、其外の場合は無音である。

exact [ɛgzakt] [エグザクト] 正確な

district [distrikt] [ディストリクト] [distrik] 管區

distinct [distɛ̃kt] [ディステンクト] 判然たる

indistinct [ɛ̃distɛ̃kt] [エンディステンクト] 不明瞭な

Soyez exact. [ɛgzakt] [エグザクト] 正確であれよ

Il n'est pas très exact. [ɛgza] [エグザ] 彼はあんまり正確でない

suspect も [syspɛkt] [スュスペクト] と発音することもある。

verdict は [vɔrdik] [ヴェルディク] と [vɛrdikt] [ヴェルディクト] とも発音される。

D=[d] [t]

(1) d=[d]

doit [dwa] [ドワ] 借方

cardinal [kardinal] [カルディナル] 枢機官

céder [sede] [セデ] 譲る

aide [ɛ:d] [エード] 救助

(2) d=[t] liaison (連聲) の場合には多く t と発音する。

grand homme [grɑ̃tɔm] [グラントム] 偉人

quand il [kɑ̃til] [カンティル] 時に

coud elle [kutɛl] [クウテル] 彼の女は縫ふか

(3) d 一般に語尾の d は発音しない。

nid [ni] [=] 巢

laid [le] [レ] 醜

allemand [almɑ̃] [アルマン] 獨逸語

chaud [ʃo] [ジョ] 暑い

(例外) 次の語では d は発音する。

sud [syd] [スド] 南

Alfred [alfred] [アルフレド] 人名

le Cid [ləsid] [ルスイド] コルネイユ作の悲劇

Conrad [kɔrad] [コンラド] 人名

David [david] [ダヴィド] 人名

Léopold [ləɔpɔld] [レオポルド] 人名

✓ Madrid [madrid] [マドリド] 地名

George Sand [ʒɔʁʒɑ̃d] [ジョルジュサンド] 人名

dd=[d] [dd] 子音が重つた場合に一個の如く発音するか、二個の如く発音するか、一定の規則はない。各語について知るより外ない。

(1) dd=[d]

addition [adisjɔ̃] [アディシオン] 加へること

adduction [adyksjɔ̃] [アデュクシオン] 内轉

reddition [redisjɔ̃] [レディシオン] 提示

(2) dd=[dd]

quiddité [kiddite] [キッディテ] 本質
Adda [adda] [アッダ] 伊太利の河の名
edda [edda] [エッダ] 曾祖父
adduction も [addyksjō] [アッデュクスイオン] と red-
dition も亦 [reddisjō] [レディスイオン] と發音するこ
とがある。

F=[f] [v]

(1) f=[f] 語尾の f は一般に發音する。

chef [ʃef] [シェフ] 首領
rosbif [rɔsbif] [ロスビフ] 焼牛肉
sauf [so:f] [ソーフ] を除いて
soif [swaf] [スワフ] 渴

[注意] (イ) 次の諸語では f は發音しない。

clef [kle] [クレ] 鍵
bœuf-gras [bøgra] [ブッグラ] 謝肉祭の飾牛
cerf-volant [sɛrvɔlɑ̃] [セルヴォラン] 凧
chef-d'œuvre [ʃ:dœ:vr] [シェドゥーヴル] 傑作
nerf de bœuf [nɛ:rdəbœf] [ネールドブッフ]
牛の乾肉

(ロ) 次の諸語は複数の時に限り f を發音しない。

bœufs [bø] [ブッ] 牛
cerfs [sɛ:r] [セール] 鹿
nerfs [nɛ:r] [ネール] 神経
œufs [ø] [ウ] 卵

(2) f=[v] f は liaison の場合には v の音となる。

neuf enfants [nœvɑ̃fɑ̃] [ヌヴヱンファン] 九人の子供
neuf hommes [nœuvɔm] [ヌヴヱム] 九人の人

ff. は通例は一個の f の如く發音する。

suffrage [syfra:ʒ] [スュフラージュ] 選挙
suffocation [syfɔkɑ'sjɔ̃] [スュフカースイオン] 窒息
affaire [afɛ:r] [アフエール] 事件
difficile [ディフィシル] 困難な

G=[g] [k] [ʒ]

(1) g=[g]

(イ) 子音の前にある g は [g] と發音する。

grand [grɑ̃] [グラン] 大なる
sanglant [sɑ̃glɑ̃] [サングラン] 血まみれな
gratter [grate] [グラテ] 引掻く
glace [glas] [グラス] 氷

(ロ) 母音 a, o, u の前にある g は [g] と發音する。

gage [ga:ʒ] [ガージュ] 擔保
gosse [gɔs] [ゴス] 子供
gustation [gystasjɔ̃] [ギュスタスイオン] 味はふこと

(2) g=[k] liaison の時は [k] と發音する。

long hiver [lɔkivɛ:r] [ロンキヴェール] 長い冬

(3) g=[ʒ] 母音 e, i, y の前にある g は [ʒ] と發音する。

généreux [ʒenerø] [ジェネルゥ] 寛大な
girouette [ʒirwet] [ジルヴェトッ] 風見
Genève [ʒɑnɛ:v] [シュネーヴ] 都會の名
Egypte [egipt] [エジプトッ] 國の名

(4) (イ) 語の中央にある g は一般に發音しない。

doigt [dwa] [ドゥワ] 指
vingt [vɛ̃] [ヴェン] 二十

(ロ) 語尾の ng, rg は一般に發音しない。

long [lɔ̃] [ロン] 長い

rang [rɑ̃] [ラン] 列

bourg [bu:r] [ブール] 町

[注意] bourgmestre は g を發音する。

[burgmɛstr] [ブウルグメストゥル] 村長

gg=[g] [gʒ]

(1) gg=[g]

agglomération [ɑglɔmɛrasjɔ̃] [アグロメラーシオン] 集合

agglutiner [ɑglytinɛ] [アグリュティネ] 粘着させる

gn. [ɲ] [gn] [n]

(1) gn=[ɲ]

agneau [ɑno] [アニョ] 小羊

montagne [mɔ̃tɑ̃] [モンタニョ] 山

seigneur [sɛ̃nœ:r] [セニョール] 領主

Agnès [ɑnɛs] [アニエース] 女子の名

(2) gn=[gn]

diagnose [djɑ̃noz] [ディアグノーズ] 診断學

géognosie [ʒɛɔ̃nozi] [ジェオグノズイ] 地球構造學

gnome [gnom] [グノーム] 地中の精

igné [igne] [イグネ] 可燃性の

inexpugnable [inɛkspygnabl] [イネクスピュグナブル] 不拔の

magnificat [mɑ̃nifikat] [マグニフィカト] 聖母頌

réognitif [rekɔ̃gnitif] [レコグニティフ] 承認の

stagnation [stɑ̃nasjɔ̃] [スタグナシオン] 停滞

incognito [ɛ̃kɔ̃gnito] [エンコグニト] 或は [ɛ̃kɔ̃pito] [エンコニト] 秘密に、微行で

(3) gn=[n]

signet [sine] [スイネ] 葉

Compiègne [kɔ̃pjɛ̃] [コンピエヌ] 都會の名

gu=[g] [gy] [gw]

(1) gu=[g]

guère [gɛ:r] [ゲール] 殆んどない

orgue [ɔrg] [オルグ] 大形オルガン

je narguais [ʒənargɛ] [シュナルゲ] 私は輕蔑した

nous briguons [nubrigɔ̃] [ヌウブリゴン] 我々は熱望する

(2) gu=[gy]

linguiste [lɛ̃gyist] [レンギュイスト] 語學者

arguer [argɛ] [アルギユエ] 罪を鳴らす

linguistique [lɛ̃gyistik] [レンギュイスティク] 言語學

aiguiser [egyize] [エギユイゼ] 或は [egize] [エギゼ] 研ぐ

(3) gu=[gw]

guano [gwano] [グワノ] 或は [gyano] 海鳥の糞

lingual [lɛ̃gwal] [レングワル] 舌の

Guatemala [gwatemala] [グワテマラ] グアテマラ共和國

[注意] gue に常に [g] と發音し guë は [gy] と發音する。ë は無音である。

langue [lɑ̃:g] [ラング] 舌

aiguë [egy] [エギユ] 鋭い

H.

h には二種類ある。即ち h aspiré に h muet である。aspiré は有音、muet は無音の意であるけれども、佛蘭西人にとっては

其の何れも発音されることはない。h aspiré とは liaison 又は élision が出来ない h であり、h muet は liaison 又は élision をなし得る h である。

h aspiré の例

le havresac [ləhɑ'vrəsak] [ルアーヴルサク] 背囊
les hiboux [le hibu] [レイブウ] 木兎
la hotte [la hɔt] [ラオトッ] 負籠
la houille [la hu'j] [ラウイユ] 石炭

h muet の例

l'habitation [labita'sjɔ̃] [ラビタシオン] 住居
l'haleine [lalɛ'n] [ラレーヌ] 息
l'hiver [livɛ:r] [リヴェール] 冬
l'hospitalité [lɔspitalite] [ロスピタリテ] 歓待

[注意] (1) 語氣を強める場合には h aspiré を発音することもある。

C'est bien honteux! [hɔ̃tø] [オントゥウ] それはほんとに恥だ

(2) h が aspiré であるか muet であるかを區別する規則はない。

ph = [f]

phrase [fra:z] [フレーズ] 文章
photographie [fɔtɔgrafi] [フォトグラフィ] 寫眞
graphie [grafi] [グラフィ] 記號式文字
phonétique [fɔnetik] [フォネティック] 聲音學

consonne+h.

h が子音の次に來るときは、h は無音で、子音のみを發音する。

gothique [gotik] [ゴティック] ゴチック式

thème [tɛ'm] [テーマ] 課題
rhétorique [retɔrik] [レトリック] 修辭學

ch+consonne = [k]

chronologie [krɔnɔlɔʒi] [クロノロジ] 年表
chronomètre [krɔnɔmɛ'tr] [クロノメートル] 節度計
chromolithographie [krɔmɔlitɔgrafi] [クロモリトグラフィ] 著色石版術

語尾の h は無音である。

ah bah! [aba] [アバ] なんだ

sh = [ʃ]

shako [ʃako] [シャコ] 匈牙利の軍帽
shérif [ʃerif] [シェリフ] 英國の州執行官
shintôisme [ʃɛ̃tɔism] [シントイスム] 神道

J = [ʒ]

joie [ʒwa] [ジュワ] 或は [ʒwa] [ジュワ] 喜
jappeur [ʒapœ:r] [ジャプーール] 吠える者
juvénile [ʒyvenil] [ジュヴェニル] 幼年の
jujube [ʒyʒy'b] [ジュジューブ] 棗の實

K = [k]

coke [kɔk] [コク] コークス
kilo [kilo] [キロ] 或は [kilo] 千を意味する接頭語
Pékin [pekɛ̃] [ペケン] 北京

語尾の k は常に發音する。

scheik = cheik [ʃɛk] [シェク] アラビヤの酋長
copeck = copeck [kɔpek] [コベク] 露國の貨幣

L=[l]

(1) l=[l]

loup [lu] [ルウ] 狼
altérer [altere] [アルテレ] 變ずる
balcon [balkɔ̃] [バルコン] 露臺
pulpe [pylp] [ピュルプ] パルプ(製紙原料)

(2) 語尾の l は通例發音する。

bal [bal] [バル] 舞踏會
bel [bel] [ベル] 美しい
col [kol] [コル] 襟
sol [sol] [ソル] 土地

(3) 語尾が il の時は或は發音し、或は發音しない。

(イ) l を發音する場合。

avril [avril] [アヴリル] 四月
babel [babel] [バビル] 無駄言
cil [sil] [スィル] 睫毛
grésil [grezil] [グレスィル] 霰
mil [mil] [ミル] 千
péril [peril] [ペリル] 危難

(ロ) l を發音しない場合。

baril [bari] [バリ] 小樽
chenil [ʃeni] [シュニ] 犬小屋
coutil [kuti] [クウティ] 雲齊布
fusil [fyzi] [フズィ] 鐵砲
gentil [ʒɑ̃'ti] [ジャンティ] おとなしい
gril [gri] [グリ] 肉炙網
nombri [nɔ̃'bri] [ノンブリ] 隣
outil [uti] [ウティ] 道具

persil [pɛrsi] [ベルスィ] アメリカ人参

sourcil [sursi] [スウルスィ] 眉毛

pouls [pu] [プウ] 脈搏

[注意] (1) gentilhomme (貴族) にあつては l を [j] と發音する
單數 [ʒɑ̃'tijɔ̃] [ジャンティヨム] 複數 [ʒɑ̃'tizɔ̃] [ジャンティゾム]

(2) fils (息子) は [fi's] [フィース] と發音する。

(4) 語尾 ail, eil, œil, euil, ueil, ouil にあつては l を [j] と發音する。

bail [ba:j] [バイユ] 貸借貸

œil [œ:j] [ウイユ] 眼

soleil [solɛ:j] [ソレイユ] 太陽

seuil [sœ:j] [スウイユ] 闕

cercueil [sɛrkœ:j] [セルクウイユ] 棺

fenouil [fənu:j] [フヌウイユ] ウキキヤウ(植物)

(5) 語尾 aille, eille, euille, ueille, ouille の場合も同じく [j] と發音する。

faillè [fa:j] [ファイユ] 斷層

veille [vɛ:j] [ヴェーイユ] 前日

feuille [fø:j] [フウーイユ] 葉

cueille [kœ:j] [クウーイユ] 果實をもぎとること

fouille [fu:j] [フウーイユ] 發掘

(6) 語尾が ille の場合には一般に [j] と發音する。

file [fi:j] [フィーイユ] 娘

bille [bi:j] [ビーイユ] 球

quadrille [kadri:j] [カドゥリーイユ] 四班舞踏

次の諸語では [l] と發音する。

ville [vil] [ヴィル] 町

villa [vila] [ヴィラ] 別荘
 bacille [basil] [バシル] 細菌
 codicille [kɔdisil] [コディシル] 遺言書追加
 mille [mil] [ミル] 哩
 million [miljɔ̃] [ミリオン] 百萬
 pupille [pypil] [ピュピル] 瞳
 tranquille [trɑ̃kil] [トランキル] 静かな
 vaudeville [vodvil] [ヴォドヴィル] 俗謡
 distille [distil] [ディスティル] 蒸溜する

(7) 次の諸語では l は無音である。

aulne [o:n] [オーヌ] 1米188 (舊尺度の名)
 aulnaie [onɛ] [オネ] 榛の植えてある場所
 cul [ky] [キュ] 尻
 fils [fi's] [フィス] 息子
 pouls [pu] [プウ] 脈
 soûl [su] [スウ] 飽満
 Gaultier [gotje] [ゴティエ] 人名
 語尾が auld, ault の場合の l は同じく無音である。
 Arnauld [arno] [アルノ] 人名
 Géricault [zeriko] [ジェリコ] 人名
 La Rochefoucauld [larɔ̃fuko] [ラロシュフウコ] 都會
 の名
 Perrault [pɛro] [ペロ] 人名
 Quinault [kino] [キノ] 人名

ll=(1) [ll] ll は 一個の l の如くに發音する場合と、二個の l の
 如くに發音する場合とがある。

(1) ll=(1)

falloir [falwa:r] [ファルワール] 要する

village [vila:ʒ] [ヴィラージュ] 村
 balle [bal] [バル] 鞠
 salle [sal] [サル] 室
 colle [kol] [コル] 糊
 cruelle [kryɛl] [クリュエル] 残酷な

(2) ll=(ll)

(イ) alléluia [allelyja] [アレリュイヤ] 頌歌
 alliteration [allitera'sjɔ̃] [アリテラシオン] 疊
 韻法
 belligérant [belligerɑ̃] [ベリジェラン] 戦闘員
 collision [kɔllizjɔ̃] [コリジオン] 衝突
 (ロ) ill は通例 [ll] と發音する。
 illégal [illegal] [イレガル] 不平等
 illégitime [illegi'tim] [イレジティム] 不正當な
 illettré [ille'tre] [イレットレ] 無學な
 illicite [illisit] [イリスイトツ] 不正な
 illisible [illizibl] [イリズイブル] 讀めない
 illogique [illozik] [イロジク] 理論に合はない
 illumination [illymina'sjɔ̃] [イリュミナシオン]
 飾火
 illustration [illystra'sjɔ̃] [イリュストラシオン]
 挿畫

M=(m)

(1) 語の終りに來た m は發音しない。只其の前にある母音を
 鼻音とする。

essaim [esɛ̃] [エセン] 蜜蜂の群
 parfum [parfœ̃] [パルファウン] 香
 nom [nɔ̃] [ノン] 名

(2) 次の諸語の語尾の m は明瞭に m と發音する。

idem [idɛm] [イデム] 同じく
item [itɛm] [イテム] 且又
harem [arɛm] [アレム] 回教徒の婦人部屋
requiem [rekɥiɛm] [レキユイエム] 死者の彌撒
intérim [ɛ̃te'rim] [エンテリム] 缺員中
décorum [dekɔrɔm] [デコロム] 禮節
album [albɔm] [アルボム] 畫帳
aluminium [alyminjɔm] [アリュミニウム] アルミニウム
aquarium [akwarjɔm] [アクワリオム] 水族館
critérium [kriterjɔm] [クリテリオム] 標準
factotum [faktɔtɔm] [ファクトトム] 何にでも手を出す人
géranium [geranjɔm] [ジェラニウム] げんのしょうこ
laudanum [lodanɔm] [ロダノム] ローダノム(阿片劑)
maximum [maksimɔm] [マクシモム] 最大限
médiu[m] [medjɔm] [メディオム] 中間物
minimum [minimɔm] [ミニモム] 最小限
muséum [myzeɔm] [ミュゼオム] 博物館
opium [ɔpjɔm] [オピオム] 阿片
péplum [peplɔm] [ペプロム] 昔の婦人の上衣
pensum [pɛ̃sɔm] [ペンソム] 罰課
post-scriptum [pɔstskriptɔm] [ポストスクリプトム] 追申
rhum [rɔm] [ロム] ラム酒
ultimatum [yltimatɔm] [ユルティマトム] 最後の條件

(3) 語の中央にある m の次に n が来る時は、其の m を發音する。

calomnie [kalɔmni] [カロムニ] 讒誣
amnistie [amnistɪ] [アムニスティ] 大赦
automnal [ɔtɔmnal] [オトムナル] 秋の
indemne [ɛ̃dɛmn] [エンデムヌ] 無事な

(例外) 次の諸語では m は無音である。

automne [ɔtɔn] [オトヌ] 秋
damner [dane] [ダネ] 地獄に落す
condamner [kɔdane] [コンダネ] 罪する

(4) b 及び p の前にある m は n の如く發音する。

compagnon [kɔpapɔ̃] [コンパニオン] 同輩
campagne [kɑ̃pap] [カンパニユ] 田舎
tombeau [tɔbo] [トンボ] 墓
rampe [rɑ̃:p] [ランプ] 脚光燈

mm. 一個の m の如く、或は二個の m の如くに發音せられる。

(1) mm=[m]

pomme [pɔm] [ボム] 林檎
gomme [gɔm] [ゴム] 護謨
somme [sɔm] [ソム] 金額
femme [fam] [ファミ] 女子
homme [ɔm] [オム] 男子
ammoniaque [amɔnjak] [アモニアク] アンモニアの

(2) mm=[mm]

(イ) commémoratif [kɔmmemɔratif] [コムメモラティフ] 紀念の
commotion [kɔmmosjɔ̃] [コムモシオン] 震動
commentaire [kɔmmɑ̃tɛr] [コムマンテール] 註釋

sommité [sɔmmite] [ソムミテ] 頂上

(ロ) imm̄ にて始まる語は [mm] と発音せられる。

immoral [immɔral] [イムモラル] 不道德な

immaculé [immakyle] [イムマキュレ] 汚點のない

immense [immɛ̃s] [イムマンヌス] 巨大な

immunité [immynite] [イムミュニテ] 免除

N=[n]

(1) 語の終りに来た n は発音しない、只其の前にある母音を鼻音とする。

bon [bɔ̃] [ボン] 善い

main [mɛ̃] [メン] 手

bien [bjɛ̃] [ビエン] 良き

pain [pɛ̃] [ペン] パン

(2) 次の諸語では n を明瞭に発音する。

amen [amɛ̃n] [アメヌ] アーメン(かくあれかし)

abdomen [abdomɛ̃n] [アブドメヌ] 腹

in petto [inpeto] [イヌベト] 密に

hymen [imɛ̃n] [イメヌ] 或は [imɛ̃] [イメン] 結婚

nn. 一個の n の如く、或は二個の n の如く発音する。

(1) nn=[n]

sonner [sɔ̃ne] [ソネ] 音がする

donner [dɔ̃ne] [ドネ] 與へる

anneau [ano] [アノ] 指輪

honneur [ɔ̃nœ:r] [オヌール] 名譽

renne [rɛ̃n] [レヌ] 馴鹿

(2) nn=[nn]

(イ) annuel [annɛ̃l] [アンニユエル] 年の

annuler [annyle] [アンニユレ] 無効にする

annoter [annote] [アンノテ] 註釋を施す

cannibale [kannibal] [カンニバル] 残忍な人

(ロ) inn で始まる語は [nn] と発音する。

inné [inne] [インネ] 先天的の

innover [innove] [インノヴェ] 革新される

innaturel [innatyrel] [インナチュレル] 不自然な

innavigable [innavigabl] [インナヴィガブル] 航行不能の

P=[p]

(1) 語の終りにある p は一般に発音しない。

drap [dra] [ドラ] 羅紗

beaucoup [boku] [ボクウ] 多くの

sirop [siro] [スイロ] 舍利別

galop [galo] [ガロ] 疾驅

champ [ʃɑ̃] [シャン] 畑

trop [tro] [トロ] 餘りに

loup [lu] [ルウ] 狼

camp [kɑ̃] [カン] 陣地

(2) 次の諸語は p を発音する。

cap [kap] [カプ] 岬

cep [sep] [セプ] 葡萄の株

croup [krup] [クルウブ] ジフテリヤ

hop [hop] [ホプ] そら

julep [ʒylep] [ジュレブ] 一種の飲料

salep [salep] [サレブ] 澱粉の一種

hanap [anap] [アナブ] 大形のどんぶり

jalap [ʒalap] [ジャラブ] 植物の名

bishop [bifɔp] [ビショブ] 砂糖を入れた葡萄酒

- (3) 語の中にある p が、丁度綴の終りに當つてゐる場合には、p は發音しない。

baptême [batɛ:m] [バテーム] 洗禮
dompter [dɔ̃tɛ] [ドンテ] 馴らす
compte [kɔ̃:t] [コント] 計算
exempter [egzɑ̃tɛ] [エグザンテ] 免除する
sculpture [skylty:r] [スキュルテュール] 彫刻
anabaptisme [anabatism] [アナバティスム] 再洗教

- (4) 次の諸語では p を發音する。

somptueux [sɔ̃ptɥø] [ソンプテュー] 壯麗な
exemption [egzɑ̃psjɔ̃] [エグザンプスィオン] 免除
présomptif [prezɔ̃ptif] [プレゾンプティフ] 相続人
impromptu [ɛ̃prɔ̃ptɥ] [エンプロンプテ] 即興詩
péremptoire [perɑ̃ptwa:r] [ペランプトワール] 確實な
rapsodie [rapsɔ̃di] [ラブソディ] 拙文
symptôme [sɛ̃ptɔ̃m] [センプトム] 徴候
présomptueux [prezɔ̃ptɥø] [プレゾンプテュー] 傲慢な
exception [ɛksɛpsjɔ̃] [エクセプスィオン] 例外
nuptial [nypsjal] [ニユプスィアル] 婚禮の
rompre [rɔ̃:pr] [ロンブル] 祈る
corrompre [kɔ̃rɔ̃:pr] [コロンブル] 腐敗せざる

pp=[p]

opposition [ɔpozisjɔ̃] [オポズィスィオン] 反對
huppé [ype] [ユベ] 毛冠のある
supplice [syplis] [スュプリス] 刑罰
envelopper [ɑ̃vlope] [アンヴロベ] 包む
oppresser [ɔprese] [オプレセ] 壓制する
frapper [frape] [フラベ] 打つ

appliquer [aplike] [アプリケ] 適用する
apprécier [apresje] [アプレスィエ] 評價する
grappe [grap] [グラブ] 房
nappe [nap] [ナブ] 卓布

ph=[f] (92 頁 h の部参照)

Q.

- (1) 語の終りにある q は [k] と發音する。

coq [kɔk] [コク] 鶏
cinq [sɛ̃k] [センク] 五

[注意] cinq の次に子音で始まる語が来る時は q は發音せず。

cinq francs [sɛ̃frɑ̃] [センフラン] 五フラン
cinq mois [sɛ̃mwa] [センムワ] 五ヶ月

- (2) **qu**=[k] [kɥ] [kw]

(イ) qu=[k]

quai [ke] [ケ] 波止場
qualité [kalite] [カリテ] 品質
question [kɛstjɔ̃] [ケスティオン] 質問
équitation [ekitasjɔ̃] [エキタスィオン] 馬術
liqueur [likœ:r] [リククール] 飲物

(ロ) qu=[kɥ]

quiétisme [kɥjetism] [キュイエティスム] 靜寂主義
ubiquité [ybikɥite] [ユビキュイテ] 遍在性
écuyère [ekɥijɛ:r] [エキュイエール] 女の馬乗
questeur [kɥestœ:r] [キュエストール] 佛國議會
の會計吏

(ハ) qu=[kw]

aquarelle [akwarel] [アクワレル] 水彩畫

aquarium [akwarjom] [アクワリウム] 水族館
 équateur [ekwatœ:r] [エクワトール] 赤道
 in-quarto [ɛ̃kwarto] [エンクワルト] 四つ折形
 quadrature [kwadratyr] [クワドゥラテュール] 求積
 quadrupède [kwadrypɛ'd] [クワドゥリュベードゥ] 四足獣
 quadruple [kwadrypl] [クワドゥリュブル] 四倍數
 square [skwa:r] [スクワール] 或は [skwɛ:r] [スクヴェール] 辻公園
 quartz [kwarts] [クワルトゥス] 石英
 quakre [kwakr] [クワクル] クエーカー教徒

R=[r] [R]

(1) 語の終りに来た r は發音する。

avertir [avɛrtir] [アヴェルティール] 知らせる
 castor [kastœ:r] [カストール] 海狸
 pervertir [pɛrvɛrtir] [ベルヴェルティール] 悪化させる
 railleur [rajœ:r] [ライユール] 嘲る人
 sur [sy:r] [スール] 成は [syr] [スール] 上に

(2) 語が er で終る場合

(イ) 動詞の不定法の語尾は決して發音しない。

aimer [ɛme] [エメ] 愛する
 donner [done] [ドネ] 與へる
 chanter [ʃɑ̃te] [シャンテ] 歌ふ
 parler [parle] [パルレ] 話す

(ロ) 其の他の場合には或は發音し、或は發音しない。

發音する例

amer [amɛ:r] [アメール] にかい

auster [ostœ:r] [オステール] 南風
 belveder [belvedɛ:r] [ベルヴェデール] 物見臺
 belvédère とも書く
 cancer [kɑ̃sɛ:r] [カンセール] 癌
 cuiller [kyjɛ:r] [キュイエール] 匙 cuillère とも書く
 enfer [ɑ̃fɛ:r] [アンフェール] 地獄
 éther [etɛ:r] [エテール] エーテル
 fer [fɛ:r] [フェール] 鐵
 fier [fjɛ:r] [フィエール] 傲然とした
 hier [jɛ:r] [イエール] 昨日
 hiver [jvɛ:r] [イヴェール] 冬
 mer [mɛ:r] [メール] [海]
 cher [ʃɛ:r] [シェール] 愛する
 outre-mer [utrœ:r] [ウトゥルメール] 海外
 partner [partœnɛ:r] [パルトゥネール] 味方
 pater [patɛ:r] [パテール] 主の祈
 stathouder [statudɛ:r] [スタトゥウデール] 州長官
 thaler [talɛ:r] [タレール] ターレル(獨逸の銀貨)
 ver [vɛ:r] [ヴェール] 虫
 發音しない例
 berger [bɛrʒɛ] [ベルジエ] 牧人
 boulanger [bulɑ̃ʒɛ] [ブウランジエ] パン屋
 léger [leʒɛ] [レジエ] 軽い
 premier [prɛmjɛ] [ブルミエ] 最初の
 barbier [barbjɛ] [バルビエ] 理髮師
 cocher [kɔʃɛ] [コシエ] 御者

〔注意〕 monsieur, messieurs の r は發音せず。

(3) 語が r+子音で終り、此の子音が無音の場合には發音する。

bord [bɔ:r] [ポール] 岸
envers [ɑ̃vɛ:r] [アンヴェール] の方に
porc [pɔ:r] [ポール] 豚
sort [sɔ:r] [ソール] 運命
tort [tɔ:r] [トール] 不正
vert [vɛ:r] [ヴェール] 緑の
tard [tɑ:r] [タール] 遅い

[注意] gars [ga] [ガ] (壯者) は r を發音しない。

rr=[r] [rr]

(1) rr=[r]

arranger [arɑ̃ʒe] [アラージュ] ならべる
arroser [arɔze] [アロゼ] 水をかける
interroger [ɑ̃tɛrɔʒe] [エンテロージュ] 質問する
terre [tɛ:r] [テール] 地球

(2) rr=[rr]

(イ) 動詞 courir, mourir, acquérir, conquérir 等の未來及び條件法現在にあつは [rr] と發音する。

je courrai [ʒəkurre] [ジュクウレ] 私は走りませう
tu mourrais [tymurre] [テムムウレ] 君は死ぬ
でせう

j'acquerrais [ʒakrre] [ジャケレ] 彼は手に入れ
るでせう

nous conquerrons [nukɔkrɔ̃] [ヌウコンケッロ
ン] 我々は勝利を得るでせう

(ロ) 語氣を強める爲、次の諸語は [rr] と發音する。

narrer [narre] [ナレ] (物語る) 及び其の轉來語

parricide [parrisid] [パリスイド] 殺殺し
terrestre [tɛrɛstr] [テレストル] 地上の
terreur [tɛrœ:r] [テールール] 恐怖
terrible [tɛribl] [テリブル] 恐ろしい
terriblement [tɛriblmɑ̃] [テリブルマン] 恐ろし
く

terroriste [tɛrorist] [テロリスト] 暴虐政治家
corroborer [kɔrɔbɔre] [コロボレ] (強壯にする)

及び其の轉來語

corroder [kɔrɔde] [コロボデ] 腐らす
horreur [ɔrrœ:r] [オールール] 恐怖
torréfier [tɔrɛfje] [トレフィエ] 焙る
torrent [tɔrrɑ̃] [トラン] 急流
errer [ɛrre] [エレ] 迷ふ
errata [ɛrrata] [エラタ] 正誤
erreur [ɛrœ:r] [エールール] 誤謬

rh, rrh=[r]

rhéteur [retœ:r] [レトール] 雄辯術教師
catarrhe [katar] [カタール] カタル
diarrhée [djare] [ディアレ] 下痢
Rhin [rɛ̃] [レン] ライン河

S [s] [z]

(1) 語の始めに来る s は常に [s] と發音する。

statue [staty] [スタチュ] 像
sous [su] [スウ] の下に
son [sɔ̃] [ソン] 彼の
sur [syr] [スール] の上に

(2) s+子音は通例 [s] と発音する。

costume [kɔstym] [コステュム] 服装
disputer [dispyte] [ディスピュテ] 争ふ
causticité [kɔstisite] [コスティスイテ] 皮肉
ballast [balast] [バラスト] 礫

〔注意〕 (a) 次の諸語では [z] と発音する。

sbire [zbi:r] [ズビール] 巡查(俗語)
svelte [zvelt] [ズヴェルト] すんなりした
asbeste [azbest] [アズベスト] 石綿
presbyte [prɛzbit] [プレズビト] 遠視眼の人
presbytère [prɛzbitɛ:r] [プレズビテール] 主任司
祭の家
Sganarelle [zganarel] [ズガナレル] 人名
Strasbourg [strazbu:r] [ストゥラズブール] 都
會の名

(b) 動詞 être 直説法現在単数第三人稱 est の s は発音
しないで、[ɛ] と発音する。

次の est は発音する。
le vent d'est [ləvɑ̃dɛst] [ルヴァンデスト] 東風

(c) mesdames [mɛ'dam] [メダム] 婦人達
mesdemoiselles [mɛ'dmwazɛl] [メドムワゼル]
令嬢達

lesquels [lə'kɛl] [レケル] どれを
desquels [dekɛl] [デケル] どれに就て
等の s も発音しない。

(3) 子音+s=[s]

verser [vɛrse] [ヴェルセ] 注ぐ
péninsule [penɛ̃'syl] [ペネンスール] 半島

absence [absɑ̃s] [アブリンス] 不在

chanson [ʃɑ̃sɔ̃] [シャンソン] 歌

pensée [pɑ̃se] [パンセ] 思想

〔注意〕 次の諸語では [z] と発音する。

Alsace [alzas] [アルザス] アルサス州

alsacien [alzasjɛ̃] [アルザスイエン] アルサス人

balsamier [balzamje] [バルザミエ] 芳香樹

balsamine [balzamin] [バルザミン] 鳳仙花

balsamique [balzamik] [バルザミク] 芳香の

transalpin [trɑ̃'zɑlpɛ̃] [トランザルペン] アルプス山
の向ふの

transaction [trɑ̃'zaksjɔ̃] [トランザクスイオン] 和解

transborder [trɑ̃'zɔrde] [トランズボルデ] 積換へる
(船から船へ)

transgresser [trɑ̃'zgrɛse] [トランズグレセ] 托す

transition [trɑ̃'zizjɔ̃] [トランズスイオン] 移動

transit [trɑ̃'zit] [トランズイト] 通過貿易

transitif [trɑ̃'zitif] [トランズイティフ] 他動的

transiger [trɑ̃'ziʒe] [トランズイジュ] 和解する

transvaser [trɑ̃'zvazɛ] [トランズヴァゼ] 容れ換へる

transverse [trɑ̃'zvɛrs] [トランズヴェルス] 斜の

(4) 母音+s+母音=[z]

baiser [bɛ:ze] [ベーゼ] 接吻

oiseau [wazo] [ワゾ] 鳥

maison [mɛ:zɔ̃] [メーゾン] 家

rose [ro:z] [ローズ] 薔薇

〔注意〕 次の諸語は [s] と発音する。即ち接頭語の次に来る s は
[s] と発音するのである。

antiseptique [ã'tisɛptik] [アンティセプティック] 防腐剤
 antisocialiste [ã'tisɔsjalist] [アンティソシヤリスト] 非社会主義者
 cosinus [kɔsiny:s] [コサイン] 餘弦 (コサイン)
 désuétude [desɛtyd] [デシュエテュド] 廢滅
 entresol [ãtrɛsɔl] [アントゥレルソル] 中二階
 imparisyllabe [ẽparisilla'b] [エンパリスィラブ] 綴音
 数不同の名詞
 invraisemblable [ẽvrɛsãblabl] [エンヴレサンブラブル] 眞實らしくない
 monosyllabe [mɔnɔsilla:b] [モノスィッラーブ] 単一綴
 の語
 parasol [parasɔl] [パラソル] 日傘
 polysyllabe [pɔlisilla'b] [ポリスィッラーブ] 多綴の語
 préséance [preseã:s] [プレセアンス] 上席權
 présupposer [presypo:ze] [プレスュポーゼ] 豫想する
 présupposition [presypo:zisjɔ] [プレスュポーゼィスィオン] 豫想
 resaluer [rɛsalɥe] [ルサリュエ] 再び敬禮する
 resigner [rɛsiɥe] [ルスィニエ] 再び署名する résigner
 [reziɥe] [レズィニエ] 斷念する と混同すべからず。
 soubresaut [subrɛso] [スウブルソ] 跳躍
 tournesol [turnsɔl] [トゥウルヌソル] 向日葵
 vraisemblable [vrɛsãblabl] [ヴレサンブラブル] 眞らしい
 Lasalle [lasal] [ラサル] 人名
 Lesage [lɛsa:ʒ] [ルサージュ] 人名

(5) 語の終りに来た s は通例無音である。

bras [bra] [ブラ] 腕
 mauvais [mo've] [モーヴェ] 悪い
 avis [avi] [アヴィ] 意見
 abcès [apsɛ] [アブセ] 膿瘍

[注意]

(a) 次の諸語では s を發音する。

albatros [albatrɔ's] [アルバトゥロース] 信天翁
 angélu [ãʒely's] [アンジュリュース] 御告の祈
 as [a:s] [アース] 一點のカルタ
 atlas [atla's] [アトゥラース] 地圖
 bis [bis] [ビス] 再び
 blocus [bloky:s] [ブロキユース] 封鎖
 cens [sã:s] [サンス] 國勢調査(羅馬の)
 cortès [kɔrtɛ's] [コルテース] 國會(西班牙の)
 crocus [krɔky's] [クロキユース] さふらん
 express [ɛksprɛs] [エクスプレス]
 gibus [ʒiby:s] [ジビユース] 折り疊み出来るシルクハット
 gratis [grati:s] [グラティース] 無料で
 hiatus [jatɥ:s] [イアテユース] 母音の重複
 humus [ymy:s] [ユミユース] 植物地層
 lis [li:s] [リース] 百合
 mars [mãrs] [マルス] 三月
 métis [meti:s] [メティース] 雜種(生物の)
 oasis [oazi:s] [オアズィース] 林泉(砂漠中の)
 pathos [patɔ:s] [パトース] 悲憤
 rébus [reby:s] [レビユース] 謎

rhinocéros [rinɔserɔ:s] [リノセロース] 犀
 tumulus [tymyly:s] [テュミュリュース] 堆土、塚
 os [ɔs] [オス] 骨 複数の時は [o]
 fils [fis] [フィス] 息子
 maïs [mais] [マイス] 玉蜀黍
 mérinos [merinɔ:s] [メリノース] めりのす羅紗
 argus [argy:s] [アルギューズ] 慧眼の人
 biceps [biseps] [ビセプス] 二頭筋
 ours [urs] [ウルス] 熊 複数の時は [u:r] [ウール]
 sus [sys] [スュス] 上に
 chorus [kɔry:s] [コリュース] コーラス
 reps [reps] [レプス] 一種の布
 obus [oby:s] [オビューズ] 榴弾
 anus [any:s] [アニューズ] 肛門
 Jadis [ʒa'dis] [ジャーディス] 昔は
 Agnès [aɲɛ:s] [アニェース] 人名
 Jonas [ʒɔna:s] [ジョナース] 人名
 Gaston Paris [gastɔ̃paris] [ガストンパリス] 人名
 Reims [rɛ̃:s] [レンス] 都會の名
 Vénus [veny:s] [ヴェニューズ] 美の神

(b) (イ) **bis.**

形容詞の時は [bi] [ビ] と発音する。

pain bis 黒パン

副詞の時は [bis] [ビス] と発音する。

numéro 5 bis 五號の乙

(ロ) **hélas** (どうも) は [ela:s] [エラース] と発音するがよい [ela] と発音するのは古い。

(ハ) **jadis** (昔は) [ʒadis] [ジャーディス] と発音するが

よい [ʒadi] は古い発音である。

(ニ) **mœurs** (風俗) は [mœrs] [ムールズ] と発音するのが最も一般的である [mœ:r] [ムール] は古い発音である。

(ホ) **plus** [ply] [ブリュ] [plyz] [ブリュズ] [plys] [ブリュス]

[ply] と発音せられる場合

子音の前 **plus grand** もつと大きい

否定文の終りに於て Je ne bois **plus**. 私はもう飲みません

[plyz] と発音せられる場合

母音の前 **plus aimable** [plyzemabl] [ブリュゼマブル] もつと親切な

[plys] と発音せられる場合

加へ算の記號 2+3=5

一つ一つ算へあげる時 **une casquette, plus un livre, plus un crayon etc.** 帽子一個、尙書物一冊、尙又鉛筆一本等

le plus-que-parfait [ləplyskəparfɛ] [ルブリュスクパルフェ] 大過去

文章の終りに來た **plus** が『もつと』と云ふ意味を表はす時 J'en veux **plus**. もつと欲しい
次の熟語に於て

en plus もつと

de plus その上

plus que より多く

Donnez-moi en plus. もつと下さい

De plus il l'a maltraité. 其の上彼はその者を虐待した

Il travaille plus que moi. 彼は僕より多く働く

(へ) **sens.**

多くの場合 [sã:s] [サンス] と發音する。

cinq sens [sẽsã:s] [センサンス] 五官

Ça n'a pas de sens. [sanapadã:s] [サナパドゥ
サンス] それは意味がありません

à mon sens [amõsã:s] [アモンサンス] 私の考
では

contre sens [kõtrsã:s] [コントロールサンス] あべ
こべに

non-sens [nõsã:s] [ノンサンス] 無意味

dans tous les sens [dãtulesã:s] [ダントゥウレ
サンス] 四方八方に

次の場合には s を發音しない。

sens commun [sãkomõ] [サンコマムン] 常識

sens dessus dessous [sãdsydsu] [サンドゥス
ドゥスウ] まごまごして

bon sens [bõsã] [ボンサン] 理性

(ト) **tous.**

形容詞は [tu] [トゥウ] と發音する。

tous mes amis [tumezami] [トゥウメザミ]

然し母音の前にあつては [tuz] [トゥウス] と發音
する。

à tous égards [atuzega:r] [アトゥウゼガール] 總
ての點に於て

代名詞は [tus] [トゥウス] と發音する。

Tous [tus] [トゥウス] disent que 總ての人は次
の様に申します

Les hommes sont tous [tus] [トゥウス] mortels.
人は皆死ぬべきものです

Nous le voulons tous. [tus] [トゥウス] 我々は皆
それを希望致します

(チ) **vis**

動詞 voir の定過去では [vi] [ヴィ] と發音し、螺
旋を意味する名詞では [vis] [ヴィス] と發音する。

sc=[s] [sk]

(1) sc=[s] 母音 e, i, y の前に於て

scène [sɛ:n] [セーン] 有様

scie [si] [スイ] 鋸

scélérat [selera] [セレラ] 悪奴

sceau [so] [ソ] 印

(2) sc=[sk] 母音 a, o, u の前に於て

scandale [skãdal] [スカンダル] 汚行

scolaire [skõlɛ:r] [スコレール] 學校の

sculpter [skylte] [スキュルテ] 彫刻する

scrutin [skrytẽ] [スクリュテン] 投票

sch=[ʃ] [sk]

(1) sch=[ʃ]

schématique [ʃematik] [シュマティック] 關係を示す

schème [ʃɛ:m] [シューム] 略圖

(2) sch=[sk] o の前に於て

scholastique [skõlastik] [スコラスティク] 學校風の

scholie [skõli] [スコリ] 注意

sh=[ʃ]

fashionable [faʃjənaʒl] [ファッションナブル] 流行を追ふ人
shilling [ʃɪlɪŋ] [シユレン] シルリング(英國の貨幣)

ss=[s] [ss]

(1) ss=[s]

assez [ase] [アセ] 充分に
laisser [le'se] [レーセ] 放任する
bassin [basɛ̃] [バセン] 水盤
secousse [səkus] [スクウス] 振動

(2) ss=[ss]

assoupir [assupi:r] [アッスウピール] 睡気を催させる
classique [klassik] [クラッシク] 教科用の
assouplir [assupli:r] [アッスウブリール] 柔かにする
dissemblable [dissɛ̃:bla'bl] [ディッサンブラーブル] 似てゐない

T

(1) 語の終りに来た t は通例無音である。

minuit [mini] [ミニユイ] 夜の十二時
lacet [la:sɛ] [ラーセ] 綱
achat [afa] [アシャ] 買物
avocat [avɔka] [アヴォカ] 辯護士
語尾 ant, ent, ont に於ては t は常に無音である。

(2) 次の諸語では t を發音する。

accessit [aksɛsit] [アクセシット] 褒状
brut [bryt] [ブリュット] 粗な
chut [ʃyt] [シュット] 黙れ
dot [dot] [ドット] 持参金

fat [fat] [ファット] 自慢家

knout [knut] [クヌウト] 箆刊

malt [malt] [マルト] 麥芽

mat [mat] [マト] 光澤ない

net [nɛt] [ネット] 明瞭な

vermouth [vɛrmut] [ヴェルムウト] ベルモット(酒の名)

vivat [vivat] [ヴィヴァット] 萬歳

ballast [balast] [バラスト] 砂利

compost [kɔpst] [コンポスト] 混合肥料

est [ɛst] [エスト] 東

ouest [west] [ヴェスト] 西

toast [tɔst] [トスト] 祝杯

Christ [krist] [クリスト] 基督 然し Jésus-Christ は

[ʒɛzykri] [ジェズクリ] と發音する。

whist [wist] [ヴィスト] 四人で爲すトランプの一種

déficit [defisit] [デフィシット] 不足額

granit [granit] [グラニット] 花崗岩

lest [lɛst] [レスト] 砂袋

rut [ryt] [リュット] 動物發情期

(3) 次の諸語では t は或は發音し、或は發音しない。

(イ) but [byt] [ビュット] [by] [ビュ]

此の語が文章の終りに来た時、或は又 語氣を強める時は [byt] と發音する。

Voilà mon but. [byt] [ビュット] これが私の目的です

Le but [by] [ビュ] qu'il s' est proposé 彼の立てた目的

(ロ) cent.

通例は [sɑ̃] [サン] と發音する。

次に母音がつゞく時ときは t を發音する。

cent ans [sãtã] [サンタン] 百年

然し cent un は [sãœ] [サンアウン] と發音する。

(ハ) fait [fet] [フェトフ] [fe] [フェ]

次の熟語では [fet] と發音する。

dire son fait à quelqu'un 或る人に當然の非難を
さし向ける

au fait 詮じつめれば

si fait 本當に

語が文章の終りに來た時、或は又語氣を強める時も
[t] を發音する。

Ce n'est pas mon fait. [fet] それは私の柄ではない
共の場合には [fe] と發音する。

(ニ) granit は [grani] [グラニ] 或は [granit] [グラニ
トフ] と發音される。後者の方が最も普通である。

(ホ) huit [qit] [ユイトフ] [qi] [ユイ]

[qit] と發音する場合

文章の終りに於て

J'en ai huit. [qit] 私はそれを八つ持つてゐる

母音で始まる語の前に於て

Nous sommes huit [qit] enfants. 我々は八人の子
供です

日附の場合

Le huit [qit] septembre. 九月八日

[qi] 以上の場合以外に於て

On peut y arriver en huit [qi] jours. 八日か
つてそこに到着出來ます

(ヘ) sept [set] [セトフ] [se] [セ] huit の場合と同じ

(ト) soit

肯定を示す副詞の時は [swat] [スワトフ] と發音す
る。

Acceptez-vous? Soit. [swat]

御引受け下さいますか、承知しました

動詞 être の subjunctif 時及び [swa] [スワ] と
交互の意味を示す接続詞の時は } 發音する。

Je ne crois pas que ce soit lui. 彼であるとは思ひ
ません

Soit lui soit moi. 彼にせよ、私にせよ

(チ) vingt [vẽ] [ヴェン] [vẽt] [ヴェントフ]

[vẽ] と發音する場合

子音で始まる語の前に於て

vingt jours 二十日

文章の終りにある時

J'en ai vingt. 私はそれを二十持つてゐる

[vẽt] と發音する場合

母音で始まる語の前に於て

vingt ans [vẽtã] [ヴェンタン] 二十年

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 の數が來る時

vingt et un [vẽteœ] [ヴェンテアウン] 二十一

vingt-deux [vẽtdø] [ヴェントドゥー] 二十二

vingt-neuf [vẽtnœf] [ヴェントヌーフ] 二十九

[注意] quatre-vingts [katrãvẽ] [カトゥルヴェン] では決して t
を發音しない。

quatre-vingt-un [katrãvẽœ] [カトゥルヴェンアウン] 八
十一

quatre-vingt-neuf 八十九 等に於ても同様である。

th=[t]

(1) th=[t]

athée [ate] [アテ] 無神論者
luth [lyt] [リュトッ] 琵琶の一種
théâtre [tea:tr] [テアートゥル] 劇場
Elisabeth [elizabet] [エリザベトッ] 人名

(2) th=(無音)

asthme [asm] [アスム] 喘息
isthme [ism] [イスム] 地峡
Goth [go] 或は [gɔ] [ゴ] 人種の名
Visigoth [vizigo] [ヴィズイゴ] 人種の名

(4) mont, pont の轉來語では t は無音である。

Montgolfier [mɔ̃'gɔlfje] [モンゴルフィエ] 人名
Montmorency [mɔ̃'mɔrɑ̃'si] [モンモランスイ] 都會の名
Pontlevoy [pɔ̃lɛvwa] [ポントヴワ] 都會の名

[注意] 母音の前では t を發音する。

Montendre [mɔ̃tɑ̃dr] [モンタンドゥル] 都會の名
Pontoise [pɔ̃twaz] [ポントワズ] 都會の名

ti=[ti] [ティ] [シ] [スイ]

I. [ti] と發音する場合

(1) ti+子音の場合には [ti] と發音する。

sortir [sɔ̃rti:r] [ソルティール] 出る
tigre [ti'gr] [ティール] 虎
intime [ɑ̃'tim] [エンティム] 親密な
bâtisse [ba'tis] [バーティス] 大建築

(2) 動詞不定法の語尾が ter, tir なる動詞が變化して ti となつた時 [ti] と發音する。

porter nous portions [nuportjɔ̃] [ヌウポルティオン]
持つ vous portiez [vuportje] [ヴウポルティエ]
partir nous partions [nupartjɔ̃] [ヌウバルティオン]
出發する vous partiez [vupartje] [ヴウバルティエ]

(3) s+ti } に於ては [ti] と發音する。
x+ti }

gestion [gɛstjɔ̃] [ジェスティオン] 管理
suggestion [sygɛstjɔ̃] [スグジェスティオン] 暗示
mixtion [mikstjɔ̃] [ミクスティオン] 調合
immixtion [immikstjɔ̃] [イムミクスティオン] 干涉

(4) 接頭語 anti, centi は [ti] と發音する。

antiévangélique [ɑ̃tievɑ̃ʒelik] [アンティエヴァンジェリ
ク] 非福音主義の
centimètre [sɑ̃timɛtr] [サンティメートル] サンチ米突

(5) 語尾の ti は [ti] と發音す。

apprenti [aprɑ̃'ti] [アブランティ] 丁稚
abrupti [abryti] [アブリュティ] 馬鹿になつた
bâti [ba'ti] [バーティ] 木組
démenti [demɑ̃:ti] [デマンティ] 拒否

(6) 語尾の tien は [tjɛ̃] と發音する。

chrétien [kretjɛ̃] [クレティエン] 基督教信者
tien [tjɛ̃] [ティエン] お前の物
entretien [ɑ̃trtjɛ̃] [アントゥルティエン] 支持
soutien [sutjɛ̃] [スウティエン] 支柱

[注意] Gratien [grasjɛ̃] [グラスィエン] 人名
Vénitien [venisjɛ̃] [ヴェニスィエン] ヴェニス人 } は例
外である。

(7) 語尾の tie, thie に於ては [ti] と發音する。

garantie [garɑ̃ti] [ガランティ] 保證

partie [parti] [バルティ] 部分

antipathie [ɑ̃tipati] [アンティパティ] 反感

sympathie [sɛ̃pati] [センパティ] 同情心

〔注意〕 (a) ti で終る形容詞の女性の形は、常に [ti] と發音する。

(b) 次の諸語は [si] と發音する。

argutie [argysi] [アルギュスイ] 空論

aristocratie [aristokراسي] [アリストクラスイ] 貴族
政治

autocratie [o'tokراسي] [オートクラスイ] 君主專制

calvitie [kalvisi] [カルヴィスイ] 禿頭

démocratie [demokراسي] [デモクラスイ] 民主政治

diplomatie [diplomاسي] [ディプロマスイ] 外交

facétie [fasesi] [ファセスイ] 滑稽

impéritie [ɛ̃perisi] [エンベリスイ] 無器用

ineptie [inɛpsi] [イネプスイ] 無能

inertie [inɛrsi] [イネルスイ] 無氣力

minutie [minysi] [ミニュスイ] 些細な事

ochlocratie [oklokراسي] [オクロクラスイ] 民主政治

péripétie [peripesi] [ペリベスイ] 變遷

primatie [primاسي] [プリマスイ] 主教の位

✓ prophétie [profesi] [プロフェスイ] 豫言

stratocratie [stratokراسي] [ストラトクラスイ] 武
斷政治

✓ suprématie [sypremasi] [スプレマスイ] 最上權

théocratie [teokراسي] [テオクラスイ] 神權政治

動詞 balbutier [balbysje] [バルビュスイエ] 口ごもる

initier [inisje] [イニスイエ] 入念させる

及び次の固有名詞に於ても [si] と發音する。

Béotie [beosi] [ベオスイ] 古代の希臘の州名

La Boétie [labœsi] [ラボエスイ] 人名

Dalmatie [dalmasi] [ダルマスイ] 奥國の州名

Helvétie [ɛlvesi] [エルヴェスイ] 瑞西の古名

Nigritie [nigrisi] [ニグリスイ] スーダンの古名

II. [si] と發音する場合

(1) ti+a=[si]

insatiable [ɛ̃sasja'bl] [エンサスイアール] 飽くを知
らない

martial [marsjal] [マルスイアル] 戰の

partial [parsjal] [バルスイアル] 不公平な

initial [inisjal] [イニスイアル] 始めの

〔注意〕 tiare [tja:r] [ティアール] (教王の位) は例外である。

(2) 語尾 tient は [sjɑ̃] [スイアン] と發音する。

patient [pasjɑ̃] [パスイアン] 辛抱強い人

quotient [kɔsjɑ̃] [コスイアン] 割算の商

(3) 語尾の tiel, tieux

partiel [parsjel] [バルスイエル] 一部分の

essentiel [esɑ̃sjɛl] [エサンスイエル] 本質的

ambitieux [ɑ̃bisjɔ] [アンビスイウ] 野心のある

prétentieux [pretɑ̃sjɔ] [プレタンスイウ] 威張つた

(4) tion で終る名詞の大部分 (但し stion, xtion は [ti] と發
音すること既述の如くである)。

condition [kɔdisjɔ] [コンディスイオン] 條件

absolution [absɔljɔ] [アブソリュスイオン] 絶對

sanction [sɑ̃ksjɔ] [サンクスイオン] 制裁

attention [atã'sjõ] [アタンスィオン] 注意

tt. 一個の [t] の如く發音する。

dattier [datje] [ダティエ] なつめじゆろ

miette [mjɛt] [ミエトヰ] 細片

nette [net] [ネトヰ] 鮮明な

cotte [kot] [コトヰ] 上衣

tz=[ts] [s]

(1) tz=[ts] [ツ]

Austerlitz [o'sterlits] [オーステルリツ] 地名

Fritz [frits] [フリツ] 人名

(2) tz=[s]

Metz [mɛ's] [メース] 都會の名

Retz [rɛ's] [レース] 人名

Seltz [sɛls] [セルス] 地名

V=[v] [f]

(1) v=[v]

voiture [vwaty:r] [ヴワテュール] 車

vrai [vrɛ] [ヴレ] 眞の

vivre [vi:vr] [ヴィーヴル] 生活する

cave [ka:v] [カーヴ] 穴倉

(2) v=[f]

savetier [saftje] [サフティエ] 靴直し

sauve-toi [so:ftwa] [ソーフトヰワ] 逃げよ

W=[w] [v]

(1) w=[w] 主として英語から轉來した語。

railway [relwe] [レルヴェ] 鐵道

whig [wig] [ヴィグ] 自由黨員

sandwich [sãdwi:tʃ] [サンドヰヴィチュ] サンドウイツチ

warrant [warã] [ワラン] 倉庫證券

watt [wat] [ワトヰ] 電力の單位 ワット

tramway [tramwe] [トランムヴェ] 電車

whisky [wiski] [ヴィスキ] ウイスキー

wigwam [wigwam] [ヴィグワム] 北米土人のテント

Washington [wãʃiŋtõ] [ワシントン] 人名

William [wiljam] [ヴィリアム] 人名

(2) w=[v]

wagon [vãgõ] [ヴァゴン] 客車

watercloset [vaterklo'zet] [ヴァテルクローゼトヰ] 便所

wallon [valõ] [ヴァロン] 白耳義の南東部に住む Wallons
人の言語

Wurtemberg [vyrtẽber] [ヴェルテンベール] 地名

X=[ks] [k] [s] [gz] [z]

(1) x=[ks]

axiome [aksjõ:m] [アクシオーム] 公理

vexer [vɛkse] [ヴェクセ] 苦しめる

texte [tekst] [テクストヰ] 原本

exclure [ɛkskly:r] [エクスクリュール] 除外する

explorer [ɛksplõre] [エクスプロレ] 探る

index [ẽdɛks] [エンデクス] 索引

phénix [feniks] [フェニクス] 鳳凰

préfixe [prefiks] [プレフィクス] 接頭語

silex [sileks] [シレクス] 珪石

larynx [larẽks] [ラレンクス] 喉頭

sphinx [sfẽ:ks] [スフェンクス] スフィンクス

axe [aks] [アクス] 軸
flexible [fleksibl] [フレクシブル] 曲り易い
luxe [lyks] [リュクス] 奢侈
réflexion [refleksjõ] [レフレクシオン] 反射
borax [bɔraks] [ボラクス] 硼砂
excuser [ɛksky:ze] [エクスキューゼ] 免する
lynx [lɛ:ks] [レンクス] 山猫
pharynx [farɛ:ks] [ファレンクス] 咽頭
maxime [maksim] [マクシム] 格言
expansion [ɛkspãsjõ] [エクスパンション] 膨脹
Alexandre [alɛksã:dr] [アレクサンドール] 人名
Mexique [mɛksik] [メクシク] メキシコ
Aix-la-Chapelle [ɛkslafapɛl] [エクストラシャペル] 都會
の名
Styx [stiks] [スティクス] 地獄の川

(2) x=[k] ce, ci, s の前にある ex は [ek] と發音する。

excellence [ɛksɛlã:s] [エクセランス] 閣下
exsudation [ɛksydãsjõ] [エクスュグシオン] 發汗
exciter [ɛksite] [エクシテ] 刺戟する
excéder [ɛksede] [エクセデ] 抽んずる
excepter [ɛksɛpte] [エクセプテ] 除く
excessif [ɛksɛsif] [エクセシフ] 過度の

(3) x=[s]

six [sis] [シィス] 六
dix [dis] [ディィス] 十
soixante [swasãt] [スワサント] 六十
Auxerre [o'sɛ:r] [オーセール] 或は [ɔsɛ:r] [オセール]
都會の名

Auxonne [ɔsɔn] [オソヌ] 都會の名

Bruxelles [brysl] [ブリュセル] 都會の名

(4) x=[gz]

ex+母音或は無音の h の場合

examen [ɛgzamɛ] [エグザメン] 試験
exécuter [ɛgzɛkyte] [エグゼキュテ] 實施する
exhorter [ɛgzɔrte] [エグゾルテ] 勸告する
Xanthe [gzã:t] [グザント] 川の名
Xanthippe [gzãtip] [グザンティプ] 人名
Xerxès [gzɛrɛs:s] [グゼルセース] 人名
Xenophane [gzɛnofan] [グゼノファヌ] 人名

(5) x=[z]

deuxième [døzjɛm] [ドゥーヰエム] 二番の
dixième [dizjɛm] [ディヰエム] 十番の
dix-huit [dizɥit] [ディヰユイト] 十八
dix-neuf [diznœf] [ディヰヌーフ] 十九
sixième [sizjɛm] [シヰエム] 六番の
sixain [si'zɛ] [シヰゼン] 六行詩
dixain [di'zɛ] [ディヰゼン] 十行詩

Liaison の時

six heures [sizœ:r] [シヰヰール] 六時
deux ans [døzã] [ドゥーザン] 二年

(6) x 語尾の x は無音の場合が多い。

choix [ʃwa] [シュワ] 選擇
faix [fɛ] [フェ] 荷物
heureux [œrø] [ウル] 幸福な
paix [pe] [ペ] 平和
taux [to] [ト] 率

crucifix [krysifi] [クリュスイフィ] 耶蘇受難像

flux [fly] [フリュ] 満潮

afflux [afly] [アフリュ] 流れ込み

reflux [rəfly] [ルフリュ] 干潮

prix [pri] [プリ] 値段

perdrix [perdri] [ペルドゥリ] 鶉

courroux [kuru] [クウルウ] 怒

généreux [ʒenerø] [ジェネルゥ] 寛大な

jaloux [ʒalu] [ジャルウ] 嫉妬の

époux [epu] [エプウ] 夫婦

[注意] 次の諸語では [ks] と発音する。

borax, phénix, silex, larynx, lynx, pharynx, styx,

index, sphinx.

[125頁 (1) x=ks の部参照]

Z=[z] [s]

(1) z=[z]

zèle [zɛ'l] [ゼール] 熱心

zône [zo:n] [ゾーン] 区域

zoologiste [zo'logist] [ゾーロジストゥ] 動物学者

gaz [ga:z] [ガーズ] 瓦斯

fez [fɛ:z] [フェーズ] 土其古帽

(2) z=[s]

ruolz [ryols] [リュオルス] 鍍金した金属

Rodez [rɔdɛs] [ロデス] 都會の名

Suez [syɛs] [スエス] スエズ

Orthez [ɔrtɛs] [オルテス] 都會の名

(3) z 語尾が ez の時 z は無音である。

assez [ase] [アセ] 充分に

chez [ʃe] [シェ] の家に

nez [ne] [ネ] 鼻

rez-de-chaussée [redʃo'se] [レドゥシャッセ] 一階

動詞の變化した語尾 ez は常に無音である。

vous aimez [vuzeme] [ヴウゼメ] 汝は愛する

vous chantiez [vuʃātje] [ヴウシャンティエ] 汝は歌つて

みた

[注意] (1) riz (稻) は [ri] [リ] と発音する。

(2) ranz (牧歌) 瑞西の方言である。

瑞西では [rā] [ラン] と発音し、佛語では通例

[rās] [ランス] と発音する。

5. 音調、連聲の練習

La chèvre de monsieur Seguin.

Monsieur Seguin/n'avait jamais eu [ʒamɛzy] de bonheur avec [bonœ:ra:vɛk] ses chèvres.

Il les perdait toutes de la même façon \: un beau matin/, elles cassaient leur corde/, s'en allaient [sānale] dans la montagne/, et là-haut le loup les mangeait \. Ni les caresses de leurs maître/, ni la peur du loup/, rien ne les retenait \. C'était, [paraît-il], des chèvres indépendantes [ʃevrɛzɛdepādā:t]/, voulant à tout prix [vulātatupri] le grand air [grāts:r]/et la liberté \.

Le brave monsieur Seguin, qui ne comprenait rien au [rjēno] caractère de ses bêtes/, était consterné \.

Il disait \: "C'est fini \; les chèvres s'ennuient chez moi \, je n'en garderai pas une [pazyn] \."

Cependant il ne se découragea pas \, et après avoir

[aprezavwar] perdu six chèvres de la même manière /, il en acheta [ilānafta] une septième \ ; seulement, cette fois /, il eut [ily] soin de la prendre toute jeune, pour qu'elle mieux à demeurer chez lui \.

Ah ! Gringoire \, qu'elle était [kælets] jolie /, la petite chèvre de monsieur Seguin / ! Qu'elle était jolie avec ses yeux doux /, sa barbiche de sous-officier /, ses sabots noirs et [nware] luisants /, ses cornes zébrées / et ses longs poils blancs qui lui faisaient une huppelande \ ; [fæzetynhuplā:d] presque aussi [preskosi] charmant que le cabri d'Esméralda /, [tu te rappelles] /, Gringoire \ ? et puis \ do / cile, caressante /, se laissant traire sans bouger /, sans mettre son pied dans l'écuelle / ; un amour de petite chèvre \.

Le Corbeau et le Renard.

Maitre Corbeau, sur un arbre [syrœnarbr] perché,
Tenait en [tænetā] son bec un fromage \.

[Maitre Renard], [par l'odeur alléché],
Lui tint à [tēta] peu près ce langage \ :

“ Hé / ! bonjour /, monsieur du Corbeau,

Que / vous êtes joli \ ! que / vous me semblez beau \ !

Sans mentir \, si votre ramage

Se rapporte à [rapota] votre plumage /,

Vous êtes le phénix des hôtes [dezo:t] de ces bois \.”

A ces mots, le Corbeau ne se sent pas de joie \ ;

Et /, pour montrer sa belle voix /,

[Il ouvre un [ilu:vrœ] large bec], [laisse tomber sa proie].

Le Renard s'en saisit, et dit : “ [Mon bon monsieur],
Apprenez que tout flatteur /

Vit aux [vito] dépens de celui qui l'écoute ;

Cette leçon vaut bien un [bjēnōō] fromage /, sans doute ! ”

Le Corbeau, honteux et [ō'tφ:ze] confus,

Jura, mais un [mezōō] peu tard /, qu'on ne l'y prendrait plus \.

6. 紛らばしい發音の固有名詞

Aaron [arō]

Achab [akab]

Achaïe [akai]

Achantis [afāti]

Achate [akat]

Achéron [akerō]

Achille [afil]

Achmet [akmet]

Adam [adā]

Adonis [adoni:s]

Agésilas [agezilɑ:s]

Agis [agi:s]

Agnès [apε:s]

Aix-la-Chapelle [eksɫafapɛl]

Alaric [alarik]

Alcinoüs [alsinoy:s]

Aléoutiennes [aleusjɛn]

Alep [alɛp]

Alfred [alfred]

Alger [alʒe]

Alsace [alzɑs]

Anacharsis [anakarsis]

Androcles [ādrɔkle:s]

Annibal [anibal]

Antilles [āti:j]

Anvers [āvɛ:r]

Aoste [aost]

Apennins [apenē]

Arbèles [arbɛl]

Arcésilas [arsezilɑ:s]

Ardennes [ardɛn]

Arnauld [arno]

Augias [ogjɑ:s]

Augsbourg [ogzbur]

Auxerre [ɔsɛ:r]

Auxonne [ɔsɔn]

Averrhoès [averrɔɛ:s]

Azarias [azarjɑ:s]

Baptiste [batist]
Barabbas [barabas]
Bénarès [benarɛ:s]
Béotie [beosi]
Berg-op-Zoom [bɛrgɔbzɔ:m]
Biscaye [biskai]
Booz [boʊz]
Bruxelles [brysel]
Bucarest [bykarest]

Cadix [kadiks]
Caïn [kaɛ̃]
Calais [kale]
Calicut [kalikyt]
Camoëns [kamɔɛ̃:s]
Canut [kany]
Cap [kap]
Capharnaüm [kafarnaɔm]
Cérès [serɛ:s]
Chabrias [kabria:s]
Chalcédoine [kalsɛdwan]
Chaldée [kalde]
Chambéry [ʃɑ̃beri]
Champcenez [ʃɑ̃sne]
Chanaan [kanaɑ̃]
Charybde [karibd]
Chéronée [kerone]
Christ [krist]
Chrysis [krizeis]

Cochinchine [kɔ̃ʃin]
Colomb [kolɔ̃]
Copenhague [kɔpenag]
Copernic [kɔpɛrnik]
Crésus [krezy:s]
Cyrille [siril]

Dalmatie [dalmasi]
Damas [damas]
Damoclès [damɔklɛ:s]
Denis [dəni]
Dioclétien [djɔklesjɛ̃]
Dresde [drɛzd]

Enoch [enɔk]
Epaminondas [epaminɔ̃da:s]
Ernest [ɛrnɛst]
Esdras [ɛzdra:s]
Ezéchias [ezekja:s]

Faust [fo:st]
Francfort [frɑ̃kɔ:r]

Gadès [gadɛ:s]
Galatie [galasi]
Gaston Paris [gastɔ̃paris]
Glasgow [glasko]
Gothembourg [gotɑ̃bu:r]
Gratien [grasjɛ̃]
Groenland [grɛ̃lɑ̃]

Guyane [gɥijan]
Gygès [gɥɛ:s]

Habacuc [abakyk]
Haggée [age]
Hainault [ɛno]
Hardi-Canut [ardikanyt]
Haye [ɛ]
Helvétie [ɛlvesi]

Jansénius [ʒɑ̃senjy:s]
Japhet [ʒafɛt]
Jésus-Christ [ʒɛzykri]
Joad [ʒoad]
Joiada [ʒɔjada]
Josaphat [ʒɔzafat]
Josias [ʒozja:s]
Jules [ʒyl]

Kamtchatka [kamʃatka]
Karnatic [karnatik]

Ladislás [ladisla:s]
Laodamie [laɔdami]
Lens [lɑ̃:s]
Léonard [leɔnar]
Leyde [led]
Luc [lyk]
Lucques [lyk]
Lutzen [lytsɛn]

Luxembourg [lyksɑ̃bu:r]
Lycaonie [likaɔni]

Machabée [makabe]
Machiavel [makjavel]
Maëstricht [mastrik]
Magnence [magnɑ̃:s]
Mahomet [maɔmɛ]
Malouines [malwin]
Mammée [mame]
Mandchourie [mɑ̃tʃuri]
Manille [mani:j]
Marc-Aurèle [markɔrel]
Marcellin [marsɛlɛ̃]
Marcelline [marsɛlin]
Maroc [marɔk]
Maurice Barrès [morisbarɛs]
Mayence [majɑ̃:s]
Médicis [medisi:s]
Melchisédech [mɛlkizɛdɛk]
Ménélas [menela:s]
Metz [mɛs]
Michel-Ange [mikɛlɑ̃:ʒ]
Milet [mile]
Mohammed [mɔammed]

Nabuchodonosor
[nabykɔdɔnɔzɔ:r]
Nannette [nanɛt]

Némésis [nemezi:s]
Nemrod [nemrød]
Nicolas [nikola]
Nigritie [nigrisi]

Ochozias [okozja:s]
Orchomene [orkomɛ:n]
Orléans [orleā]
Osmond [ozmō]

Palatinat [palatina]
Pannonie [panɔni]
Périclès [perikle:s]
Pernambouc [pɛrnābuk]
Pétrone [petrō]
Phalsbourg [falzbu:r]
Phébus [feby:s]
Philippsbourg [filibzbu:r]
Plautien [plosjē]
Pont-Euxin [pōtɔksē]
Pontins [pōtē]
Pouchkine [puʃkin]
Presbourg [prɛzbu:r]
Prévost [prevo]
Priscille [prisil]
Protésilas [prɔtezila:s]
Psamménit [psamenit]
Pulchérie [pylʃeri]

Ramsès [ramsɛ:s]
Ratisbonne [ratizbɔn]
Reims [rās]
Renauld [rəno:]
Rhétie [resi]
Rosny [roni]
Ruisdael [ruiʒda:l]
Saint-Menehould [sēmenu]
Saint-Pétersbourg
[sēpetɛrzbu:r]
Sancho Pança [sāʃopāsa]
Santander [sātāndɛ:r]
Sarmatie [sarmasi]
Schaffhouse [ʃafu:z]
Sédécias [sedesja:s]
Sennachérib [sɛnakerib]
Servet [servɛ]
Sophonisbe [sɔfɔnizb]
Staël [staal]
Stanislas [stanisla:s]
Stésichore [stɛzikɔ:r]
Strasbourg [strazbu:r]
Sund [sō:d]
Symmaque [simak]
Terpsichore [tɛrpsikɔ:r]
Thaïs [tai:s]
Thalès [talɛ:s]

Thémis [temi:s]
Théodat [teodat]
Thermopyles [tɛrmɔpil]
Thibaut [tibo]
Tintoret [tētɔrɛ]
Venceslas [vɛsɛzla:s]
Vénétie [venesi]
Vénus [veny:s]
Vertumne [vɛrtymn]

Vosges [vɔ:ʒ]
Wicléf [viklɛf]
Xanthe [gzā:t]
Xavier [gzavje]
Xénophon [gzɛnɔfō]
Xerxès [gzɛrsɛ:s]
Ximénès [kimɛnɛ:s]
Zacharie [zakari]

附 錄

參 考 書

1. 佛 語 發 音 學

- P. Passy: Les sons du français.
„ Les changements phonétiques du langage.
K. Nyrop: Manuel du français parlé.
L. Bascan: Prononciation et lecture française.
Th. Rosset: Exercices pratiques d'articulation et de diction.
G. Thudichum: Manuel de diction.
A. Zürd-Burguet: Exercices pratiques de prononciation française.
E. Villemin: Méthode naturelle de prononciation française et de phonétique pratique à l'usage des étrangers.
L'abbé Rousselot: Précis de prononciation française.
L. Roudet: Eléments de phonétique générale.

2. 佛 語 發 音 字 典

- H. Michaelis et P. Passy: Dictionnaire phonétique français.
Cassell's French-English, English-French Dictionary.

佛語の發音與付

【定價金壹圓參拾錢】



昭和二年五月五日印刷

昭和二年五月十日發行

著者 日 黒 三 郎

發行者 福 岡 易 之 助
東京市神田區小川町三〇

印刷者 北 村 東 一
東京市麹町區內幸町一ノ五

印刷所 ジャパン・タイムス印刷部
東京市麹町區內幸町一ノ五

發 行 所

東京市神田區小川町三十番地

白 水 社

振替東京11922番・電話神田3598番

白水社發行佛蘭西語書類

佛語界の三寶典

十大家共編

模範佛和大辭典

紙數二千二百頁・語數十萬・佛蘭西式總革製

定價金九圓・書留送料廿七錢

內容見本送呈

佛蘭西文學會編

新佛和小辭典

最新ポケット形・總革裝幀

定價金貳圓八拾錢・書留送料拾四錢

ジェー・ルノンドウ著

改訂佛和兵語辭典

大形ポケット判・總革裝幀

定價金貳圓八拾錢・書留送料拾四錢

內容見本送呈

白水社發行佛蘭西語書類

日佛兩文月刊雜誌

杉田義雄主幹

LA SEMEUSE

(ラ・スムーズ)

斯界の最高權威者のみによつて編まれつゝある本誌は從來の語學雜誌の通弊を悉く脱して豊かなる趣味談笑の間によくふらんす語の眞隨に徹し得るやう、あらゆる方面から示導誘掖する語學研鑽の無二の好伴侶である。

毎月一回一日發行・定價金五十錢・送料壹錢

六ヶ月分金參圓(送料共)一ケ年分金五圓五拾錢(送料共)

田島清講述

ジ・ヴェルニエー・杉田義雄校閲

趣味の佛蘭西語講習録

本書は佛語教育に多年の經驗を重ね而も最近數年間巴里生活の機微に徹した田島氏の入念な編輯に係るもので、始めて佛語を學ぼうとする人の爲には最良の獨習書であり、中等程度の學力を有する人の爲には趣味的參考書となり、外國語の教育に従事する先生の爲には有益な資料を提供し、佛語研究に熱心な婦人方の爲にも誠に適切な獨習書である。

六ヶ月完成・內容見本送呈

毎年四月・拾月・二回開講・會費一ヶ月金壹圓・送料四錢

三ヶ月金參圓(送料共)六ヶ月金五圓五十錢(送料共)

白水社發行佛蘭西語書類

大阪外國語學校教授 目黒三郎・同講師 徳尾俊彦 共著

佛蘭西廣文典

Grammaire Française Complète

本書は詳しく佛蘭西文法の規則、例外注意事項を例と共に掲げ説明は品詞毎に行ひ最後に文章に及んでゐる、詩及古典文學古典劇に必要な事項まで詳述した本邦佛文法書中最も明細な眞の廣文典である。

四六版・洋布装・420 餘頁・定價金參圓・送料十八錢

大阪外國語學校講師 徳尾俊彦 著

佛文解釋法

短文篇

Pour bien Comprendre le Française

Tome I. Phrases Simples

佛文和譯の基礎を的確に得たる、やう多くの短文を各種の形式に分類提示し、解釋上の要點を掲げ譯文の外に所要の文法的説明、類例及注意事項を加へ、比較的短時日に多讀的效果を收め得る學習者の好参考書である。

四六版・洋布装・160 餘頁・定價金壹圓五拾錢 送料六錢

白水社發行佛蘭西語書類

板倉貞男 著

例解 和文佛譯法

L'art de Traduire en Française

始めに豫備篇として例解一百題に懇切な説明を加へ、應用篇は題材を時事問題より採り、興味の裏に和文佛譯の要綱を會得せしむ

四六版・洋布装・350 頁・定價金貳圓八拾錢・送料拾八錢

増田俊雄 著

佛文手紙の書き方

慶弔文、報知文、誘引招待文、見舞文、紹介文、注文及催促文等日常必要の總てに互り例文を掲げて詳述し、用箋、封筒の形式及書方、名刺の體裁等に到るまで圖を以て説明す

三六版・洋布装・280 餘頁・定價金貳圓參拾錢・送料拾六錢

瀧村立太郎 著

新式佛語提要

Nouvelle Méthode de la Langue Française

東京外語教頭瀧村先生が初級用教科書として編纂されたるもの、多くの單語を分類配列して譯語を附す獨習用としても好適書なり

四六版・洋布装・290 頁・定價金貳圓・送料八錢

白水社發行佛蘭西語書類

内藤 濯 著

實習佛蘭西文典

Nouveau Cours de Grammaire Française

一高教授内藤先生が実際に試みた教材を基として著述されしもの
中級用教科書又は獨習用として權威ある文法書である

四六版・洋布装・250頁・定價金壹圓七拾錢・送料八錢

佛蘭西文學會編

佛蘭西語動詞變化の栞

L'art de Conjuguer les Verbes

佛和辭典と共に日常座右に缺くべからざるもの、印刷鮮麗携帶
至便

三六版・洋布装・110頁・定價金壹圓・送料四錢

内藤濯・宮原晃一郎 共譯

對譯詳註 サロメ

(オスカー・ワイルド作)

我國でよく知られてゐるワイルドの傑作「サロメ」を原文のまま
味つて見たい方々の爲に對譯とし脚註を附したるもの

四六版・布装・107頁・定價壹圓參拾錢・送料六錢

白水社發行佛蘭西語書類

佛蘭西文學註譯叢書

本叢書はかの國の代表的作物を選び、原文と洗練流麗
な譯文と對照し、懇切明快な脚註を附したるもの、今
後尙續々刊行す

四六版・洋布装・定價各冊金壹圓五拾錢・送料各六錢

(1) モーバツサン 二人の友 丸山順太郎校閱註	(2) アラヴダリン 彼等の心 丸山順太郎校閱註	(3) アレンニドエ 水都を描く 草野貞之譯校閱註	(4) アドフォンスエ 月曜物語 折竹八木さわ子譯校閱註	(5) クトリウイ 我が家の平和 丸山順太郎校閱註	(6) フロランソ
-----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	--------------

白水社發行佛蘭西語教科書類

<p>基本佛蘭西文典教科書 Cours Abrégé de Grammaire Française 四六版・洋布裝・七〇餘頁 定價金七〇錢・送料四錢</p>	<p>『ラ、スムーズ』編 初 級 用</p>
<p>麥 の 一 粒 Un Grain de Blé 四六版・六〇餘頁・定價金六〇錢・送料四錢</p>	<p>杉田義雄編 初等短期講習用</p>
<p>ふらんす語教科書 Livre de Langue Française 四六版・一三〇餘頁・定價金壹圓・送料四錢</p>	<p>佛蘭西文學會編 初級用中級用</p>
<p>モウバツサン中篇小説選 Maupassant: Deux Nouvelles 四六版・九〇餘頁・定價金八〇錢・送料四錢</p>	<p>『ラ、スムーズ』編 中 級 用</p>
<p>ミゼラブル抄 Victor Hugo: La Chute 四六版・九〇餘頁・定價金八〇錢・送料四錢</p>	<p>『ラ、スムーズ』編 中 級 用</p>
<p>盲 人 (外一篇) M. Maeterlinck: Les Aveugles Etc. 四六版・八〇餘頁・定價金五〇錢・送料四錢</p>	<p>佛蘭西文學會編 中 級 用</p>
<p>伯 林 攻 圍 Daudet: Le Siège de Berlin ・五〇餘頁・定價金五十錢・送料四錢</p>	<p>佛蘭西文學會編 中 級 用</p>
<p>こ ろ Ed. de Amicis: Cuore ・一〇餘頁・定價八〇錢・送料四錢</p>	<p>佛蘭西文學會編 中 級 用</p>
<p>ロ ン バ (一) rimée: Colomba (Extraite) ・八〇餘頁・定價金七〇錢・送料四錢</p>	<p>佛蘭西文學會編 中 級 用</p>
<p>ダヴネル論文二篇 D'Avenel: Deux Essais ・五〇餘頁・定價金五〇錢・送料四錢</p>	<p>『ラ、スムーズ』編 上 級 用</p>

323-756



1200501379625



終